第十二輯 第三號

特輯記事

ホテルと倶樂部

ホテルの平面計畫
ホテルの附帶設備
業者から建築家へ
ホテルの思ひ出話
クラブ建築の目的と設備
等



建築と社會

昭和又年三月一日

日本建築協會

特許

三機式

塵芥焼却炉
塵芥焼却器
重油火葬炉
汚物焼却炉
汚物焼却温水罐
牛馬糞焼却炉

ホテル
病院
ビルデイング
デパートメントストアー
アパートメント
工場
會社
學校
其他

販賣設計監督工事請負

三機工業株式會社

本店　東京市麹町區内幸町一ノ三 大阪ビル内）
電話銀座(57)5330—5335(6)2831—2833(3)
支店　大阪市東區備後町二ノ二一（野村ビル内）
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

（型錄贈呈）

學校建築圖集

學校建築の根底をなす平面計畫圖を網羅蒐集し補ふに構造圖及寫眞圖版を以て外觀・內部を示して萬全を期したり、建築家並に敎育家の學校計畫に就ての好指導書たらん

定價壹圓

郵稅拾四錢

內容一般

◆本文……▲大阪市立集英小學校及同久寶小學校工事概要▲兵庫縣立神戸第二高等女學校工事概要▲大阪美術學校工事概要▲東京市立泰明小學校及同千代田小學校工事概要等々

◆圖案……▲大阪市立濟美第五小學校、同眞田山小學校、同三先小學校、同十三小學校、同鶴橋第五小學校、同鶴橋第六小學校、同古市小學校、同濟美第六小學校、同下福島小學校、同九條第一小學校、同東商業學校、同天王寺第二小學校、田邊第二小學校(大阪市建築課)▲大阪市立集英小學校、同久寶小學校(宗建築事務所)▲大阪府立天王寺中學校、同十三高等女學校(大阪府營繕課)▲大阪美術學校(伊藤正文氏)▲京都市立梅屋小學校、同龍池小學校、同柳池小學校、同修德小學校、同中立小學校(京都市營繕課)▲京都帝國大學醫學部病理學研究室、同帝國大學物理學敎室(京都帝國大學營繕課)▲兵庫縣立第二神戸高等女學校(兵庫縣營繕課)▲關西學院(ヴォーリス建築事務所)▲東京市立泰明小學校、同千代田小學校、同常盤小學校同竹芝小學校、同明治第一、第二小學校、同京華小學校、同明正小學校(東京市建築課)▲東京帝國大學圖書館、同帝國大學講堂、同帝國大學復興計畫鳥瞰圖、同法文經敎室第一號館同法文經敎室第二號館、同醫院耳鼻咽喉及整形外科病室、同藥學科敎室、同工學部講堂及各敎室、同工學部列品室、同物理學敎室、同應用化學敎室、(東京帝國大學營繕課)▲東京商科大學(文部省建築課)▲橫濱市立平樂小學校(橫濱市建築課)

體裁

總頁數	二〇〇
記事	四
寫眞版	一〇
凸版	三
六倍版	一六

社團法人 日本建築協會

大阪西區土佐堀 大同ビル725
電話土佐堀4265
振替口座大阪39975

『建築と社會』昭和五年度發行計畫

本年も昨年通りに各月號雜誌の記事特輯主題目を次の樣に定めて一年の發刊計畫を樹てました。

昨年度は幸ひ篤學者諸氏と全會員の支持と共鳴とを得て順調に進み一般大衆にも建築知識普及の實を擧げ得ました。就きましては本年も各月の主題目中御造詣深き問題に對しては續々御投稿下さらんことを願ひます。當編輯部に於ては全會員及愛讀者諸氏の絶大なる聲援と鞭韃とによりましてよりよき雜誌の制作に精進したいと思ひます。

（尙都合で特輯題目は前後することあるかも知れません豫め御諒承を）

二月號　學校建築
三月號　ホテルと倶樂部
四月號　建築と風致
五月號　住宅の樣式・裝飾・設備
六月號　鄕土建築
七月號　木造建築の將來
八月號　明日の建築
九月號　耐震耐火建築の普及
十月號　工場と倉庫
十一月號　銀行と事務所建築
十二月號　建築工事と其材料
一月號　昭和五年建築大觀

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

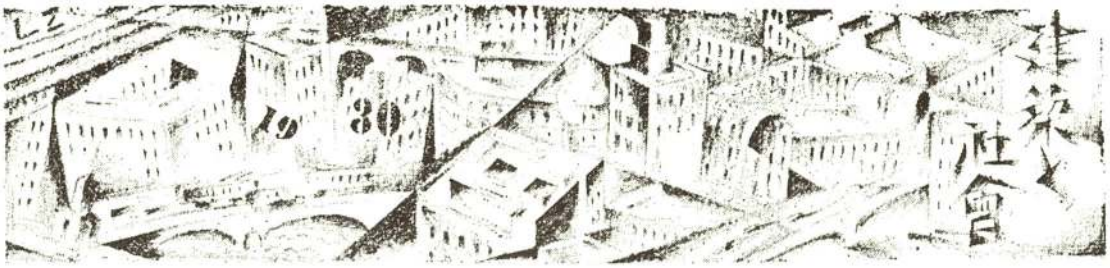
主要製品

大野式シヤッター
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用特殊機械類
特許不二式サッシ受托販賣

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)七三三七・八三三七番

八八五(45)島福話電・二中島福上區花此市阪大・所詰員張出付取

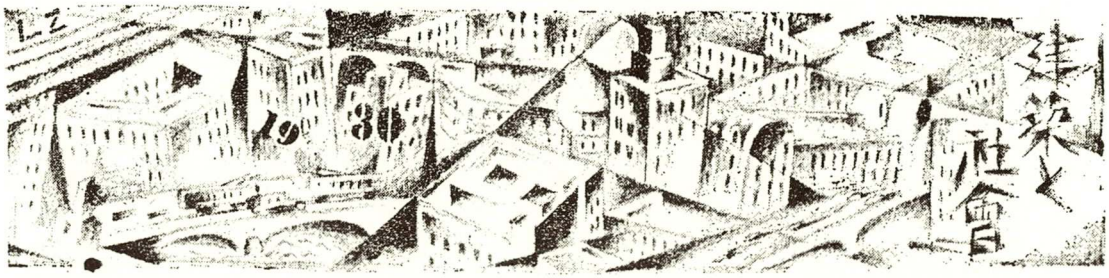


建築と社會第十三輯三月 ホテルと倶樂部 目次

（巻頭挿畫）大阪・田蓑橋……波江悌夫…（九）
（巻頭言）……（一〇）

ホテルと倶樂部特輯記事

ホテル・プランニングに就て……古塚正治…（一〇）
コンマーシヤル・ホテル計畫下準備……高橋榮治…（一三）
ホテルの附帶設備基本事項……櫻井省吾…（三六）
業者から建築家へ望む……南喜三郎…（四〇）
業者から建築家に望む……岸田勉…（四二）
旅宿の思ひ出……八洋生…（四七）
ホテル瑣談……角尾篤彦…（五一）
パーク・ホテル「ハウス＝レツヘン」……（五四）
小ホテル「ホワイト・スター」……（五七）
クラブ建築の目的と設備に就て……葛野壯一郎…（五九）



愛知醫科大學・學生生徒集會所（寫眞・平面圖）……（六二）
八重垣倶樂部（寫眞・平面圖）……（六三）
構造より觀たる耐震耐火的建築（下）……田邊平學…（六五）
石綿板及金屬板の防火試驗……池田宮彦…（七一）
建築斷相（一）……松室重光…（七三）

附錄

寫眞國際新建築集……（九）
實費精算式施工契約書案……日本建築協會第一部（法制）委員會報告（一）
會報……（九）　本誌廣告目次……（廣六八）

繪口

茨木ゴルフ倶樂部……（一）
住友倶樂部……（四）
大阪實業協會倶樂部……（六）
相續會會館（三井家同族倶樂部・京都）……（七）

本誌昭和五年度每月發行計畫廣告……（特二）
『學校建築圖集』廣告……（特一）

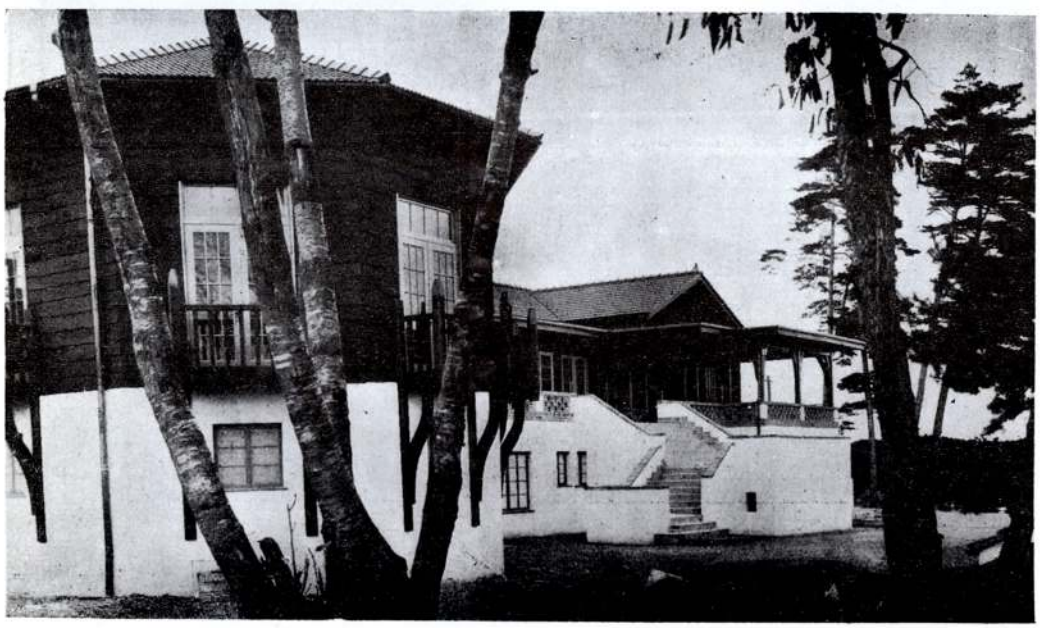

小野田白色ポルトランドセメント
小野田ポルトランドセメント
創立 明治十四年
資本金 金参千万円
年産額 八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場 山口県厚狭郡小野田町
支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町
一手販賣
三井物産株式會社





上・全 景 (東南よりの遠望)
下・婦人室
中・西南よりの外觀

茨木ゴルフ倶樂部

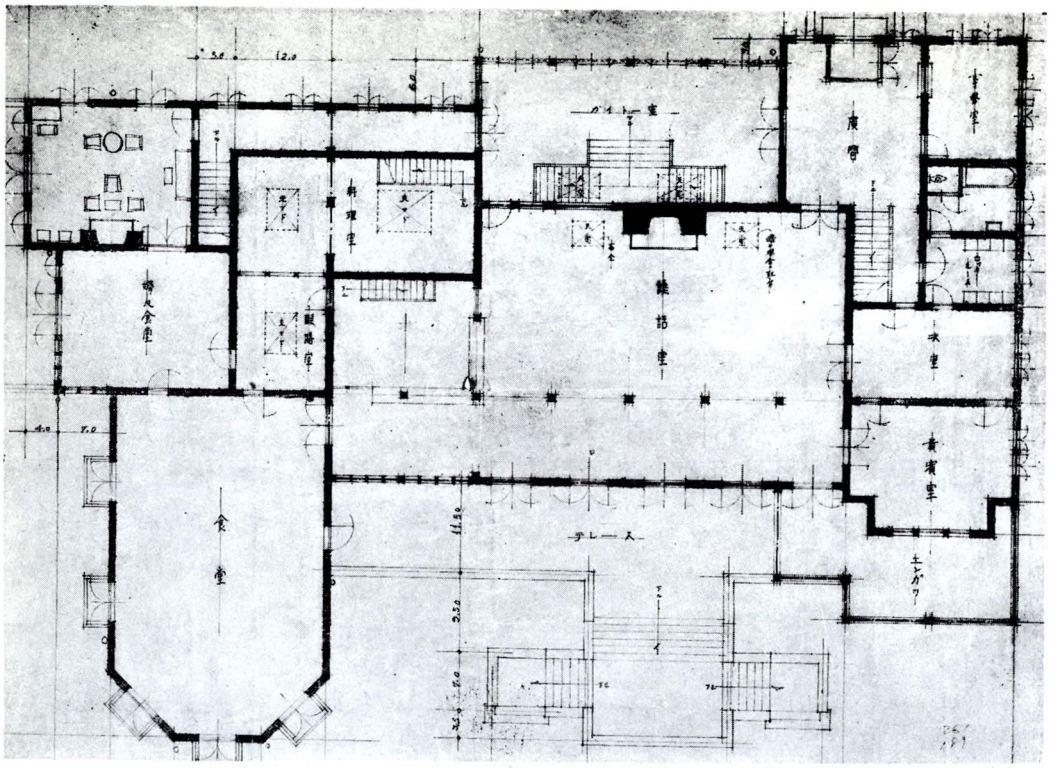


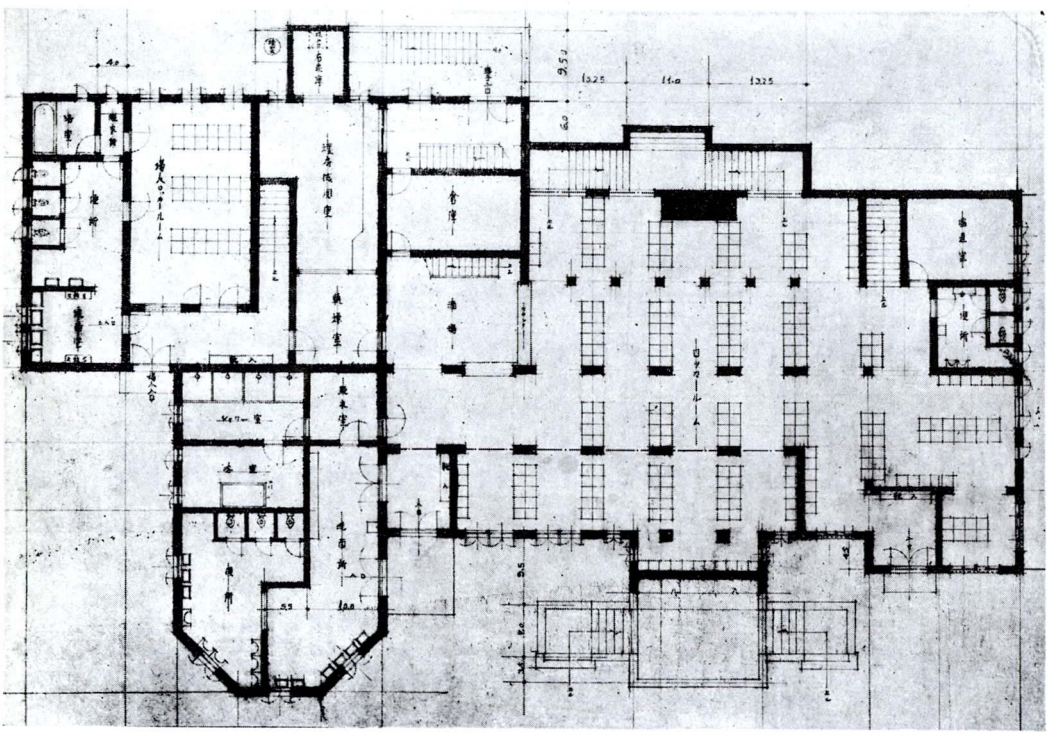




茨木ゴルフ倶樂部

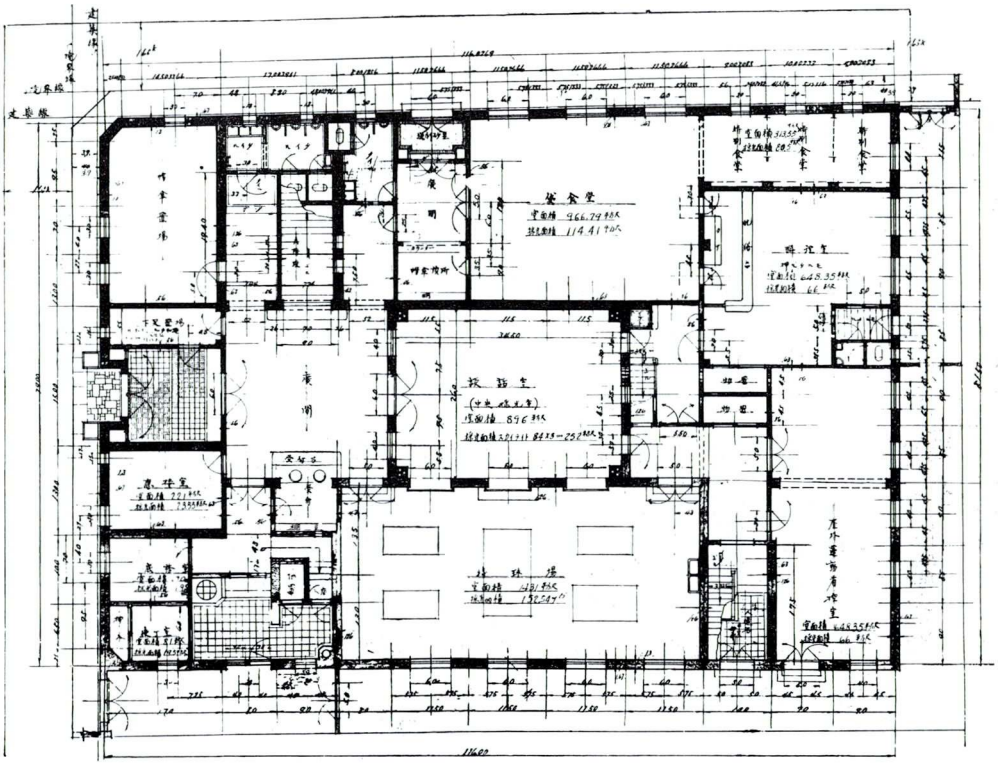
上・談話室　　下・大食堂





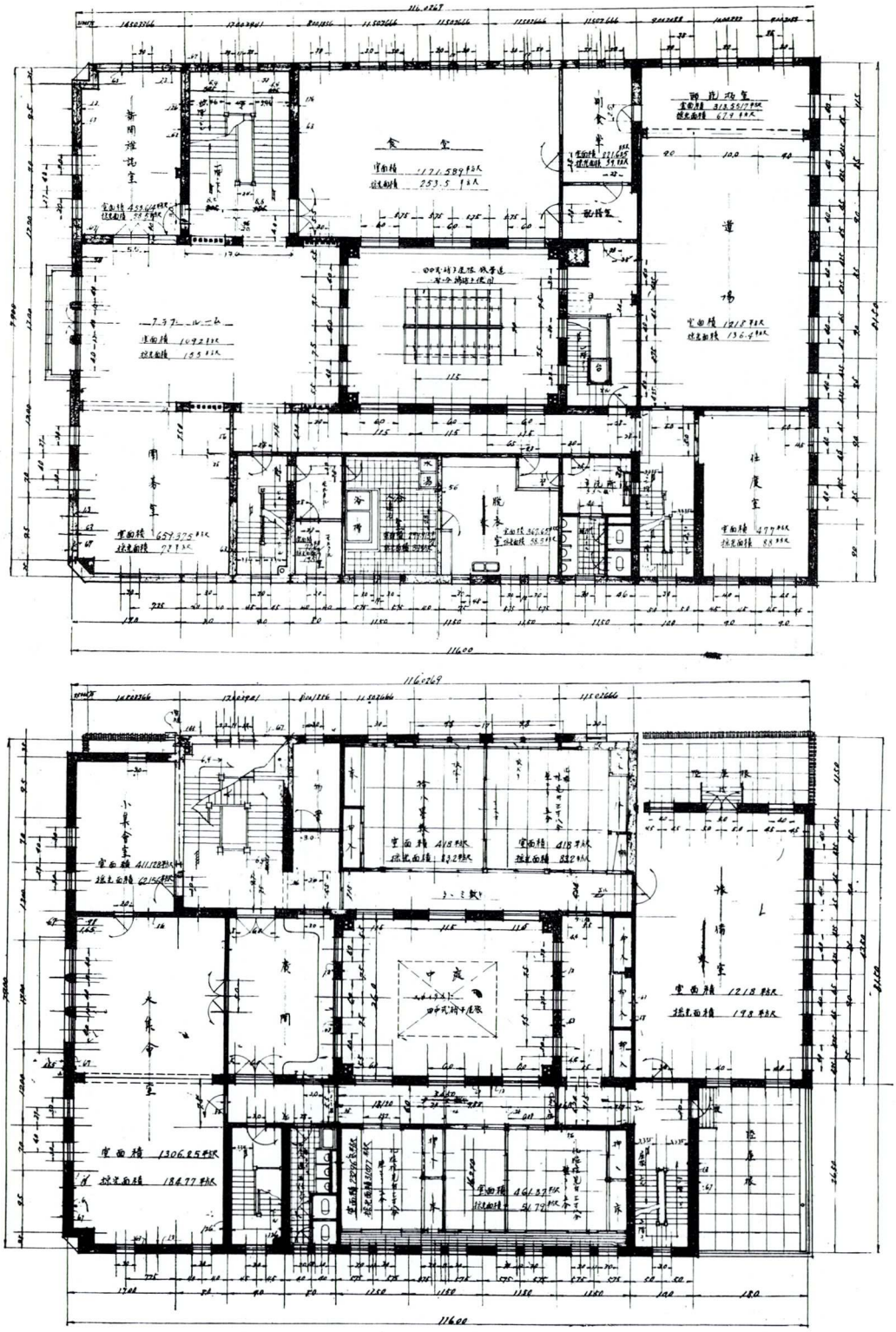
茨木ゴルフ倶樂部　　上・第一階平面圖　　下・第二階平面圖





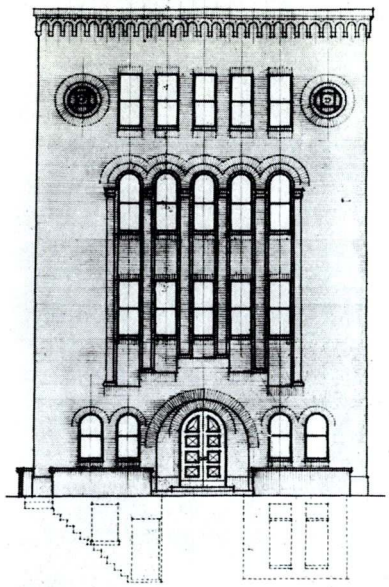
住 友 倶 樂 部　　上・外 觀　下・第一階平面圖　設計者　住友合資會社工作部

「建築と社会」昭和5年3月号

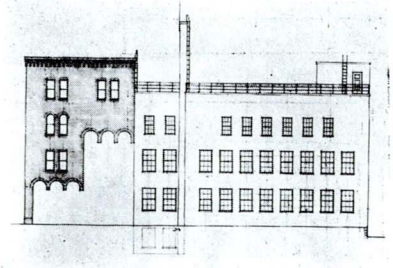


住 友 倶 樂 部　　上・第二階平面圖　下・第三階平面圖　設計者　住友合資會社工作部

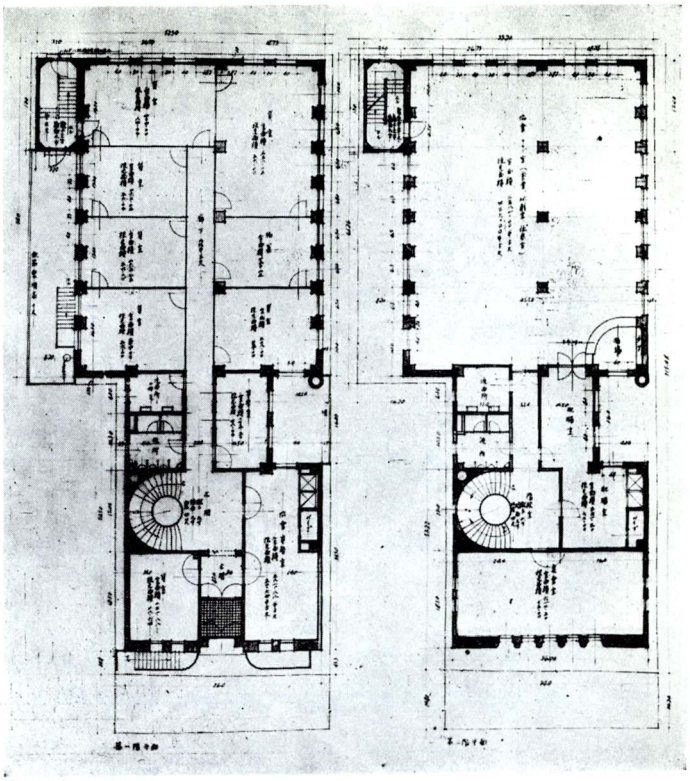
1



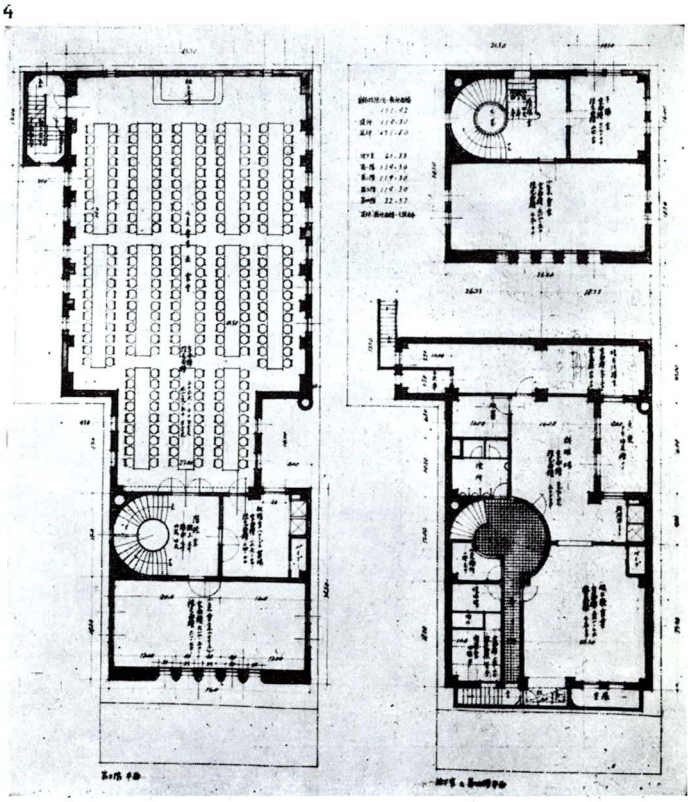
2



3



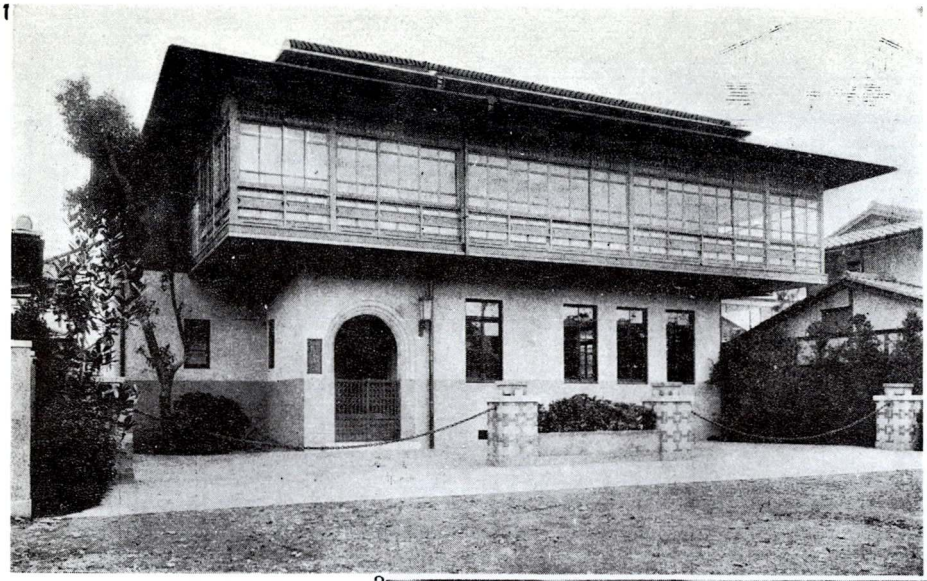
4



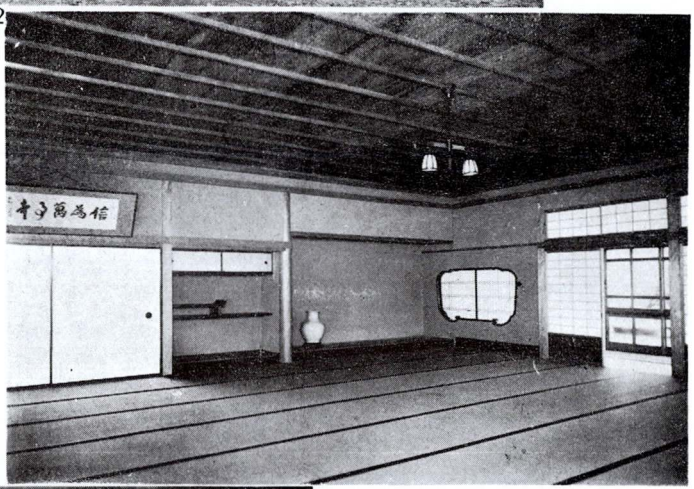
1 正 面 圖
2 側 面 圖
3 第一・第二階
平 面 圖
4 第三・第四階
及地階平面圖

大阪實業協會俱樂部

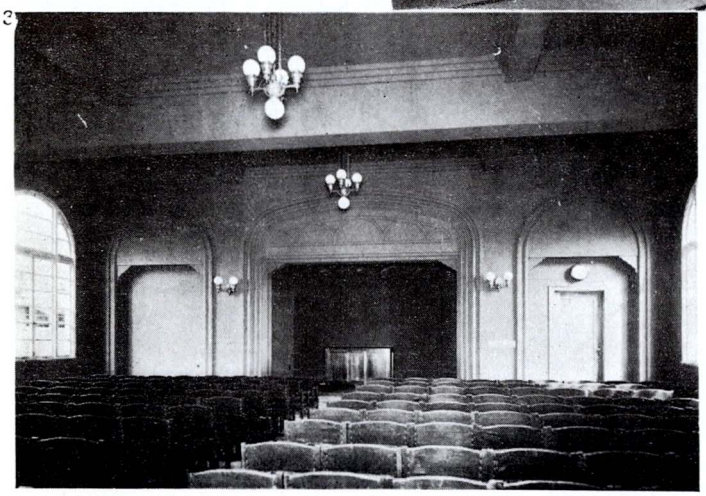
1



2



3

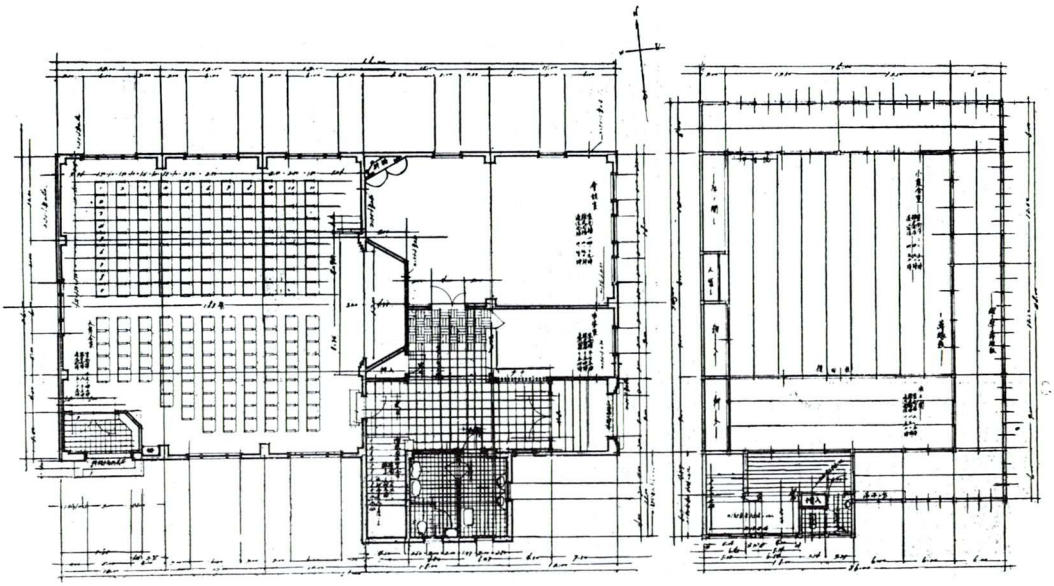


1 外　　觀
2 二階大廣間
3 一階講堂

相續會會館（三井家同族倶樂部・京都）

設計者　武田五一氏

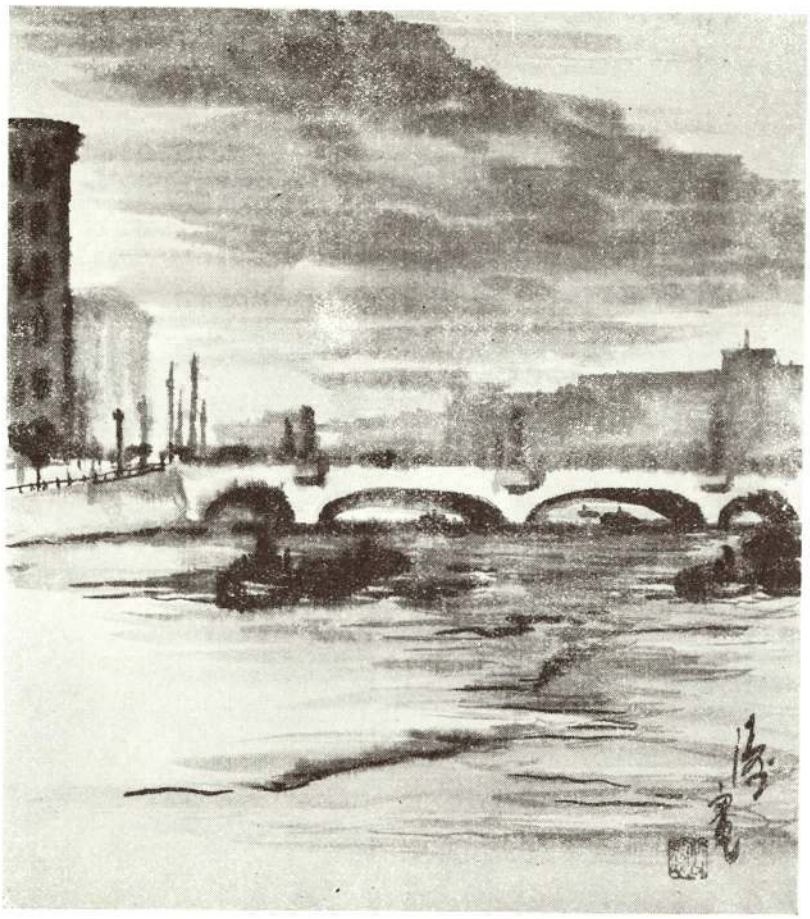




相續會會館（三井家同族倶樂部・京都）　上・立面及斷面圖　下・平面圖　設計者　武田五一氏

第十三輯　建築と社會　第三號

昭和五年三月一日發行



建築風景・大阪・田蓑橋　　波江悌夫氏畫

卷頭言

都市の應接間

都市に於ける『ホテル』建築は住宅に於ける應接間の如きものにして近代生活に必須缺くべからざるもの丶一なり、將して然らば都市は對外的にも對内的にも必要なる此種建築の計畫を樹立して來訪客に對し便利にして且安易と靜寂とを兼たる宿泊所を設備するの至當なるを覺ゆ、今や大阪市は五百萬圓を投じて此種の『ホテル』を計畫しつ丶ありと聞く宜に時宜に適せる處置なるべし。

由來我國に於ける「ホテル」經營は頗る困難なる事業の一なると聞く、乍然好敷地を擇び設備を完備し且つ經營者其人を得れば必ずしも然らざるべく、市民は亦以て此種機關に大なる理解を保ち内外相應じて之れが利用を計らば多年の要望も遂に其實現の機會到來せるものといふべし。ホテル建築の設計に關しては我建築界亦人なきに非ず、必ずや其外觀内容に於ても他市に劣らざるものを設立し得らるべきを信ず。



ホテル・プランニングに就て

古塚正治

本誌昭和五年一月發刊の建築大觀號に拙稿「ホテル建築に就て」と相關連があるものと考へたので、茲に再びホテル、プランニングに就ても起稿することを約束したのであつたが、實際筆を執ることになると此問題は餘りに廣い範圍に亘るもので、其一つの種類のホテルに就いて書くことさへ何うであらうかを怪んでゐる。が兎に角、書く丈けは書かなければ約束に背く譯で、編輯子を困らせるに過ぎないことゝならう讀者諸賢には非常にもの足りない感もあらうが諒せられたい。

(I) 概説

ホテル建築は其他のどんな種類の建築よりも、特殊の要求が餘りにも多い建物であるから、其設計に當つては特に斯道の經驗と、如何なる要求が含まれてゐるかに精通した建築家を撰むと云ふことが第一要件である。そして恁うした建築家のアドバイスによつて、構造的にも經濟的にも好いホテルが建築せられゝば其ホテル經營上には少なからぬ利益がある。夫れ故にホテルプランニングに當つては業に精通せる業者ミ、斯業に尤も理解と常識に富んだ建築家との間に、詳細な合議が幾回も繰り返へされて些の遺漏のない研究が第一必要々件である。斯くして建てられたホテル建築に於てこそ、始めて其の建物の美的方面の考慮と同時に、ホテル、ビジユネスの機能と組織とが圓滑に運用せられて行くことゝなり、業の營業能率の增進を擧げ得られることゝなり得る。

先づ業者側からプランニングに必要な丈けの要求を建築家に提出する必要がある。今參考の爲めに最近亞米利加に建築せられたホテル・キングコットン(Hotelkings cotton)の建築に當つて、業者が建築家に與へた最少の要件を左に摘記しておこう。

一、ホテル會社は其建築すべき位置を與へる。新築せんとするホテルは客室數約二百三十室。大宴會室には大約五百人を收

容するに足るものを一室設ける、其他の必要なる諸室を附屬すること。

建物の高さは營業上重要なる要素なれば少く共十二階以上たること。

二、エントランスは東南隅に取設くるものとす。

敷地は南デビー街に沿つて約百三十二呎、東マーケット街に沿つて約百八十二呎とす。デビー街では三呎につき約六吋の傾斜をなし、マーケット街では九呎の高低あり、最高點は右兩街路の交叉せる東南隅の點なり。背面隅の空地より兩街路へ車馬の出入に差支へなき通路を設るものとす、但し此地面と兩街路の最高點との高の差は十四呎ある。

右兩街路は重要なる街道なれば各街路沿ひに各一ケ所宛の出入口を設くる要がある。

三、ホテル會社はホテル建設に當つて上記の客室數を包容し、これに附隨せる各種の設備一切を包含せるものにして、會社の有する豫算内に於て請負はしむるものとす。

四、其他の點に就いては都度協議をなす。

尙右各階の最低天井高を指定するものとし、メイン・ロビーには中二階にバルコニーを設くるものとす。

五、宴會室の位置はメイン・フロアーから容易に出入し得、且つ尤も眺望よき位置に撰定すべし。

六、各客室は凡てバス付きとなす、但しその内の幾室かは浴槽を廢し、シヤワーのみの設備となす。

七、會社は建物の樣式としてコロニヤル式を希望す。然れ共若し此他に南部地方（亞米利加）の風土に適する建築樣式ありとせば、其樣式を採用するも妨げず。

八、會社運用の當事者が考ふるところは、建物完成まで合議に附する事項夥多なるものあれば、合議の未完了中は其工程を完成することを得ざるものとす。

(II) ホテルの種類

種類の分け方は便宜上在來行はれてゐる方法によると

A シチイー・ホテル
B レソート・ホテル
C ハーボアー・ステーション・ヱヤー・ボート・ステーション・ホテル
D アパートメント・ホテル
E 其他のホテル

以上のうちにも見方により、考へ方によつてより以上細別して研究して見る必要もあるが、大樣から云へば右樣の分類に當て嵌めて考へて好いと思ふ。

Aに就いては幾分詳細に說明する爲めに茲では便宜上**B・C・D・E**の順序に各ホテルの持つ特徵なり、機能なり設備なりを概說しよう。

Bレソート・ホテル (Resort hotel)

噪音に惱まされ、煤煙と塵埃の都を避けて、安靜と新鮮なる空氣を吸ひ込まうと云ふ要求は近代文化の餘澤に育まれた文化人の普遍的な要求である。されば世界の一流國では最近斯の種ホテルの建築せられるものは少くない。

斯種ホテルの建築せられる條件の主なるものは、天然的資源によるものでは風光の明媚なこと、溫泉地や海水浴場と云つた療養を兼ねた場所乃至は氣溫の好適地であると云つた條件に支配をうける。人工的ではスポーツ、アミューズメント、レストフルネス乃至はツーリング、アドヴエンテージ等と云つたことが此ホテル建設の理由となる。

レソート・ホテルが他の凡ての種類のホテルと異る點は、何と云つても營業收益上の點にある。年中の數ケ月間、短いものでは僅々二、三ケ月間のシーズン（此の意味で拙稿一月號では斯種ホテルをシーズン・ホテルと稱呼したのである）を主なる收入期として經營の基調としてゐる點にある。しかも旅客の種類が社會の相當高級なる一部の紳士を狙ふところに、萬般の設備上に苦心が存在する。凡てのエクユイプメントなりサービスが市街地ホテルの一流どころを標準とせなければならない。

斯種ホテルの經營上の要素は廣告を主として都市の旅客を誘引するものであるが、佛蘭西のエイ・レ・バンー Ain-les-Bain（夏期の避暑に好適な溫泉場です）等では旅

客を倶楽部メンバーにおいてゐる例もあるが、どちらかと云へば前者の場合が多いやうである。また斯種のホテルの建設せられる位置が一般に不便な土地柄だと想像せられるのであるから、ホテルへの道の問題と交通機關の考慮、それが先づ第一に解決すべき問題となつて來る。夫れ故に道の凹凸や危險なところが無いやうに、客の出入が極めて便利であるバスのやうな設備をしておかなければならぬ。

建物のプランニング上では客に淋しい想ひを懐かさしめない丈けの設備が必要である　業者から云ふと如何なる種類の設備を施すかに大なる苦心がある。例へばオーケストラ。ダンシングチーム。シンガー・オペラチツクスター等の催しは外國の斯種ホテルでは普通に催されるが此他にゴルフ・コース。テニスコート。水浴場。カシノ、劇、活動、碁に將棋乃至は麻雀、球戯室と云つた設備が容易であり都合の好いものであらう。

建物の前庭を整へることも望ましい、特に見晴しが好い場所とか、靜かな茂みと云つたものがあれば適當に取込んだ設計が必要であるのは申迄でもないが、花壇や花園の設備は是非やる必要がある。それは經濟的なものであり且つ四季に亙つて建物を引き立たゝす上にも極めて理想的であるからである。

市街地のホテルでは投宿客目當てのショップの設備が附隨せるものが多いが、此の種のホテルでは差程重要なる要素とはならない、若しおくとしたらプレート・グラス・キヤビネツトで、グランドコリダーやボール・ルーム等へ陳列の程度で好いと考へる。實際美しく飾られたキヤビネツトは一種の室内裝飾の目的にも適ふことゝなるからである。

最近のホテル・マネージメント誌によると或る米國の海濱ホテルでは十五階建てゞ最上階に各種の室内運動器具を設備し一部には眺望室、一部にはヴァイタ・グラスを欲めた日光浴室を設け、これに物理療法による各種の醫療器を設備し、第十二、十三階には純然たる劇場に使用し得る五百人を收容するに足る觀物席の設置せられてゐると云ふことで、これ等もレソート・ホテルの設計には參考にならうと思ふ。

其他の諸設備に至つては市街地の一流ホテル乃至はそれ以上のプランニングを基準として設計すれば好い譯である。

Cハーボアー・ホテル、ステーシヨン・ホテル

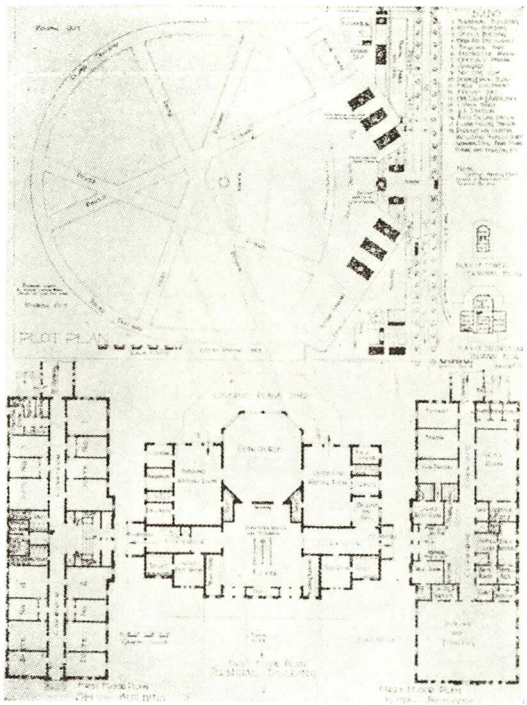
港のホテルと停車場ホテルとはどちらかと云へば客足の早い一時的休憩所に當てられることゝし、送迎の宴席と云つたことに利用せられる特徴がある。特に停車場の場合ではホテルは多くは從屬的なものであり、停車場が乘客の便を主としてゐる關係上、これに設けたホテルは其建物から云へば第二義的乃至は第三義的なものであつて、些して重要なるファンクションとはならないものであるから、一般の設備としては充分なるものが無い。このホテル内へボール・ルームや諸種のアミューズメント、アレンヂメントの要もない。(此邊ハーボアー・ホテルは必要なことがあるゝ)要するに市街地ホテルの二流乃至三流どころのプランニング・アレンヂメントで好い譯である。

斯種に屬するホテルの内目下米國の業者間で盛んに研究討議せられてゐるものに、**エヤー・ポート・ホテル**と云ふのがある。

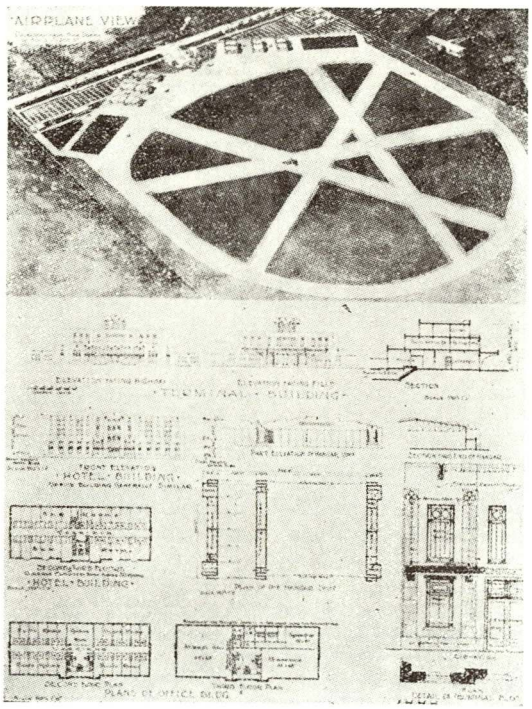
これは其文字の示す通り定期飛行機の發着地へ新築せんとする試みに他ならない。昭和五年一月發刊のホテル・マネージメント誌によると、斯種ホテル建設に關する極めて興味ある記事があるので抄譯して參考としやう。

斯道の業者の研究によると旅客は將來汽車によることが漸次減つて、航空機による客が益々增加する傾向を持つてゐる。恐らく將來は汽車の乘客以上にもならうと云ふ見解である。

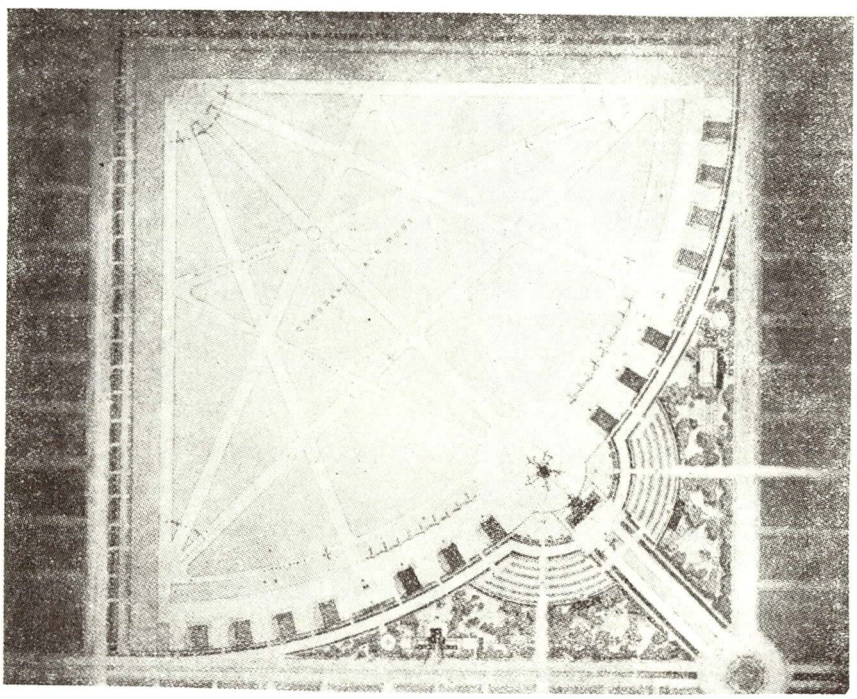
されば其航空機の發着所へエヤー・ポート・ホテル建設の必要があらうと云ふのが、業者間の討究の基調となつてゐる。そこで研究の結果三千七百二十九哩乃至五千哩毎には少くとも一ホテルの設置が望ましいと云ふのである。結局各所から得た資料に基いた同誌記者の說に從ふと斯種ホテルの建設も茲十年を出でざる内に實現することは間違ひなからうと云ふことで



第一圖　エヤー・ポート・ホテルの設計計畫圖(その一)



第二圖　エヤー・ポート・ホテルの設計計畫圖(その二)



第三圖　エヤー・ポート・ホテルの設計計畫圖(その三)

ある。次に起る問題は實現するとせば果して何の程度に設備すべきかに就いて、現代亞米利加に於ける主なるホテル二十八軒のマネーヂヤーに回答を求めたのであつたが、極く少數の反對論者は大様次の如うな意見を有つてゐるやうだ。

航空機の發着所が大都市から大約三十分位の自動車道程であるから、旅客は何うしても一刻も早く都市の中心へ出向きたがる傾向を持つてゐるから、その發着の爲めにわざ〳〵其の地のホテルに宿泊することはなからう。假りにあつたとしても僅かの休憩時間丈けで茶飲み菓子を摘む程度に過ぎないだらうと云ふのであるが、大體は必要論者が多い。其の意見をサンマーライズするに斯うである。

二階建てで二階へ客室三十室位から、せい〳〵五、六十室位を設け、航空所員の宿所とレストラントを一階へ設けた位が好いだらうと云ふのである。

第一圖乃至第三圖はレハイ・ポートランド・セメント會社が一萬二百弗の賞金を以てエヤーポートの懸賞募集をなしたるとき、應募數五百十四通中の一等當選圖案である。

Dアパートメント・ホテル

舊來アパートメント・ホテルとかレジデンタル・ホテルと云ふ名稱で發達して來てゐるので、時とすると一般のホテルかのやうな誤解がある。その實質を研究すると何もホテルと云ふ言葉を附ける必要が無いのであつてアパートメント・ビルヂングと何等其間に相違があるやうにも思はない。最近亞米利加でもホテル業者間においても少なからぬ論議の的となつてゐる。

兎に角ホテルと云ふ言葉に一定の嚴格な定義が存してゐない關係上、其の建物の實質上の機能に關係なく廣く便宜上恣うした建物に迄でホテルと云ふ字が附け加へられてゐると見るのが至當である。

ホテルとしては何うしてもコムプリートしたホテル・フード・サービスと云ふ特色が附隨すべきであるが、アパートメント・ホテルには此の設備に欠けてゐる。實際上の大きな理由はニューヨーク市の如うなところでは、最初建物を設計するに當つて、アパートメントでは貸家法 (Tenament house low) による制限が極めて面倒であるので、これをホテルとして建築すれば貸家法の制限をうけない爲めに建築面積に於て二十%乃至三十%の有效建坪を增加し得られると云ふ收益上の便宜がある。

またホテル・サービスと關連したレストラント及キツチエンを取ると云ふ點では、地階へ申譯丈けのサービング・パントリーを設けて其筋の了解を得てゐるものや、ハウス・キーパーの臺所を以て此の意味に當てゝゐる例もあつて、將來此兩者が瞭然と區別せられる爲めには、テナメント・ハウス・ローの一大改正とホテル・ビルヂングのプランニングに關する法規の制定がなされなければならないと云ふ結論に達する譯である。

右様の次第であるから特にホテルとしては書く要はないが、左に米國に於けるアパートメント・ホテルの最も新しい近情をホテルマネージメント誌から抄譯することゝしやう。

米國の過去五ケ年間におけるアパートメント・ホテルの爲めに投資せられた資本は一般ホテルへの投資率の約十%に相當してゐたのであつたが、それが急速なる發展となり今日では四十%に及び、尙益々此傾向は高まらんとしつゝある。

千九百二十八年間においては、ホテル建設の爲めに支出せられた投資額、金二億一千七百五十一萬八千弗中アパートメント・ホテルの投資額は其三十八・九%に當つてゐる。それが千九百二十九年度(昨年中)に於ては總額二億四千六百六十三萬一千弗中アパートメント・ホテルの投資額は五千九百十三萬〇七千二百弗、即ちホテル建設の總投資額の四十一・七%に進出してゐるのであつて、本年度には此の兩年間に於ける進出歩合以上の進出を示すことだらうと云ふ觀察である。

右の計數は規模の相當大なるものに就いての調査であるが、もつと少規模なものに迄で詳細に調査すればより以上の數を出すことだと云ふことである。これは大都市の生活者には此種の大規模の建築に住居するのが經濟だと云ふことに原因してゐる。特に十萬人以上

の人口ある都市に於て顯著なるものがある。夫れ故に將來は此種建物の機能がホテル事業の尤も重要なる一部をなすだらうと見られてゐる。實際亞米利加の生活者につては此種ホテルが非常な歡迎をうけてゐるのである。

歡迎せられる理由は、煖房設備費、庭園維持費と云つたものが大なるもので、次には稅金問題があり、大都市の中央に近くプライベート・ハウスが得られないので自然日々の通勤上の乘車賃の經濟の云ふ事がある。もつと少さい問題では主婦が非常に樂が出來て下女費が經濟となつて來る等……と云つた經濟問題である。

次は現代の亞米利加婦人の生活が複雜となつて來たことに因がある。即ち單調な家の番人でありたく無いと云ふ慾求は贅澤な希望と云ふよりは必要な要件となりつゝあることで、現代婦人が職業婦人である場合は勿論のことだが、然うでない一般の婦人でも講習會とか、寄り合ひの會合とか、かるた會とか、社會の各方面に出席の機會が非常に多くなつてゐる。彼女等にとつては家を護る主婦であるよりも、より有用に人生の意義と歡樂を追ふの風が盛んになつてゐる。正に男と云はず、女も共に、婚者も未婚者もおしなべて自己の收入に於てなし得る最大の歡樂を目標として進展しつゝある狀態である。

今亞米利加の八十五大都市に於ける各種住宅に就てプライベート・ホームとアパートメント住居とに就ての平均家賃比較表を示すと

都市の階級	一軒建の平均價額	アパートメントの一家族平均價額	一軒建に住む平均一家族	アパートに住む平均一家族數
人口五萬人以上の十四都市	$5,221.00	$4,740.00	30.2	60.8
人口二十萬以上五十萬の二十二都市	$4,617.00	$2,972.00	46.6	53.4
十萬以上二十萬の四十九都市	$4,578.00	$3,270.00	57.0	43.4

即ち右表に表はれたる如く小都市ではアパートメント・ホテルの建築費が比較的高いが、一般にアパートメント生活の割合は一戶建住居者よりは比率が高いと云ふ結果を見る。

次にアパートメント・ホテルと一般ホテルとの相異せる點を左に箇條書して見やう。

コンストラクション・フイチユアー

1 客室がより大なる採光窓面積の必要なる點。
2 客室に大なる押入。
3 各個に塵埃取捨てシユー。
4 臺所設備。
5 食堂か食事用のアルコーブ。
6 箒やリネン類の押入。
7 火を燃すファイヤープレース。
8 各個に冷藏設備。
9 ダンブ・ウエーター。
10 組立ベツド（アパート特有のもので、最近高島屋や三越の裝飾部にも來てゐる）
11 組立家具を持つた化粧室。
12 客。サーバントの控室。
13 晉をたてない飲料。
14 一階へベビー車の倉庫。
15 地階へタンク。
16 事務員室と食料品店。
17 地下室へ客及サーバントガレツジの洗濯場。
18 好い庭。運動でも出來る。
19 小供の遊ぶ部屋と庭。

エクユイブメント・フイチユアー

1 美しく整つた室。これに附屬する洗面器等。
2 花を入れる箱。
3 各個の壁の安全。
4 ラヂオを續ぐ設備。
5 全身の見へる姿見。
6 帽子掛、靴掛、傘建ての類。
7 客のクツキング用具類。
8 客のレストラント用具類。
9 スペシアル・ルーム・サービス・エクイブメント。
10 醫療用キヤビネツト。
11 各個に水、瓦斯、電氣のメーター類。

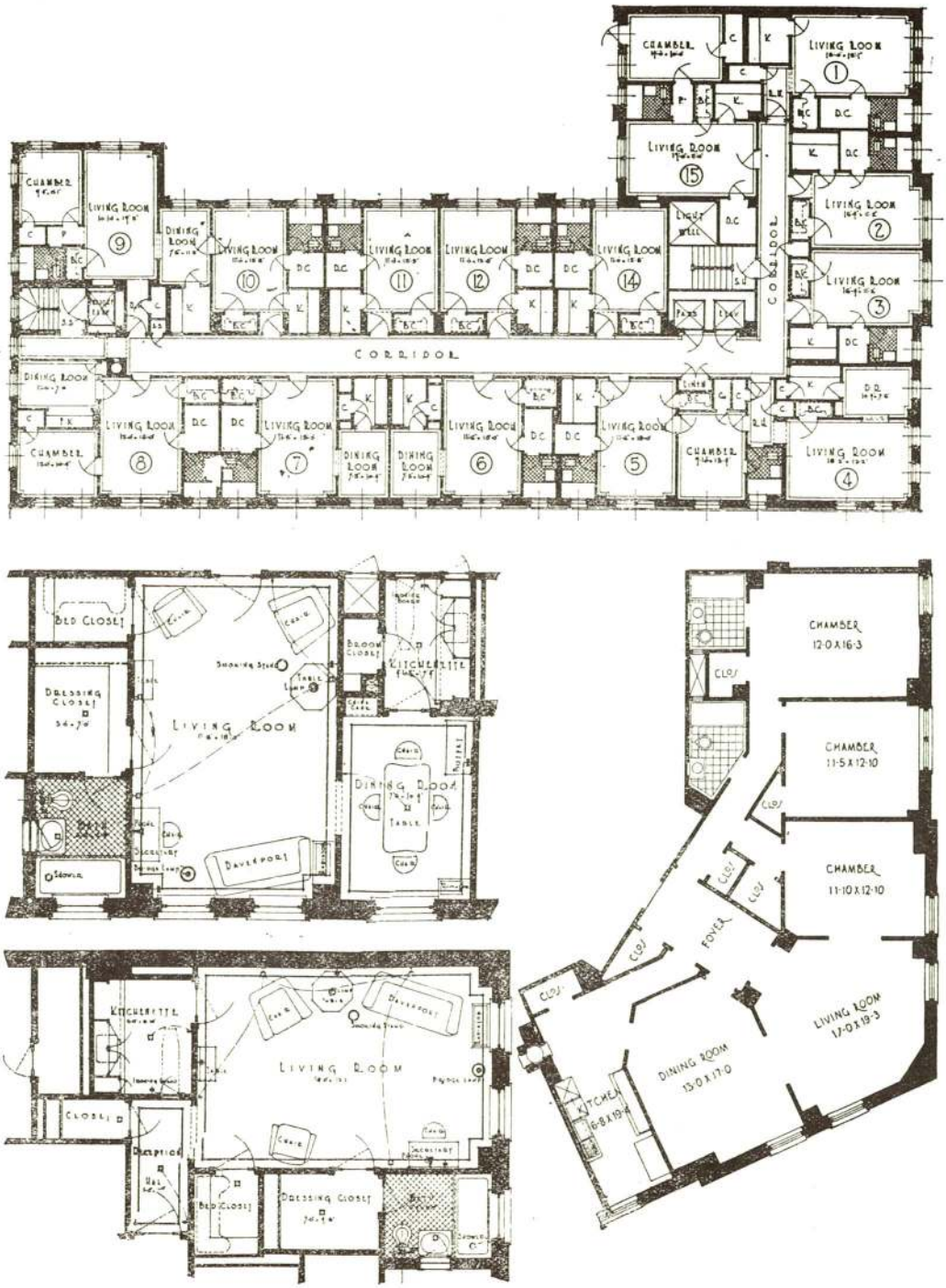
サービスエクユイブメント

1 絶へざる掃除と營繕。
2 各個別の來客用下女と番人。
3 客のC・O・D・パツケジをうける設備。
4 客の不平をうける設備。

第四圖は斯種ホテルのティピカル・プランの一例である。

Aシチー・ホテル (City Hotel)

市街地に建てるホテル建築と云



第四圖　或るアパートメント・ホテルのテイピカル・プラン

ふ意味である。それ故に實を云へば此の分類中に一流どころから三流、四流ものホテルがあり、その用途によつても二、三に止まらない多様なるホテル建築が包括せられてゐる譯であるから、どれを標準として説明すべきかに就いて少なからず撰擇上に迷つた。

茲では主としてコンマーシャル・ホテルを捉らへて説明したいと思ふ。そして其内でも客室數百五十乃至二百五十位を有する中庸の大さのもの、即ち二流どころのものに就ての説明に止めたい。丁度恁う云つた規模のホテルが日本の現狀に適合してゐる許りでなく、諸外國でも、此の程度のものが日一日と新しい試みを續けて新築せられてゐるからである。

それは普通の都市に就いて考へて見ても、都市の便利な位置で其土地を得るに云ふ點から云つて、一番得易い關係にある。そのプランニングなり、コンストラクションなり、エクイプメントの點に於ても規模の大なるものに比べて一番考究の價値と餘地が多いからでもある。斯の程度のホテルにして注意深く設計を得、經營上の關係や、諸種の要求に滿足にぴつたり合致して建築せられると云ふことが建築家にとつて一番苦心があると同時に、一番興味のあることであるからである。

反對に不用意なプランニングにより、エクイプメントや業の機能の運用上に欠ぐることがあつては、既に其ホテルは開業を待たずして失敗に終るに定つてゐるからでもある。

されば概説中にも序したる如く此種建物の設計に當つては、先づ建築家を撰定することが一番大切なることであり、また撰定せられたる建築家としては、單なる立派な建築家であると云ふ丈けではいけない、其の建築的手腕、力量に優秀なると共に、現代のホテルと云ふ業に精通し、そのオルガニゼーションと全き一致を完成せしむる丈けの研究と素養とが必要である。斯の意味に於て吾人はホテル建築の設計が他の如何なる建築の設計より以上に、難しいものであると云つた譯である。

兎に角、ホテル經營の根本が、そのファースト・コストの問題に左右せられる以上は、其の建築設計は何處迄でも此の點に基調をおいて、それに總てのエクイプメントなり、美的表徴の問題に迄で及んで、尤も進んだ合理化の尖端を行くと云ふことに歸する譯である。

特に斯種ホテルに就いて詳説を試む考へであつたが、紙數にも制限があるので一般に知られてゐる點は一切を省いて、その最も重大なる客室のプランニングを一通り記して見ることゝしやう。

客室の大さ、設備、及割合と云ふ三つの要素はホテルプランニングに起る最も重要なる要件である事は明かである。實際此の研究を出來得る限り充分になされ無かつたホテルは勿ち經營が成り立たゝなく運命づけられたものゝ云つても差支へない。

例へば客室の寸法に詳細な變化があるだらうし、シングルとダブルの部屋に相應しい割合とか、夫れ等の客室の大さなり割合なりに應じてバスルームとかトイレットの配置と云つた些細な點に及んだ研究である。

客室と其附屬設備が建物のファーストに何んな關係があり、是等の設備に要する經常費と利潤と云つた事に迄で詳細に研究を遂げてゐる建築家はないやうだ、斯かる實際問題の詳細を考慮することによつて其ホテルプランニングが遂行されたものでなければ經常が成り立つて行かない。

現在出來てゐるホテルの内に差程注意せられてゐない事の内に、隨分無駄な不經濟な事柄が多い。丁度家庭生活の延長とも見られるホテルには確に研究すべき幾多の餘事が存在してゐる。ホテルプランニングは恁んな點に留意して作成せられる要がある。

先づホテル建築に當つて考慮せなければならぬ事は客室數の決定である。そして次に夫れ等の客室の大小、ホテルの目的等を考慮することで、之等の決定によつて伴つて起る疑義の數も異つて來る。

現在ゲスト・ルームとしての設備の上から分類すると

(1)客室個々に浴室を有するもの
右浴室には浴槽、便器、洗面器を附屬するもの。

(2)右同樣
但し浴室にシヤワーの設備あるもの。

(3)客室が浴室に連接してゐるもの、其内部設備は(1)及(2)に同様なるもの。

(4)客室と浴室とが全然別個に設備せられるもの、其内部設備は(3)に同じ。

(5)客室は單に洗面器の設備あるのみのもの。

(6)ダブル・ルームの客室で、浴室のあるもの及なきもの。

(7)シングル・ルームの客室で右同樣。

以上の分類中(1)乃至(5)は浴室、洗面所、便所の形式と設備に伴ふ衛生性能に關するものであり、最後の二ヶ條はホテルのアツコンモデーション上の最も廣い函數となる重要なる要件である。

適當なるトイレットの決定

最近米國に建つ多くのホテル宣傳において、一番目立つ言葉は"Every Room with Bash"凡ての客室には、それに附隨せる浴室を有する、と云ふ宣傳である。がこれは業者から見ては決して意義あることを表はせるものではない。これを諷刺した米國の言葉に

慫んなのがある。

No other reason seems about as sensible as selling a million tooth brushes at a loss on each brush.

此の意味は齒ブラシは一本で足りるに無數の齒ブラシを買ふが如くで、それに依つて何等の益なきと同じことだと云ふ意味で、つまり現代の亞米利加人の有つ虛榮をそゝつた商策に過ぎ無い。斯樣なスローガンは必ずしもホテル經營から生ずるプロフイトとは採算外のものであつて、これが爲めに其のホテルの經營は既に死線を越へてゐるものと判斷せられてゐる。

全く一個のバス・ルームを設備すると云ふことは非常に多額の費用を要するものである。その内に設備すべき諸器具費の他に、壁なり床なりをタイル貼りとしたり、室の採光と換氣と煖房の設備を要する他、日本人の如くバス・タツブ外で身體を洗ふ習慣のあるお客を相手としては床から壁の腰高三尺位迄では鉛板による防水工事を施す必要があり、尙叮嚀なことを望むなれば腰から上方の壁乃至天井迄でも完全なる防水工事を施しておかなければならない。電灯には特種のダンプ・プロテション・ラムプの用意が必要であると云ふ工合に、驚く可き多額の費用を要するものであるから、其ホテルの性能を考へて、驚く可き多額の室料が徵收し得られる場合の他は眞に愼重審議の上でなければ斯種の設計は或る程度に見合はさなければならない。

私共の經驗から云つても、ホテル建築のプラムビング、ヒーチング、及ベンチレーチングの爲めに要する費用は總工費の約十五%乃至二十%の割合となるからである。そして此多額の費用中の主なるものが客室の浴室設備に費されてゐると云ふ譯なのである。しかのみならず、客室に各附屬せる浴室を持つと云ふことになると、夫れ丈け收容客室の爲めの利用面積を減ずると云ふことになるのであるから、愈々以て熟考せなければならない要件となるのである。

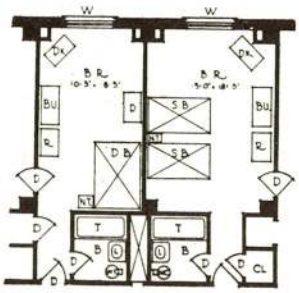
今假りに普通の少なホテルがあつて各客室毎にバス・ルームを附隨せしめたと假定すると、一人のメイドの爲し得られるグツド・サービスの範圍は十五室で、若しバス・ルームの無い客室であれば少く共二十室のグツド・サービスが出來得る譯であるから人件費に於ても裕に六十五%と三十五%と云ふ結果になる。

斯うした考へ方は、唯だ一例ではあるが、これが年中、つまり其のホテルの半永久的經營上には驚く可き多額の支出となつて來るのである。

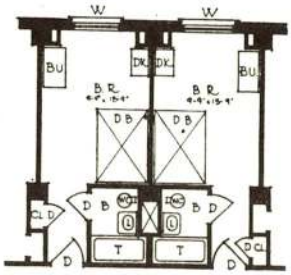
つまり、ウイズ・バス・ルームの客室問題と云ふことは、其ホテルのファースト・コストとオペレーチング・コスト上の最大問題であると云ふことに歸着する。

勿論近代の大都市に於けるホテルでは、各室にバスを附隨せしめやうとする傾向の大であることは否めない。前說せる如く米國では益々此の傾向に進展しつゝあるのが事實である。これは極めて大規模のホテルでは、工費上に融通性があるのと、開業後にショツプやガレッジやスアーと云つたものや宴會其他の收入方法によつて、客室料に生ずる少々の欠損を埋め合せ得ると云ふ好條件があるが、茲に例示したやうな客室二百五十室以内の中庸の規模のホテルでは、

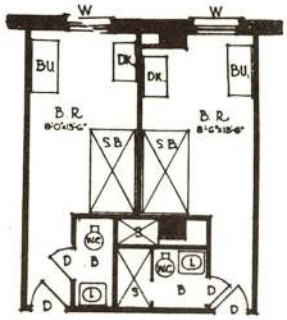
第五圖 客室とバス・ルームの平面圖 實施上成功せる諸ホテルより選擇したものである



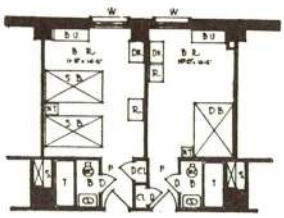
1 二人室。面積六一二平方呎。外壁に面する巾二四呎。廊下までの奥行二五・五呎。室内に出入口があつて他室と共通に使へる樣になる。奥行は都合で今少し短縮出來る。便利な客間の一種である。



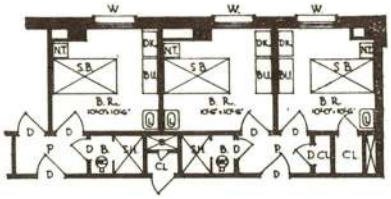
2 二人室。ダブル・ベット。風呂。便所付。面積四二五平方呎。壁に面する巾二〇呎奥行二一呎三吋



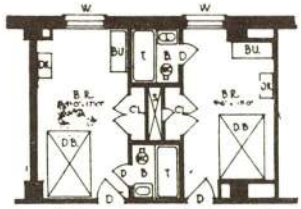
3 一人室。一方はシヤワー付一方は便所付。面積三五一平方呎。巾一七呎。奥行二〇呎八吋



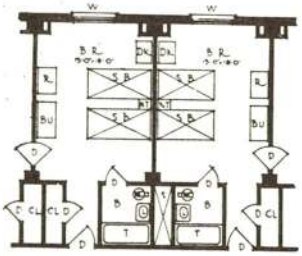
4 二人室。面積四六二平方呎。巾二二呎。奥行二一呎



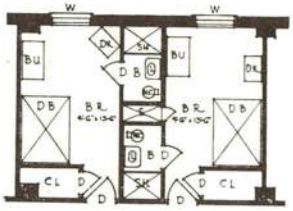
5 一人室。各シヤワー・コンパートメント及便所付。面積二室續きで三六三平方呎。巾二二呎三吋。奥行一六呎四吋共通の控室及内部に柱のなき點に注意



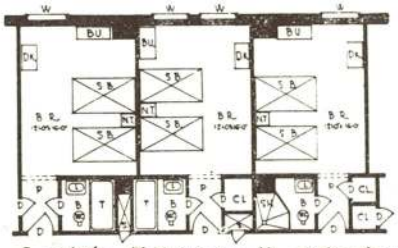
6 二人室。風呂及押入付。右下手の隅の場所を柱の爲めに損をして居るのに注意。面積四一五平方呎。巾二四呎。奥行一七呎四吋



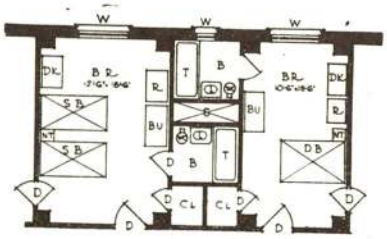
7 二人室。風呂及押入付。面積六八八平方呎。巾二七呎。奥行二五呎五吋



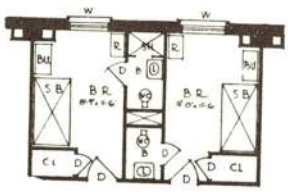
8 二人室。シヤワー及善い押入付。面積四〇五平方呎。巾二三呎八吋，奥行一七呎



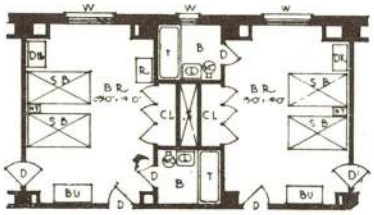
9 二人室。風呂シヤワー付。面積二室で五三九平方呎。巾二四呎六吋。奥行二二呎



10 二人室。風呂押入付。柱の配列に注意面積五八九平方呎。巾三一呎。奥行一九呎



11 一人室。一方はシヤワー付。一方は便所付。兩方共善い押入付。最少限度の大きさで而も氣持よく出來てゐる。面積三一二平方呎。巾二二呎。奥行一四呎半。内部の柱は圖に表はれて來ない



12 二人室。風呂押入付。具合よい大きさ。建築上の權威の爲めの柱型に注意。面積六七三平方呎，巾三四呎五吋奥行一九呎五吋

切り詰めた工費豫算と、室料が（先づシングル・ルームで平均五圓位と見て好からう）高くとれないものでは工費上の融通性が殆んど顧り見るの余地を存しない。

殊に大都市の市内にであれば好いが、サバーバンにでも建つとしたら、それこそ前記した通りの重大なるファクターと云ふことになるのである。夫れ故にどうしても經濟に堅い確心のある設計でなければならぬ。

それならば、シングルとダブルと、ツインのルームが何う云ふ割合に、何う云ふ大さを有するかと云ふと同時に、バス・ルームの配置數と、その大さと云つた實際問題に立ち入つて說明せなければならぬ。

普通ツイン・ルームで最少寸法は巾十一尺長さ十五尺位とし、シングル又はダブルで巾九尺長さ十二尺五寸位と考へられてゐる。

シングル・ルームを全部ウイズ・バスとすると云ふことは亞米利加でも望ましい設計ではないと云ふことになつてゐるが、現狀の日本ではシングル・ルームは總客室數の大約四分の一位にとり、バスの必要はなからうと考へる。

尙左に米國に於ける十七ホテルに設けられてゐるバス・ルームの平均寸法を表示しやう。

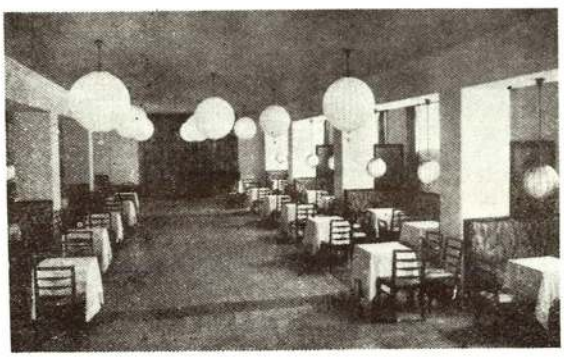
商業ホテルの室の大さの表

十七のホテルから得た室の大きさの表で室の大きさの概念を與へる

ホテル	風呂付室	シャワー付室	便所付室	化粧室付
キング・コットン	呎吋 呎吋 二一・四×一四・七	呎吋 呎吋 九・一〇×一三・七	呎吋 呎吋 —	呎吋 呎吋 —
ボッスウエル	九・三×一三・六	八・六×一三・六	八・六×一三・六	—
オネイダ	九・四×一三・九	八・〇×一三・三	八・九×一三・三	八・六×一三・〇
ポインセット	一一・〇×一五・六	一一・〇×一一・三	—	八・〇×一三・四
ベーカー	一一・六×一六・〇	九・六×一六・〇	—	—
コンモードル	一三・〇×一八・〇	一〇・〇×一八・〇	—	—
オリンピック	一三・〇×一六・〇	九・六×一三・六	—	—
ペンシルベニア・スチツラー	一一・〇×一七・〇	九・〇×一五・〇	—	—
ラツセン	一〇・六×一三・〇	一九・六×一三・〇	九・六×一三・六	—
ラゴンダ	一一・六×一三・〇	—	—	八・〇×一三・〇
スチープンス	一〇・一×一四・七	九・七×一三・五	—	—
チーフテイン	一一・六×一三・六	一〇・六×一一・〇	八・六×一三・六	八・三×一三・六
ノーフオーク	一一・〇×一五・〇	八・六×一五・〇	九・〇×一四・〇	九・〇×一四・〇
ジエームスタウン	一三・〇×一四・二	八・一〇×一一・二	八・一〇×一一・二	—
バツファロー・スチツラー	一一・〇×一七・〇	一一・〇×一五・〇	—	—
デトロイ・ステツラー	一三・〇×一五・〇	九・〇×一一・〇	—	—
ルーズベルト	一一・〇×一八・〇	九・〇×一五・〇	—	—
平均	呎吋 呎吋 一一・一×一五・三	呎吋 呎吋 九・六×一三・六	呎吋 呎吋 八・一〇×一三・一〇	呎吋 呎吋 八・四×一三・〇

第五圖は客室とバス・ルームの標準プランニングを示したるものである。

圖中3はシングル・ルームの一つはラボラトリーオンクーで他をウイズバスとしたもの、2はツー・ダブル・ルームの間仕切壁間へバス・ルームをとつたもの、4はワン・ツイン、他をダブルとし、各々へウイズ・バスとしたもの、5は出來得る限り大きな中庭をとる必要などのあるとき、室の奥行きを縮める必要あるときに斯種の必要が生じて來る。以下適當に御考察を願ふこととして此の稿をおく。



パークホテル・ハウス＝レッヘンバーの一部



コンマーシヤル ホテル計畫の下準備

高橋榮治
(住友合資會社建築課)

"Hotel Planning and Outfitting" (by The Albert-Pick-Barth Co.)を根底として敷衍したものである。新たにホテル計畫をなすに資する處があると考へる。又引用した諸表は主として米國のみの實例ではあるが極く參考價値に富むものである。本稿は始め「ホテル計畫要項」と題したが脫稿後前揭の古塚氏の記事と重復する處を避け稿を改め題を新にした。

ホテル計畫は其の種類目的に從つて複雜な諸相の問題はあるが要するに根本は共通である。元來ホテル經營なるものはホテル舘を建てその業務に從事し、その資金、その勞力とを以て利潤を得やうとする一種の投資である。然るに此の企業の大多數は遺憾乍ら此の目的に成功してゐない。實際經驗家は其の根本理由を計畫に經濟的感知が欠乏してゐたに基くと云ふ。位置が偏してゐたり、間取りが惡かつたり等總て投資前に計畫をビジネスライクによく吟味しなかつた結果である。以下說かうとする商業ホテルに於ては特に其點に留意を要するものである。

今日の商業ホテルは何處でも大抵町の目標の如くなつて居る。單に地方的の旅人の宿泊處といふよりももつと廣い樣々の要求を滿たしてゐる。町の社交界商業界は實にこの種のホテルを中心にして行はれるものである。丁度ホテルは町の顏である——外部に町の產業の潑剌たる姿を示す顏である。善いホテルを持つ町は爪先で立つて居る樣なもので、人を呼びかけ商賣を引きつける。

然し過ぎたるは及び難しで、餘り數多くあり過ぎても反つて結果が惡い。供給過剩の狀態はホテルを不景氣ならしめる、そうすれば屹度サービスは惡くなり、客の印象を惡くするものだ。

米國では現今既に多過ぎる觀がある、それに拘らず今以て盲目的に投資されつゝある、町に立派なホテルを建てゝ町の見物場所にしやうとか、又町の中心に丁度手頃な土地の賣物が出たといふ樣な理由や、又時には無暗に尨大な計畫が實施されるといふ風な具合で。

兎に角新ホテル計畫の根本の要求を愼重に吟味しなければならぬ。ホテルは前にも述べた通り單に一晩泊りの旅人相手のみならず又その地方的要求に從つてその土地の公衆用の設備もせねばならぬ。然しこれは稍もすれば遣り過ぎることがある注意すべきである。

又重大なる問題は、維持、消耗、改築等の費用の高い分子の工夫である。それには材料、設備、裝飾、家具等に善い物を使用することで解決出來る。實驗によつて最初の投資を儉約するのは結果反つて損であることが明瞭になつた爲め近來では新らしいホテルは例外なしに以前より總て立派になつた。

善い建築は善いビジネスである 美的思想なきホテル・マンに注意したい。善い建物は公共團體の賞狀、保證證の樣なもので廣告的價値を持つてゐる、又長期に亘つて他のホテルとの競爭に有效に耐へられ從つて物質的にも建物の評價價値を增すものである。

商業ホテル計畫の解析 ホテルの平面圖を多數に研究してもそれからホテルの間取に通則を求めることは出來ない——部屋の大きさを簡單な公式で示すとか、內部の各組織間の圓滑に、經濟的に、運用を保證する樣な關係等が結局發見出來ない。だから經驗のみから或るプリンシプルを建てゝ設計を進める、尤も此は手引として善く研究してから利用しなければならぬ。ホテル計畫は個性的のものであり、要求樣々であり、土地の狀況も其々異ふものであるから。

(第一表●第二表)

スペース機能表 前に述べた様にホテル計畫の重要な等一歩は實に此のスペース・機能表の作製である。

第五表は中都市の二百室ホテル計畫の標準機能解析表の一例である。此れには平面に必要なスペースの種類を列擧し其次に各概略の個數及大きさを豫定する。

ホテル計畫の成功不成功は一にその平面による所大なるを知ればその各階の平面圖作製に著手し始める時が如何に貴重な時季であるかを悟るであらう。要するに外觀等は絶對的に第二次的のものである。建築家の重大なる任務は經濟的に成功さすべき優秀な平面圖を作製することである。それには先づ下慥として是非この機能解析表を作らねばならぬ。

スケッチ・プランを充分練れ 施主は先づ建築家の作製したスケッチ・プランを熟慮することが第一の義務である。施行圖面、仕樣書其他細部の研究等に目を轉ずる前に有効な平面を完成せしむる努力を惜しむではならぬ。變更は後になつても可能であるこ云ふのでこの畧設計を匆々の間に定めてしまうことがまゝあるがこれは常に要らざる金を多く費やし而も不滿足な結果に終り勝ちである。又この畧設計は見掛けが簡單である爲めに時としては見誤りをすることあり、又實際實行困難な事情に遭遇して計畫を全然變更しなければならない樣なことがあるからよく注意しなければならぬ。

精密な研究は經濟を意味する 平面畧設計圖が完成すればホテル運用の專門家なり實際家なりに各部の床面積や各部の連絡や機能について詳細に考究して貰ふ。而して後に始めて外觀圖や詳細圖に移る。

此の平面決定に六大機能項がある。

一、Public Space (パブリック スペース) 泊客其他一般公衆が共同で使ふ部分で大部分不收入性である。ロッビー、帳場、ラウンヂー(遊步場)、ライチング・ルーム、便所手洗場、舞踏室等の饗應に用ふる場所等。

二、Concession Space (コンセッション スペース) 收入性。客が金を拂ふ種々のサービスの場所即理髮店、美容店、煙草店、新聞賣店、洗濯店等。

三、Sub-rental Space (サブ レンタル スペース) 他に貸す部分。貸店、倶樂部其他一般の人及ホテルの客に物を賣る店に貸す部分。

四、Food Service Space (フード サービス スペース) レストラン、カフエー、其他ホテル內で食物を供給する場所及それに附隨する調理室其他。

五、Guest Room Space (ゲスト ルーム スペース) 廊下、昇降器、廣間等のある標準客室階を全部含む、又見本室、組部屋等の特殊な部屋をも含む。

六、General Service Space (ゼトラル サービス スペース) ホテル運用に必要な他の部分即地下室、配管室、機械設備に要する場所及其他。

實際の目的や機能を考へて色々の要求の室を列擧する 次に各部分の概略の大きさ、數量其他のデーターを割り充てる。かうして建築家は種々のスペース・ユニツトの一群を得、それを巧に組合すこと立派な平面圖が出來上る。

機能表をかういふ風に手引として平面圖を構成する方法は全計畫に曖昧な感念で出發し後になつて變更でごた〳〵するに比して一段優れてゐる。又此の機能表に記入する各スペースの精密な要求はどうして造り上げるか。これは過去の經驗や運用の具合を豫想して前揭六大要項の一つ一つについて順次に當つて行くより外はない。

第一のパブリック・スペースに關して重要な事はホテル床面積の總計の內幾割をこの公共場所即不收入部分に充つべきかといふ問題である。これは適當な平面圖を二三研究すれば直ちに立派に答へられる。第六表と第七表とは此の目的の爲めに揭げたものである。

別に又標準的ホテル平面解析表を載せる、これは從來の平方呎で測つた以外に立方呎によつたものも記載されてゐる。(第三表)

大きなホテルでは收入部分の比較面積は大である。例へば紐育のルーズベルト・ホテルでは全面積約六十六萬平方呎の內六九%は收入部分である。その內割は

	全面積	收入部分	不收入部分
第三地下階	二〇、〇〇〇	六、五〇〇	一三、五〇〇
第二地下階	二〇、〇〇〇	六、〇〇〇	一四、〇〇〇



第一圖 ホテル•キング•コツトン(ノースカロリアのグリーンボロ所在)
ジョン•ビー•ピーターキン氏設計

第一地下階	二一〇、〇〇〇	六、〇〇〇	一四、〇〇〇
第一階	四二、〇〇〇	三四、〇〇〇	八、〇〇〇
第二階	四二、〇〇〇	二四、〇〇〇	一八、〇〇〇
中二階	三〇、〇〇〇	二四、〇〇〇	六、〇〇〇
第三階	三七、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二七、〇〇〇
第四階	四三、〇〇〇	三三、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
第一九階	一四、〇〇〇	—	一四、〇〇〇
第二〇階			
總計	六五八、〇〇〇	四四二、五〇〇	二三四、五〇〇

新計畫の平面を練る時は勿論收入部分の割合を少しでも增す樣に努力すべきである。公共用の室を單に印象をよくする爲めだとか、コンフォートの爲めとかに徒らに大きくするのは善くない、アトラクチブにさへ意匠し裝飾すれば其の目的は充分に達し得るものである。

コンセツシヨン には相當の場所が必要であるからその地方の狀況客筋等を深く研究して成可早く定める。第四表は各種のホテル•コンセツシヨン•スペースの大さを示すものである。

此のコンセツシヨンは次の三種に別たれる。即ちホテル直營、割前で貸す、貸切り。

其の建物內での位置は商業政策上に定めるべきものであるが出來れば平面中で他に使用出來ずに不用になつて居る場所を使ひたいものである。

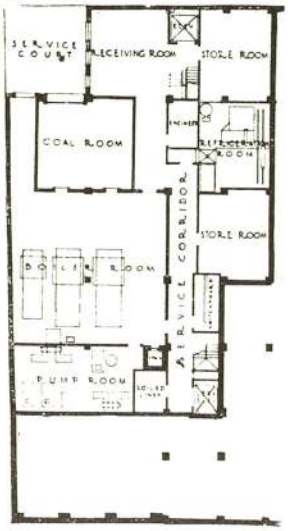
サブレンタル•スペースの重要 サブレンタル•スペースを設けるこゝは殆んど總ての商業ホテルにとつて非常に重要なことである。此種のホテルは概して繁華な商業地域にある、從つて地價も相當に高い、町の繁榮策から見ても又ホテル自體から見ても必要な事である。

その土地の狀況をよく觀察してその爲めにこれを設くべきや否や又設けずとしても將來商業地域擴大し來りその必要起るや否やをよく考察せねばならぬ。先見の明が無かつた爲その必要が差し迫つて始めて餘儀なく多額の費用を掛けて不充分な變更工事を遺つて居るのが多い。これは最初より當然街路に面する第一階部の構造材の架構や配置に注意しておかなければならないものであつたのである。倶樂部室、舞踏室、個人用食堂其他地方的社交的要求から來た場所は可成危險性を帶びて居る故に要求が非常に明らかな時とか又長期賃借の申出がないときは先づ省約する方が安全であらう。此等のものは大抵利益が少ない、善いホテルでも此種の費用のみかゝつて利得の少ない爲めに困つてゐるものが可成りある、特に公共經營のホテル等には特に此種のスペースを多く取り過ぎて惱んで居るものが多い。

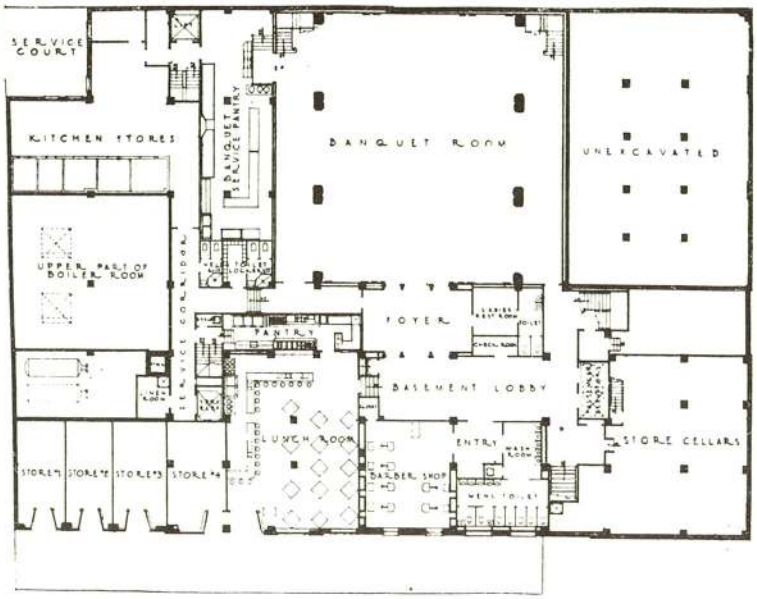
貸店舖の計畫には先づ如何な種類のものがホテル內で相並んでうまく行くかを考へなければならぬ。普通には此等はホテルのロッビーと表の道路と兩方に入口を持つて居る。

食物サービス に關しては如何程のスペースが必要で、平面の何處の部分に持つて來れば一番經濟的で且能率が上るかといふ問題が重要である。これは今述べないが當

第二圖　ホテル・キング・コツトン平面圖

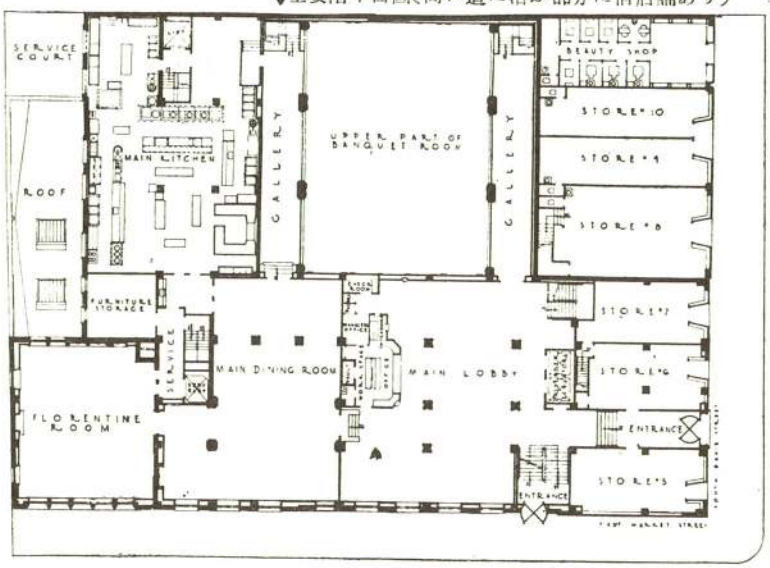


↓第一階平面圖(低い道に沿ふ部分のみに借店舗を設く)



↑地下階平面圖(圖面の部分のみ地下階あり)

↓主要階平面圖(高い道に沿ふ部分に借店舗あり)



然當推量は排除すべきことにのみ讀者の注意を向けておく。

次に客室の問題に移る。これはホテル設計中最も重要な問題で單にこの題目だけでも數百頁の論文が出來る。先づ客室の大きさと數量とを大畧定めねばならぬ。これは其場合の條件で樣々になるものと心得なければならぬ。(第八表—第十圖表)

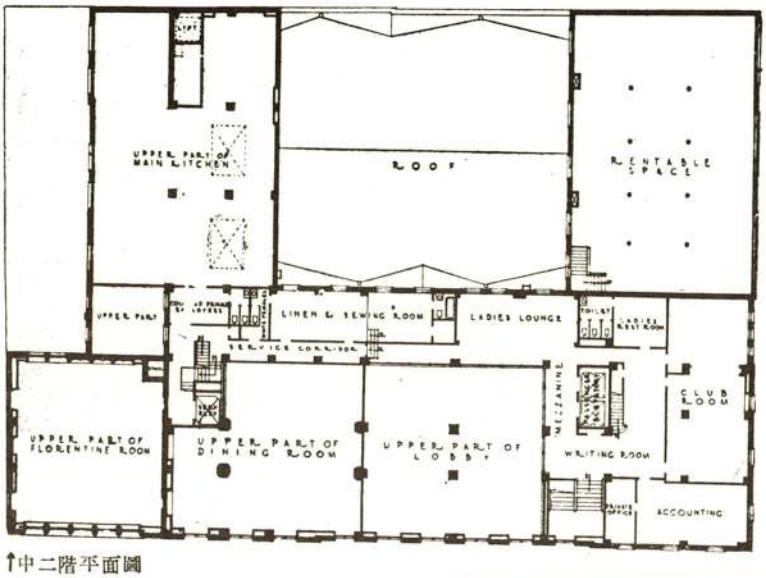
建物の敷地が撰定せられたとする、次にパブリック・スペース、レストラン、其他特殊の室を有する第一階(或は時として第二階まで)は敷地上に百%の大きさで立つ。規準客室階の正味面積は平面の形や中庭等の關係で約七十%前後である。

故に其階の總床面積はその一割增で敷地面積の七十七%となる。例へば敷地が八〇呎×一〇〇呎とすれば第一階八、〇〇〇平方呎。規準階床面積六、一六〇平方呎になる(七十七%)。客室の大きさは前以て其の平均値を定める。それを一〇呎×一四呎即ち一四〇平方呎と假定し、浴室、便所、廊下及間仕切としては經驗に徵して約八十%を客室正味の大さに加へて二五二平方呎になる。

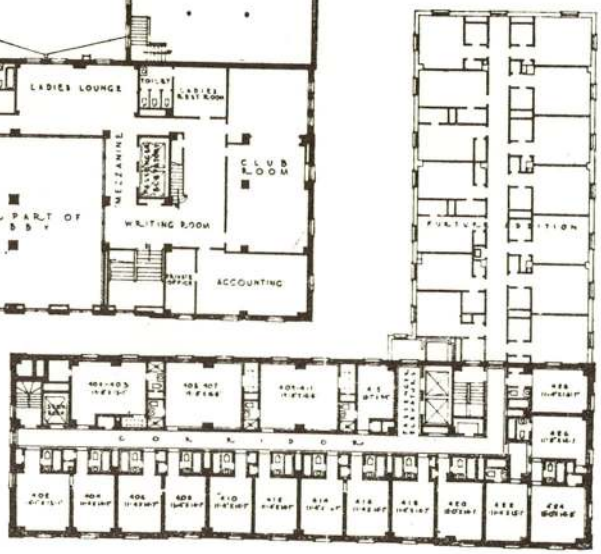
六、一六〇を二五二で割れば第二階以上の各階には各約二十四の客室を望み得る。今此建物を八階建とすれば客室は約百五六十室取れる(第二階にも少し取り得るとして)

次に建築工費概算は立方呎法によつて都合善く定められる。建物の立方容積は大體床面積に階高を

第三圖
ホテル・キング・コツトン平面圖

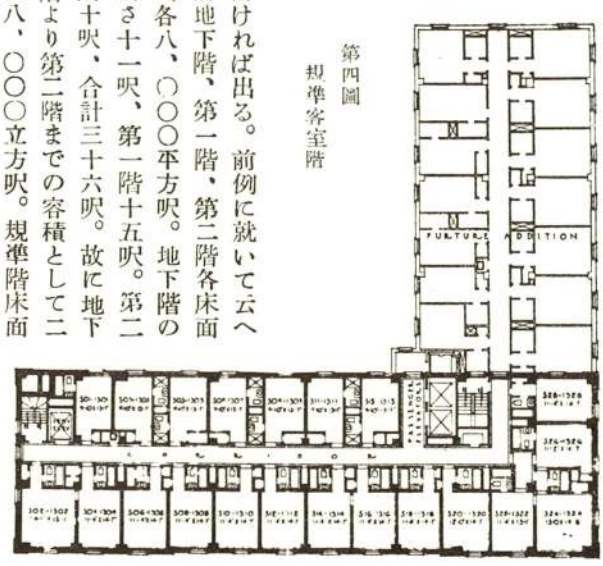


↑中二階平面圖



第四階平面圖
見本室及將來擴張の準備を示す →

第四圖
規準客室階

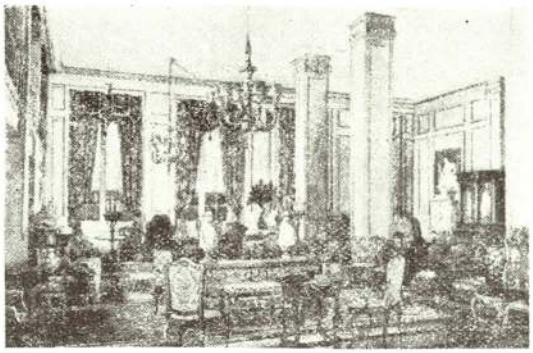


掛ければ出る。前例に就いて云へば地下階、第一階、第二階各床面積各八、〇〇〇平方呎。地下階の高さ十一呎、第一階十五呎。第二階十呎、合計三十六呎。故に地下階より第二階までの容積として二八八、〇〇〇立方呎。規準階床面積は六、一六〇平方呎。各階高さ十呎、故に六階で六十呎の高さとなり屋根三呎を加へて總計六十三呎、故に容積として三八八、〇八〇立方呎を得、合計六七六、〇八〇立方呎となる。

第十一表は各種構造のホテルの建築工費を示すものである。それに據つて概畧工費が定め得られる。今此建物を鐵筋コンクリート造とすれば表によつて一立方呎工費六十五仙、總建築工費概算四四〇、〇〇〇弗を要し、一室當りの工費約二、八〇〇弗となる。この概算は計畫の基礎として役立つものであらう。

此處にキング・コツトン・ホテルの平面圖を轉載する將來擴張建增が理論的に準備されてあることが認められるであらう。これはホテル經營者に取つて重大な經濟的意義を有する根本平面法に關する問題である。建物の最終の大計畫は豫定して置くが建てるのは其一部の必要最少限度の室數のみにする。夫には出來れば最初基礎は全部築き地下階第一階第二階等のスペースは全計畫の全部を建築するが客室階の內、片袖或は兩袖は後に至つてホテルが經濟的に基礎が確立して後建增出來る樣な平面形にしておきたい。さすれば建築工學的にも安全であるし又建增しも

ホテル·キング·コツトンの內部裝飾



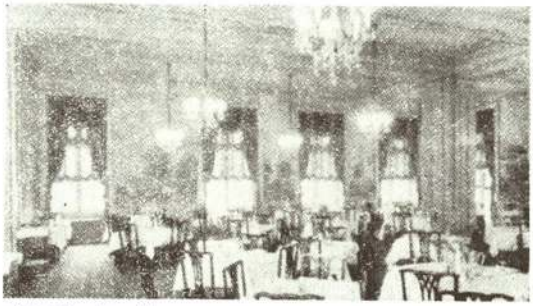
第五圖 ロツビー



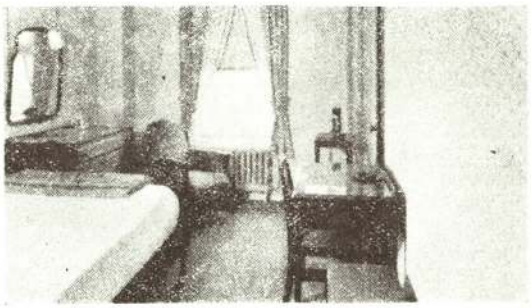
第六圖 ロツビー



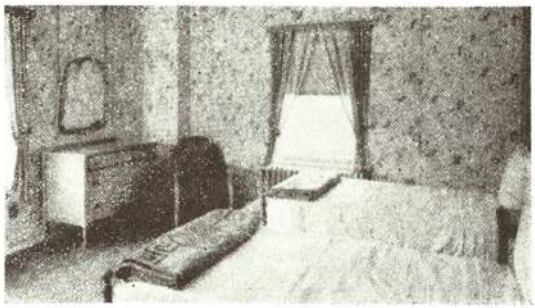
第七圖 舞踏室



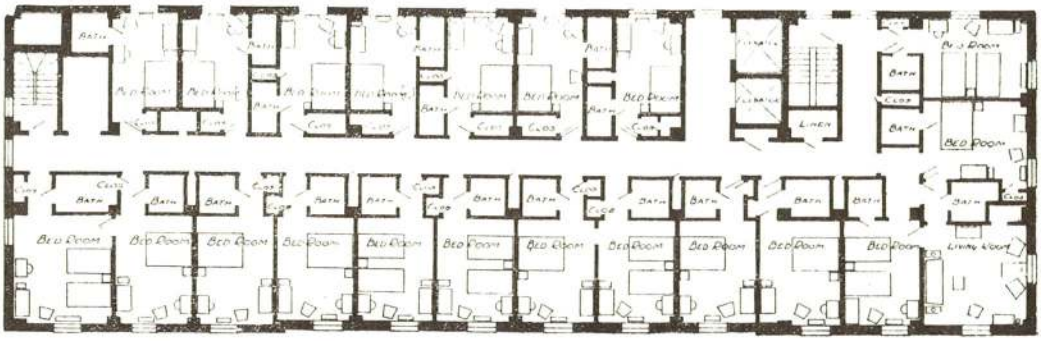
第八圖 食 堂



第九圖 一人用客室

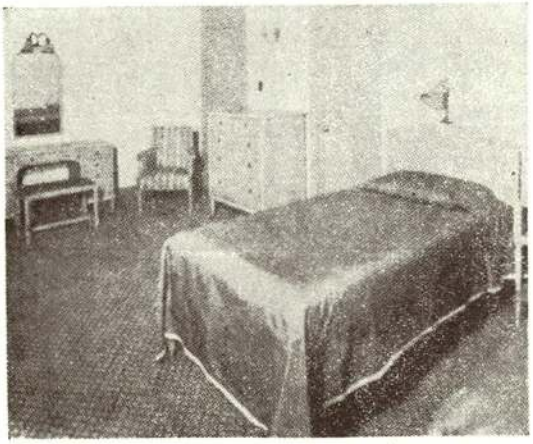


第十圖 二人用客室

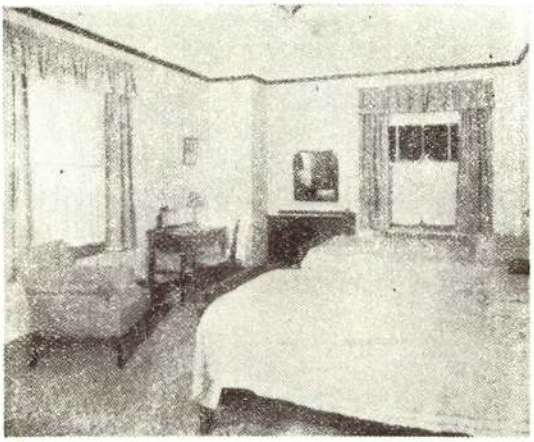


第十一圖 規準客室階 客室內の家具の配置を示す

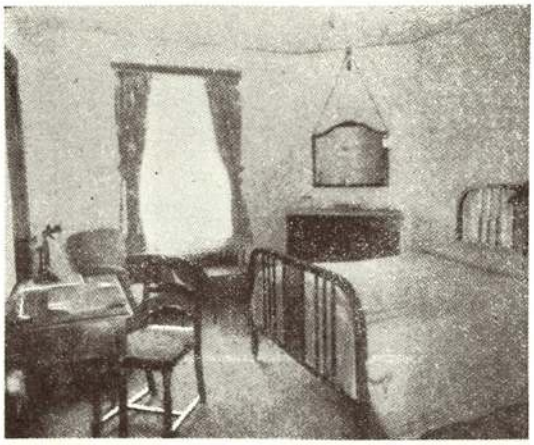
コンマーシヤル・ホテルの客室諸實例



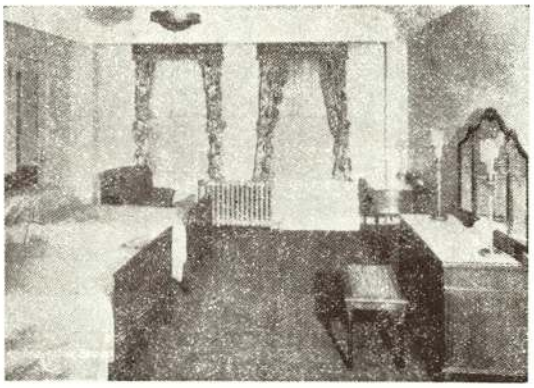
第十二圖　ホテル・ブツク・カーヂアツク(デトロイ)



第十三圖　ホテル・ビスマーク(シカゴ)



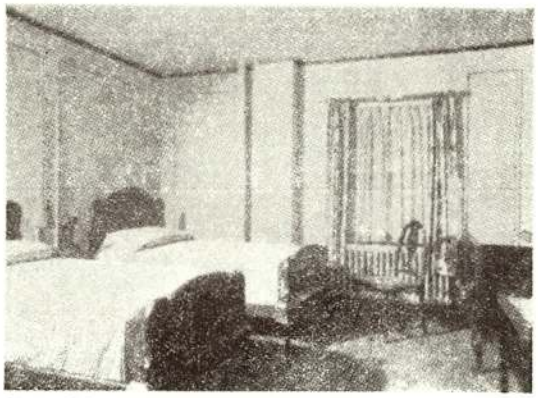
第十四圖　ホテル・リチヤード・マツクアリスター
(ハノーバア)



第十五圖　ホテル・リツズ・カールトン(ボストン)



第十六圖　ホテル・バンダービルト(アツシエビル)



第十七圖　ホテル・ワウソウ(ワウソウ)

僅か數ヶ月で營業に支障なく出來上る。

これは保守的の遣り方ではあるが斯道の經驗家も建築家も皆齊しく推奬するところである。現に缺損續きや又儲の少ないホテルでも今もう四五十乃至百位客室が餘計にあつたら確かに立派な成績をあげ得られるものが多い。然し今更隣地を買ふて增築する資金もなし或は四周の狀態も許さぬ、然りとて上に擴張するにも遺憾ながら地形が今以上の荷重に堪へ得ないのである。

又貸貸するスペース　に就ても考へねばならぬ。よく小都會に新計畫をなす時に起る問題であるが建築當時には倘貸店舖の準備する必要ありや否やが判斷し難い事がある。それといふのが近隣にまだ充分その要求が起こる程繁華でないからである。然しかやうな時新らしいホテルが出來た爲め刺戟を受けて賑になり、高級の小賣店が激增したといふ話をよく聞く。だから考へて、第一階に數個の貸店舖を設けるに比較的廉い費用で直ぐに改築出來る樣に當初から配置構造を豫め攻究しておくのが利巧である。

第一表

商業ホテル計畫準備解析表

此表は商業ホテル計畫が成される前に考へなければならない諸重要點を示すものである。

○敷地の條件

一、敷地の形及平面の形 ― 經營者の立場から最も實用に適すること

二、堀り方及基礎の狀態

三、採光と通風の狀態

四、將來擴張の問題

○敷地の經濟

一、位置(次の諸項に關して)

(a)交通上

(b)商業中樞地域

(c)娛樂・小賣店地域

(d)近隣の形勢

(e)周圍の建物の型

二、全費用と敷地費との關係

三、貸店舖の可能性

四、不動產價値の傾向

五、名稱を注意深く撰ぶこととその保證

○相談すべき專門家

一、不動產評價及貸借評價專門家

二、測量及地質專門家

三、建築家

四、復雜なる諸構造及機械學的の問題の專門家

五、豪所、洗濯場及ホテル特殊サービスの設備技師

六、經營に諸種の意見を徵する經驗あるホテル・マン(將來このホテルの支配人になる人なれば一層宜し)

七、利得を計算し、計畫や財政を判斷する經驗ある會計方

○財政表

一、投資の豫算案編成

(a)土地とその改良

(b)建物とその設備

(c)食物サービスの設備

(d)家具と裝飾

二、豫測財政表を作製すること

○平面諸要求

次の諸要件で大體の大きさなり型を定めると建築家が直ぐに略設計を引く

○客間

一、大體の數量

(a)風呂附と風呂無し

(b)見本室

(c)續き組部屋

二、廊下の大きさ

○公共室

(a)一般の大きさと種類

(b)概略の位置

○食物サービス

(a)概略の大きさとレストランの性質

(b)必要な大きさ及調理室とサービス・スペースの關係的の位置

(c)概略調理室設備

○サブレンタルとコンセツシヨン

(a)型と建物內の位置

(b)店や勘定臺等の大體の大きさ

○機械設備及サービス設備

次の諸項に關して要求を大體定める

(a)動力と煖房

(b)昇降器

(c)洗濯場 ― 位置と大きさ

(d)通風

(e)物置洗物置場等

(f)使用人の部分

(g)修理室等

○家具と裝飾

(a)標準の客室裝飾の豫算

(b)レストランの裝飾及設備の豫算

(c)公共室の裝飾の豫算

第二表

商業ホテルの所得スペースの種類

此表は諸種の大きさのホテルの經驗上所得の見地からのスペースの使用法である

○七十五室程度のホテル

客室（風呂無し・風呂附き）
見本室
コンセッション、ロッビー、スタンド、一或は二店
レストラン（小ホテルでは屢々無いことがある）
個人用小食堂
倶樂部室（地方の俗に從ふ）

○百五十室程度のホテル

客室、續き組客室、見本室
レストラン及カフエー店
コンセッション、新聞賣店、煙草店等
理髮店
賣　店
宴會場及舞踏室
倶樂部室、個人用小食堂

○二百二十五室程度のホテル

客室（一人用及二人用）
見本室及續き組客室
コンセッション
理髮店、美容店、土耳古風呂
小賣店
レストラン、グリル・ルーム、カフエー店、喫茶店
宴會場及集會場
倶樂部室及個人用小食堂
自動車庫（別棟）

第三表

ホテル平面解析方法

本文に於て此事は充分說いてあるが此處では經濟的意味に從つてのホテルのスペース測定法に二種ある事を注意する。一は總ての部分を忠實に列擧する法で、今一つは次の五つの項目に分類してかゝる法である。この方が推奬されてゐる。

「A」不收入性の公共スペースの全床面積
「B」客室の全床面積（廊下、昇降器室等を含む）
「C」食物サービス用全床面積（調理室、食堂、貯藏室を含む）
「D」他の諸サービス用の床面積
「E」貸スペース（貸店舖、コンセッション等）

次に實例を示す

標準計畫解析表

地下階

	平方呎
「C」調理室貯藏室（一二×二四）+（一四×四）……	三四四
「D」地下階殘部分（七七×九五）−（三四四）……	六、九七一

第一階

「A」ロッビー（五二×六〇）……	三、一二〇
日光室（二三×四四）……	一、〇一二
書き物室｝（一二×四四）……	五二八
婦人化粧室｝	
通路（一〇×四四）……	四四〇
入口（一一×二〇）……	二二〇
玄關（一〇×一六）……	一六〇
アルコーブ（一〇×一四）……	一四〇
「B」昇降機（二二×九）……	一四〇
サービス廣間（七×二五）……	一七五
「C」カフエー（二二×四〇）+（三七×二七）−（一二〇）…	一、十五九
調理室（五二×三二）−（八×二一）+（九×一二）…	一、三八八
階段（九×一二）……	一〇八
「D」雜 ……	五四〇
「E」貸店舖第一號第二號（二三×四七）……	一、〇八一
同　第三號（二一×二七）−（六〇）……	五〇七
電報（七×一一）……	七七
煙草賣臺（二一×一一）……	二三一

上層階

「B」五層階に各階三十一室總て百五十五室

床面積（四七×九五）+（九九×四八）……	九、二一七
五層階床面積（五×九、二一七）……	四六、〇八五
「D」塔屋（一六×二〇）……	三二〇
機械室（一六×二〇）……	三二〇

總面積

	立方呎
「A」……	五、六二〇
「B」……	四六、四五八
「C」……	三、五九九
「D」……	八、一五一
「E」……	一、八九六

立方呎

「A」（一五、五×五、六二〇）……	八七、一一〇
「B」（一五、五×三七三）+（四二×九、二一七）……	三九二、八九五
「C」（一五、五×三、二五五）+（八、五×三四四）……	五三、五三一
「D」（一五、五×五四〇）+（八、五×七、六一一）……	七三、〇六三
「E」（一五、五×一、八九六）……	二九、三八八

商業ホテル内コンセツシヨン及サブレンタル・スペースの種類

此表は多數の既成ホテル平面の調査に據る平均値である

第四表

種類	要求正味平方呎 二百室ホテル	五百室ホテル	千室ホテル
(1) 理髪店	七五(椅子七)	一、三五〇(椅子一六)	二、八〇〇(椅子三)
(1) 美容店	四五(椅子三)	二、五〇〇(椅子一〇)	三、五〇〇(椅子一四)
事務室	五〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇
藥店	一、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇
花店	ナシ	六二五	一、二〇〇
煙草店	五七五	五七五	五七五
(2) 小間物店	七二五	七二五	七二五
(3) 店屋	三、〇〇〇	五、〇〇〇	七、五〇〇
(4) 新聞賣スタンド	一二五	二五〇	二五〇
公共便所	五〇〇	七〇〇	一、〇〇〇
電話	一〇〇	三〇〇	五〇〇
電報	六〇	一三〇	一三〇

(4) ノ内譯

公衆便所設備	個所	小便	手洗	個所	小便	手洗	個所	小便	手洗
(男用)	五	四	六	一一	八	八	二五	一〇	一三
(女用)	二	二	二	六	五	五	八	六	六

(1) マニキュール及便用人の着換入や化粧室を含む
(2) 最小限度の數である
(3) 芝居切符、新聞、雜誌、菓子等をも賣る

第五表

機能平面解析表 (商業ホテルの標準)

平面圖作製以前に造られる機能平面解析表の一例である

客室及階

客室 二〇〇室乃至一九〇室(風呂附) 一六室、見本室、第二階第三階平均廣二二〇平方呎、各風呂便所、疊込み寢臺付 七四室、一人室風呂付、(内二四室はシヤワー付)平均廣一二〇平方呎 九〇室、二人室風呂付、平均廣一五〇—一八〇平方呎 二〇室、續き組室、各パーラーに疊込寢臺付、平均廣一組三〇〇平方呎

部屋高天井下端まで八・五呎

廊下 幅最小限度七呎

洗物室(リンネン) 各階二室づゝ。各七〇平方呎

公共室及半公共室

地下室、第一階、中二階に設くるのが理論的である

ロツビー 四〇×六〇呎、主入口〇〇街、帳場三〇〇平方呎、事務室一五〇平方呎、荷持人机、新聞煙草賣臺

ラウンヂー 一、五〇〇平方呎

書き物室(ライチングルーム) 一二×二〇呎

便所、休憩室等 男用—小便器四、大便所五、手洗五。婦人用—四、手洗四

舞踏室 集會及饗應用各四〇×七〇呎

倶樂部室 二五×六〇呎と二〇×四〇呎

個人事務室(プライベートオフヒース) 中二階、四室、大略一八〇平方呎

サブ・レンタル・スペース 二、〇〇平方呎、六室或七室、ホテル内と道路側と兩方に入口を設く

理髪店 椅子六、及美容店、一二×二四呎

食物貯藏及サービス

食堂 座席三〇〇、概略四、五〇〇平方呎

調理室 三、〇〇〇平方呎、貯藏室をも含む

ランチ室 座席一〇〇、概略二七五〇平方呎

夜會夜食 舞踏室用、七〇〇平方呎

個人用小食堂 三室、各大きさ二五〇平方呎

略設計データー

構造 鐵筋混凝土造。防火構造。ホロー・タイル積込ティ・コツタ及煉瓦壁

暖房及動力 低壓蒸氣式。炊事用蒸氣公共室各室間換氣裝置。燃料には油を用ふ

昇降器 客用三臺、サービス用二臺

第七表

近代十商業ホテルの收入スペース表

此表は經濟的に成功せるホテルを十種撰んだものである。收入スペースとは直接に收入の上る部分を指し、不收入スペースはサービス用、公共用補助用等の部分を含む。此の表はホテルの大きさとその町の人口とを揭げてあるので比較對照に便である

ホテル	全面積	室	店	レストラン	不收入スペース	收入の%
ホテルA 三六五室 人口 四〇一、三〇〇	地下階	一八、〇〇〇				
	第一階	一五、四九〇	七三五	二、七〇〇	一四、五七五	
	中二階	一三、七〇〇	三四〇	八、八五〇	一五、一五〇	
	第二階 標準階	五八、四〇〇			三七、三〇〇	
	物置	四、〇九〇			四、〇九〇	
	總計	一六二、四七〇	四、八四〇	五、五五〇	八八、三三〇	四六、〇%
ホテルB 一〇三室 人口 二一、一〇〇	地下階	七、七五〇	八五〇			
	第一階	七、五〇〇	一、九六〇		一、九六〇	
	中二階	七、一〇〇	一、七〇〇	三七〇	二、〇七〇	
	標準階	二一、一〇〇	四、二〇〇		四、二〇〇	
	總計	一六、七五〇	二、三三〇	二、七七〇	六、九〇〇	五〇、五%
ホテルC 五七室 人口 七、四〇〇	地下階	四、五一〇				
	第一階	六、〇九〇	一、〇三〇		一、〇三〇	
	標準階	一四、八八〇	一、五四〇	三一〇	二、四五〇	
	總計	二五、四八〇	二、五七〇	三、一〇〇	五、六五〇	五二、六%
ホテルD 二六五室 人口 八、三〇〇	地下階	七、七三五				
	第一階	三、四〇〇	三、九七〇		三、九七〇	
	中二階	三、四〇〇	一、八六〇	四、七〇〇	六、五六〇	
	標準階	三九、三〇〇			二、六五〇	
	總計	二六、二五〇	五、八三〇	四、七〇〇	一三、二五五	四五、三%
ホテルE 一九七室 人口 一、六〇〇	地下階	一、六〇〇				
	第一階	一、六〇〇	三、四〇〇		三、四〇〇	
			一、三三〇	六、三〇〇	八、三七〇	

ホテル	全面積	室	店	レストラン	不收入スペース	收入の%
人口 六〇、三〇〇	第二階 標準階	一六、〇〇〇				
	總計	一〇七、一〇〇	五九、一〇〇	一、〇五〇	一四、一五〇	
			三九、九〇〇		一九、三〇〇	
				四、七三〇	四〇、九五〇	
					五四、六七〇	四八、八%
ホテルD 一〇九室 人口 三三、〇八三	地下階	一一、二五				
	第一階	一〇、九〇〇	一、五〇〇		一、五〇〇	
	第二階	一〇、九〇〇	六三〇	一、八五〇	二、七三〇	
	標準階	二四、八〇〇	五、〇〇〇	二六、一五〇	三一、一五〇	
	總計	五七、七二五	二、一三〇	二八、〇〇〇	五、三二五	四四、三%
ホテルG 二五三室 人口 七九六、八〇〇	第二地下階	一〇、〇〇〇	四、五三〇			
	地下階	一〇、〇〇〇	五四〇	一、〇九〇	一、六三〇	
	第一階	六、三五〇	一、〇六〇	四、二〇〇	五、二六〇	
	中二階	五、四三〇	九三〇	四、五〇〇	五、四三〇	
	標準階	六〇、〇〇〇		三一、五〇〇	三一、五〇〇	
	總計	九二、七八〇	二、五三〇	四五、一三〇	四九、六六〇	五一、〇%
ホテルH 三〇〇室 人口 一五二、五五九	地下階	二一、九〇〇	二、六二〇	五、二七〇	七、八九〇	
	第一階	二五、八五〇	四、二四五	一、九六〇	六、二〇五	
	中二階	一〇〇、五〇〇	一、一五〇	一四、七〇〇	一五、八五〇	
	標準階	一〇〇、五〇〇	六九、五〇〇	三一、〇〇〇	一〇〇、五〇〇	
	總計	一五四、一〇〇	七〇、六五〇	五六、九三五	一二七、五八五	五五、〇%
ホテルI 二〇〇室 人口 一〇七、七八四	地下階	一六、七五〇				
	第一階	一五、〇五〇	二、八〇〇	五、二七〇	八、〇七〇	
	中二階	一五、〇五〇	一、〇五〇	一四、〇一〇	一五、〇六〇	
	第二階	一一、四二五	四、五五〇	一四、〇四〇	一八、五九〇	
	標準階	四九、六七五	三三、八〇〇	六、八五〇	四四、五〇〇	
	總計	一〇七、九五〇	四一、四〇〇	四〇、一一〇	八八、三六〇	四四、五%
ホテルJ 二五〇室 人口 七一、三三七	地下階	一〇、〇〇〇	五、九三〇	一、七〇	七、六三〇	
	第一階	一六、三五〇	五、二五〇	六、八〇〇	一二、七〇〇	
	第二階	一六、三五〇	三、六五〇	一四、四〇〇	二四、六〇〇	
	標準階	七三、五〇〇	四五、八〇〇	六、八七五	二七、七〇〇	
	總計	一二六、二〇〇	四九、四五〇	四四、五%	五七、九七〇	五四、〇%

パブリック・スペース配分表

	最大限度(平方呎と全面積に對する%) 七十五室ホテル	一百五十室ホテル	二百廿五室ホテル
婦人パーラー	一五〇	二七五	三〇〇
ラウンジ(ライチング)ダー	六〇〇	一、五〇〇	二、五〇〇
書き物室	ナシ	六五〇	一、〇〇〇
ロッビー	一、〇〇〇	二、八〇〇	四、〇〇〇
地下ロッビー	二五〇	四〇〇	五〇〇
主要食堂	一、五〇〇	三、〇〇〇	四、二五〇
カフエー	七〇〇	一、一五〇	一、三五〇
小食堂	ナシ	ナシ	二、〇〇〇
舞踏室	ナシ	四、五〇〇	四、五〇〇
舞踏室及食堂、控室	四五〇	七五〇	一、〇〇〇
總計(平方呎)	四、六五〇	一五、〇二五	二一、四〇〇
%	一七%	二八%	三五%

注意 七十五室ホテルには八%、百五十室—二百二十五室ホテルには十二%を調理室及機械設備室用として加へる

第六表

風呂便所設備個數表

十二のホテルより得たる設備個數表である

ホテル	所在	人口	合計 室	風呂	便所	化粧室	%
キング・コットン	グリーンスボロー	五〇、〇〇〇	二三	二三	—	—	一〇〇
リチヤード・マック・アリスター	ハノーバアー	一五、〇〇〇	七二	六〇	三	公四	空三
ボスウエルセダリア		一〇九	五八	六	三五	空三	
オネイダ		一五、〇〇〇	五六	三〇	四	三三	五四
オネイダ		三〇、〇〇〇	一〇四	七六	二六	七三	七三
アレキサンドリア		三〇、〇〇〇	一〇四	七六	二六	七三	七三
ジョージ・メーソン		三〇、〇〇〇	一〇四	七六	二六	七三	七三
ポインセットグリーンスビル		三〇、〇〇〇	一九六	一九六	—	—	一〇〇
ベーカアダラス		一八五、〇〇〇	六七八	六七八	—	—	一〇〇
オリンピックシャートル		三四五、〇〇〇	六一七	六一七	—	—	一〇〇
クリーブランド		九五〇、〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	—	—	一〇〇
フアラグートノックスビル		一〇〇、〇〇〇	二〇〇	二〇〇	—	—	一〇〇
リンカーンスコツツ・ブラツフ		八、〇〇〇	七八	三六	四二	四七	七七
ノーフオーク		一五、〇〇〇	一二五	七五	三	六	六

第八表

客室分類表

七十五室より千室に至る各種ホテルの客室の型分類である

客室の種類	七十五室ホテル	一百五十室ホテル	五百室ホテル	千室ホテル
※一人室・洗槽、便所、化粧室付	四	ナシ	七五	一五〇
一人室・シヤワー、便所、化粧室付	一二	一七	二五	五〇
一人室・便所、化粧室付	八	二〇	ナシ	ナシ
一人室・化粧室付	二三	三五	ナシ	ナシ
二人室・洗槽、便所、化粧室付	二〇	七二	三〇〇	七〇〇
二人室・シヤワー、便所、化粧室付	四	六	一〇〇	一〇〇
二人室・便所、化粧室付	四	ナシ	ナシ	ナシ
二人室・化粧室付	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
二連絡室	四	八	三〇	五〇
見本室	四	六	一五	二五

※注意 疊込寢臺を用ふれば能率を增す

第九表

第十表

見本室の場所經濟の例

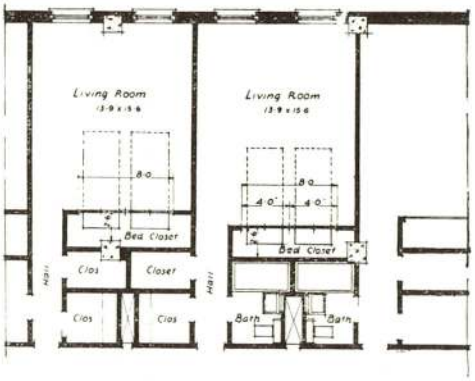
二つの目的を有する部屋には疊込寢臺が特に意義を有する。此處に見本室へ疊込寢臺を用ひた例を示す。夜は點線で示す位置で使用し晝間は押入に仕舞込んで部屋を廣め商品の陳列等に充てる。商用旅客の立場からも非常に便利であり、平面圖作製に當つても室を小さく取り得るので好都合である。

(1)此例は見本室にも亦普通の客室にも使用出來る配置である。

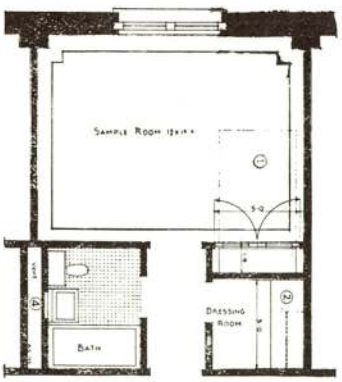
(2)普通のホテルに取入れて大變具合のよいものである。一六呎×二〇呎。衣粧部屋付。

(3)最近建つたデトロイのブック・カーデアツク・ホテルの一例であつて非常に研究されたものである。デトロイ市場に出る商人は大變重要である、且見本を陳列する爲め大きな室を要するのである。

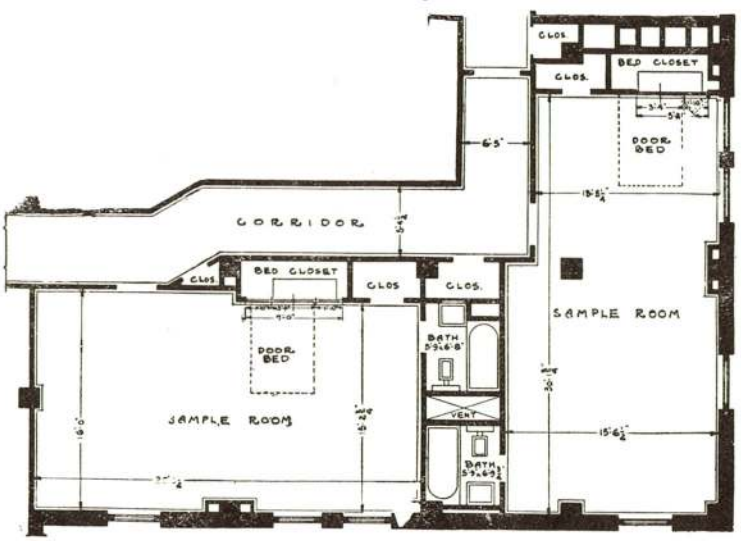
1



2



3



第十一表

商業ホテル建築工費實例

實例より取つた數字である。總ての材料、設備、構造、保險其他全部を含む

	位置・建築年	室數	構造	大きさ	立方呎	一立方呎當り工費	一室當り工費
一	ミシガン・一九二六	六〇（風呂付）	煉瓦及鐵造木床半耐火	七五×一〇〇	三九、二〇〇	五三仙	二、九四〇弗
二	ニュー・ヨーク州一九二六	一〇三（風呂付）	鐵骨煉瓦壁造コンクリート床	五一×一九〇四階建地下階付	六五、三八〇	六七仙	三、五九二弗
三	テキサス一九二六	一二六（風呂付）	鐵筋コンクリート造煉瓦及タイル壁コンクリート床	一階九八×一一〇二一八階五〇×二一〇八階建地下階付	六三〇、〇〇〇	四〇仙	一、九五〇弗
四	ウエスト・バージニア一九二五	一五五（風呂付）	煉瓦及鐵造コンクリート床ホロタイル間仕切	五〇×一八八八階建地下階付	一、〇八一、〇〇〇	五二仙	三、四〇〇弗
五	バージニア一九二六	二〇〇（一四四風呂付）	鐵及コンクリート造煉瓦及タイル壁コンクリート床	九〇×一三五十階建地下階付	一、〇三五、〇〇〇	五八仙	三、〇〇〇弗
六	テキサス一九二六	一七五（風呂付）	鐵筋コンクリート造タイル壁スツコーコンクリート床	五〇×一八〇八階建地下階付	七八一、二〇〇	五六仙	二、五〇〇弗
七	オヒオー一九二五	二八九	鐵筋コンクリート造煉瓦壁コンクリート床	八七×一三六三階建地下階付	一、七一八、〇〇〇	五四仙	三、二〇〇弗
八	オヒオー一九二七	二九七（風呂付）	鐵及コンクリート造コンクリート床（薄スラブ）	一〇〇×一一九十階建地下階付	一、一六四、〇〇〇	六二仙	二、三六〇弗
九	ペンシルバーニア一九二五	一八〇（風呂付）	鐵筋コンクリート造煉瓦壁コンクリート床	九七×一五〇十階建地下階付	一、三八〇、〇〇〇	六五仙	三、八〇〇弗
十	ニュー・ヂアー・シー	二〇〇（風呂付）	鐵骨煉瓦壁造コンクリート床	六〇×二〇〇八階建地下階付	一、三四、〇〇〇	五七仙	三、五二三弗

第十二表

室飾付費及食物サービス設備費

	ホテル所在地	部屋數	飾付費	一室當り費用	食物サービス費	總計
1	イリノイ	二七七	弗 二七、三五五	弗 四九五、九〇	弗 五三、五二四	弗 一九〇、八八九
2	テキサス	二五九	八九、八五七	三四六、九三	一五、七四	一〇五、六二一
3	ワシントン	二四〇	一〇三、五三一	四三一、三四	——	一〇三、五三三
4	テキサス	三三一	一〇九、九四三	四九七、四八	一四、三六三	一三四、三二六
5	ミゾーリ	三三一	一〇〇、一六九	四五三、二五	二七、七六三	一三七、九三二
6	ノース・カロリナ	二二九	一二五、八三七	五二八、八九	三五、八七一	一五一、六九八
7	ウイスコンシン	二〇〇	八三、三二八	四一六、一四	四五、九九三	二九、二三一
8	イリノイ	一九四	一〇一、五六〇	五三、五〇	三三、七三三	一三五、二九三
9	テンネッセイ	一六六	六〇四、五六三	六九、八九	——	一〇四、五六三
10	ウイスコンシン	一三九	六〇、一二六	四四五、三七	一四、〇三四	七四、一六〇
11	ヂョージア	一三七	四五、二一九	三五六、〇五	一三、四三一	五七、六五〇
12	イリノイ	一二五	四五、七三一	三六五、七六	四、七六一	五〇、四八三
13	テキサス	一一〇	四八、六九三	四〇五、七七	三、七三三	五三、四一六
14	ウイスコンシン	一一三	五一、四六〇	四五九、四六	一五、一三四	六六、五九四
15	ミゾーリ	一〇五	三六、二五一	三四五、一五	四、〇一二	四〇、二七三
16	ヂョージア	一〇三	三七、一二〇	三六三、九一	二、六二四	三九、七五四
17	テキサス	九四	三九、二三三	四一七、二四	六、三六六	四五、五九八
18	ニュー・ジアーシー	八六	四〇、七〇〇	四七三、二五	二五、六二一	六五、九三一
19	テキサス	八〇	三三、五九二	四一九、八九	八、九一〇	四三、五〇三
20	テキサス	七八	三二、六二四	四一八、二五	一〇、〇四八	四三、六七二

第十三表

防火構造ホテル建築工費分布表

二百室。全工費七一五、〇〇〇弗。一立方呎當り五十八仙。一室當り三、五七五弗。鐵骨鐵筋架構造。コンクリート・フロー・アーチ。セメント床。鐵枠木戸。電氣昇降器。機械通風。タイル張浴室。客室總風呂付。勞力及交通便なる場所。

	項目	工費	割合	一立方呎當り工費
1	昇降器及其設備工事	二八、〇〇〇弗	〇、〇三九一	〇、〇三六
2	通風及煖房工事	三七、〇〇〇	〇、〇五一八	〇、〇三
3	大工工事	六五、〇〇〇	〇、〇九一	〇、〇五六
4	塀方工事	八、〇〇〇	〇、〇一一三	〇、〇〇六四
5	架構工事	一四三、〇〇〇	〇、一九八	〇、一二五
6	石材工事	九三、〇〇〇	〇、一三八	〇、〇七五
7	裝飾工事（裝飾用分ハ不含）	一六、〇〇〇	〇、〇三四	〇、〇二八
8	ペンキ工事	六、〇〇〇	〇、〇〇八五	〇、〇〇五
9	石膏工事	四五、〇〇〇	〇、〇六三	〇、〇三六五
10	衞生工事	七五、〇〇〇	〇、一〇五	〇、〇六〇九
11	屋根工事	五、〇〇〇	〇、〇〇七	〇、〇〇四
12	針金工事	三一、〇〇〇	〇、〇四三三	〇、〇三五一
13	鐵枠工事	一四、五〇〇	〇、〇二〇三	〇、〇一一七
14	硝子工事	四、五〇〇	〇、〇〇六三	〇、〇〇三五
15	大理石、タイル、テラコツタ工事	二一、〇〇〇	〇、〇二九三	〇、〇一七
16	豫備費	四〇、〇〇〇	〇、〇五六	〇、〇三四
17	利得	四五、〇〇〇	〇、〇六三	〇、〇三六五
18	保險	二八、〇〇〇	〇、〇三九一	〇、〇二六
19	保證金	二三、〇〇〇	〇、〇二六七	〇、〇〇九六
20	總計	七一五、〇〇〇弗	一〇〇%	五八仙



ホテルの附帶設備基本事項

建築衞生技師 櫻井省吾

ホテル建築の附帶設備の良否は直接顧客に影響し又調理上にも重大の關係を有しホテル設計上大なるファクターとなつてゐる。最近に於いては單にホテルと稱しても從來のもの以外アパートメント・ホテル或はボーデヰング・ハウス等その性質に於いて特殊のものが出現し從つてその設備にも多少の變化がある。從來のホテルに於いては調理所及寢室に接した浴室（洗面器、便所及浴槽等を設けた）が設備上主なる個所とせられてゐたがアパートメント・ホテル等に於いては更に小なる臺所を設けこれにも相當の設備をせねばならぬ如きである。故にその設備に於いても漸次複雜となり、廣範のものとなる傾向である。殊にホテルとして最も重要な役目をなす調理所の如きは多數の新しい器具の裝置があり給水、給湯、排水、電氣、瓦斯、乃至は蒸氣の供給等に異常な注意が拂はれ著しい變化を見せつゝある。本文に於いては附帶設備の設計に當り第一に考慮せねばならぬ基本的事項に就いてその大體を述べたいと思ふのである。

勿論基本的數量は豫想數でありその設備の大小、又經營上の方針等に依つて非常な相異があるから一概には論じ得られぬがその大畧を述べて御參考に供し度いと思ふ次第である。

給水設備

ホテル建築に於る水の使用量は莫大なものである。客直接の使用は浴用、便所用等であり、經營者側では調理所用がその主なものである。給水の設計に當つては第一に水量を豫想せねばならない。

諸外國の例或は筆者の知り得る所に依れば顧客一人に對し一〇乃至一五立方呎を豫想すれば足り得るやうである。最大給水量はベツド數に依つて決定せられるが一日の消費量は約その半數を採るを普通としてゐる。右の水量は雜用（洗面所用或は調理所の流し用）及飲料（調理專用）の二種を含むもので前者はその八割乃至七割を占めてゐる。

通常ホテル建築の給水は水道を使用してゐるが前述の如くその使用量莫大なる爲水道料金としても非常な額に達する。されば最近に於いては雜用水として井戸水を用ひ飲料水としてのみ水道を用ふることが試みられてゐる。これは井戸水が特に不良でない限り非常に經濟的で、最も當を得た方法と思はれる。而して兩者の金額の差は水の使用量が增加するに從つて大となるのである。少しく餘事に亘るが數字的に述べて本項を結び度いと思ふ。

本例のホテルは東京市内にあつて五階建のものと假定する。東京市の水道は低壓で五階まで給水出來ないため喞筒を用ひ屋上の水槽に一度揚水し更にタンクから給水する裝置とする。井戸水の場合も屋上に水槽を設け同樣の方法で給水するものとする。故に兩者を比較するには配管等に對する工費は同一のものとして、揚水喞筒の設備費、その經常費及鑿井泉等に就いて考へることゝしやう。

顧客は五〇〇人の收容力あるものとし一人一二立方呎とすれば最大給水量は六〇〇〇立方呎であるが實際の使用量を三〇〇〇立方呎とする。この内雜用水として二四〇〇立方呎、飲料水として六〇〇立方呎と假定すれば二四〇〇立方呎に就いて計算を行へばよい事となる。

水道引込み管を三吋とし揚水喞筒を二吋半三馬力電動機直結とし鑿井は深百五十呎ケーシング八吋一晝夜の湧水量三〇〇〇石としてこの揚水にはボアホール・ポンプ七馬力半電動機を用ふることゝする。

(1) 水道使用の費用

(a) 揚水設備費

揚水タービン喞筒 (2½″×3HP)……70圓

引込料及豫納金 ……600圓

計 1300圓

1年の利子 年1割として 130圓

(b) 使用量

2400立方呎(67.2立方米)/1日 即ち2016立方米/1ヶ月

基本料金(3″) 10立方米に對し……3.25圓/1ヶ月

使用料金……2006×0.09=180.54圓

計 183.79圓/1ヶ月

即ち……2166.48圓/1ヶ年

(c) 電動機經常費

自家用電力を使用したるものとしての電力料金。喞筒は1日延3.5時間(喞筒は毎分12立方呎揚水するものとする)働きて所要水量を揚水するものとす。

3HP×0.746×3.5=7.83K.W.H.

7.83×5.7錢=45.63錢/1日

即ち……164.16圓/1ヶ年

合計 2460.64圓/1ヶ年

(2) 井戸水使用の費用

(a) 井戸堀及ボアホール●ポンプ(7.5馬力)

設置の工費

井戸堀……1100圓

ボアホール●ポンプ……2600圓

計 3700圓

1年の利子 年1割として 370圓

(b) 電動機經常費(電力は自家用)

1日延3時間(喞筒は毎分14立方呎揚水するものとする)働きて所要の水量を揚水するものとす。

7.5×0.746×3=16.8K.W.H.

16.8×5.7錢=95.76錢/1日

即ち 344.73圓/1ヶ年

合計 714.73圓

即ち工費利子及經常費にて兩者の差額一七四五●九一圓となり、雜用水を井戸水として飲料水のみを水道とするのが遙に利益となる。

鑿井を行ふには勿論ある固定資本を要するが年々約一七五〇圓の差額を生ずることを考へれば左程の問題でないのである。

給湯設備 給水に續いて必要なことは給湯である。ホテルの給湯設備は晝夜連續的に行ふが理想である。云ふ迄もなく顧客が何時洗面をなし或は入浴をしないとも限らないからである。時間に依つて給湯がないのは非常に不便であり又不快を與くる樣に思はれる。

一般に給湯裝置としては大なるストレーヂ●タンクを設け、蒸氣をスチーム●コイルに導き湯を沸しフロー●パイプ及レターン●パイプを設けて各所に常に熱水を出やうにしてゐる。給湯個所は調理所の各種流し、各洗面器、手洗器及浴槽等で使用量としては相當の量を必要とする。殊に食器類の洗滌用として大量を要する。一般に一日一人當り三乃至五立方呎とすれば充分と思はれる。然し乍らストレーヂ●タンクとしては一時間に大量を沸し得るものが必要とされてゐるのである。

熱水の溫度はストレーヂ●タンク內に於て華氏百八十度を最高としそれ以上の高溫は危險が伴はれる。一般に洗面所、浴槽には華氏百五、六十度の熱水として出で百十五度內外に降溫して用ひられる。

米國のホテルに於いては五〇〇の室を有する程度で一時間一五〇立方呎を沸し得るものを最少限度としてゐる。

揷畫した平面圖は一一〇〇乃至三〇〇人前を一時間に調理し得る調理所の案であるが、この程度のものでは臺所用として一時間七五立方呎を沸し得るものを設備すれば足り得るであらう。

蒸氣供給設備 ホテル建築に

於いては煖房以外に調理所に相當多量の蒸氣を必要とする。即ちヂヤケツト●ケツテル、コーヒー沸しスチーム●テーブル、プレート●ワーマー、スチーム●コイル等に供給するに用ひられる。これ等の諸器具に供給する蒸氣はその設備の大小に依つて非常の差があり一概に數字的に示すことは困難であるが壓力としては毎平方吋二十五封度乃至三十五封度である。

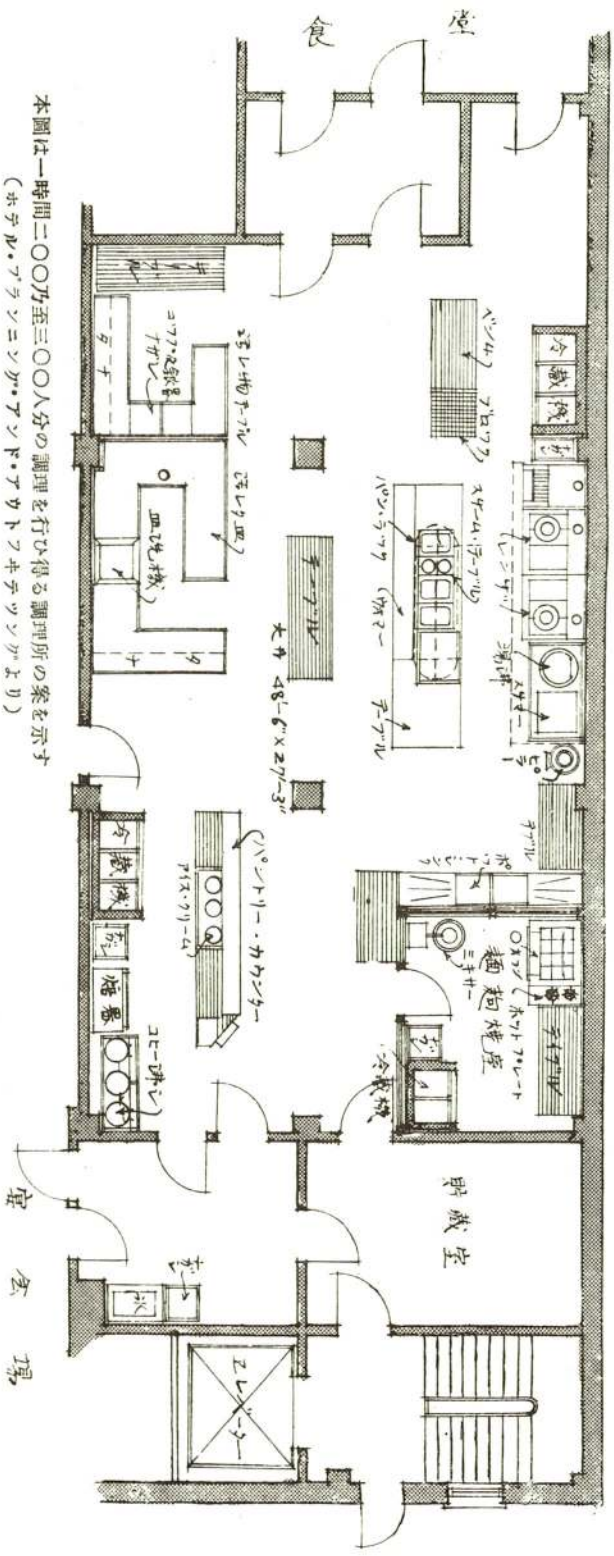
ボイラーの大きさは圖示した程度のものにあつては調理所全體に對して七汽罐馬力もあれば充分であるが諸器具を同時に使用する事は少いから二乃至三割を減じた五馬力前後のもので足りると思はれる。

三〇〇乃至五〇〇人分の調理所で最大容量一二馬力内外實際には八乃至一〇馬力のものでよく、一二〇〇乃至一五〇〇人分の調理所に於いては最大容量二五馬力内外實際には一五乃至二〇馬力のボイラーで充分であらう。

以上の容量はその大體であるが實際的には調理に携はる人と充分打ち合せて設備品の決定した上でなければ判然しない譯である。

排水設備 洗面所、浴室等の排水は單獨に排水管に依つて直接下水に流し、大小便所からの汚水は汚水管に依つて汚水淨化裝置に導かねばならない。即ちセパレート●システムに依つて行はれるのが普通になつてゐる。公共下水の完備してゐる場所では以上の諸排水を別個になす必要なく同一管に依つて下水に排除すれば良い。

排水中最も注意を要するのは調理所からのもので各流しの排水は必ず遮脂用トラップを さねばならない。而してこの遮脂用流しは二重の構造で外部に冷水を充滿し常に内部の排水を冷却するやうにしたものが有効である。これは勿論排水中に多量に含有せられる脂



本圖は一時間二〇〇乃至三〇〇人分の調理を行ひ得る調理所の案を示す
（ホテル・プランニング・アンド・アウトフキテツツァより）

肪類を凝固し分離せしめた上除去するのが目的でこれを忽にすれば排水管は漸次に詰る恐れがある。又野菜川流し等から流れる排水中には調理材料の切端が混じてゐる事が多いからこれも除去してから排水する必要がある。この意味に於いても大なる遮脂用トラップの設備は必要なことゝ思はれる。

上述の方法で排水中の脂肪分は大體除去出來るのであるが、長時日には排管の內壁に脂肪分が附着する恐れはあるのである。故に排管は幾分太くし且要所にはクリンアウトを設けなければならない。直管が長距離橫走する場合には一〇乃至一五呎に一個附するを良いとせられてゐる。而して配管の勾配は出來る丈大きくとることに留意して欲しいのである。

電氣及瓦斯 電氣及瓦斯の供給量は全くその設備の大小に依つて左右せられるから豫想的に數字を擧げることは困難である。設計に當つてその裝置する諸器具から計算する外ないと思ふ。電氣は相當大量を使用するのが一般であるから建築の大さに依つては自家用として三三〇〇ボルトの電壓で購入し變壓室を設けて動力及電燈に適する電壓に落して用ふるのが最も經濟である。

エレベーター、消火用、給排水用及其他の動力及電燈等に要する電力は設備が決定したとき自ら定る。

調理所用の電力も同樣であるが臺所の大さから二三の例を示して見やう。概して調理所用の電力は使用器具の有する容量の約半分乃至四分の三を實際使用するものと考へればよいと云はれてゐる。

圖示した程度の調理所に於いては器具の有する容量の約半分を使用するものとして四〇乃至四五キロワツトと見れば良く、更にスチーム・テーブル、湯沸、保溫器等を全部電化すれば一二キロワツト內外を餘分に要する。

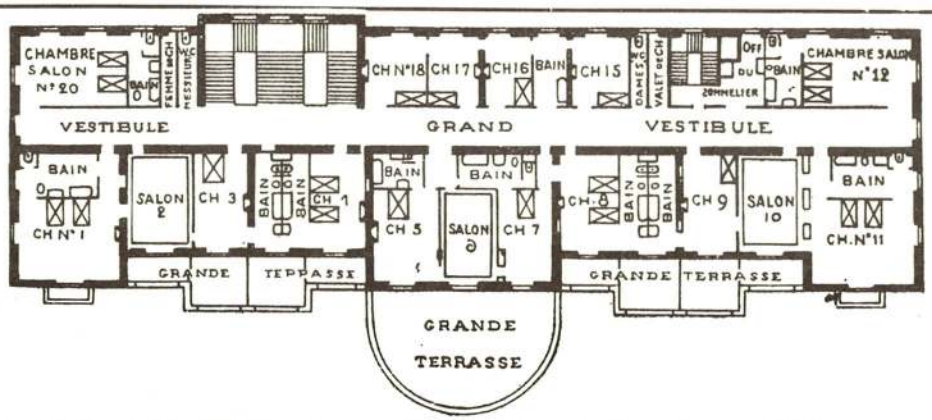
四〇〇乃至五〇〇人分の調理所に於いては使用器具の容量一〇〇キロワツトと見てその約半分の五五乃至六〇キロワツトを豫想すれば良いと思ふ。

一二〇〇乃至一五〇〇人分の調理所では器具用電氣容量を二〇〇キロワツトとみて實際には一〇〇乃至一二五キロワツトを豫想されたい。

次に瓦斯であるが主として調理用として用ひられる。即ちレンヂ・ボイラー或は麵麭燒ストーブ等に用ひられ電力と同樣器具の有する瓦斯消費量の約半分を豫想すれば足りるとされてゐる。次に二三の例を擧げ見てやう。

一時間の調理能力(人)	全器具の實施瓦斯消費量(二時間の立方呎)	豫想量
三〇〇—三〇〇	一〇〇〇	四五〇—五〇〇
四〇〇—五〇〇	一四〇〇	七〇〇—七五〇
一三〇〇—一五〇〇	二〇〇〇	一五〇〇—一七五〇

以上は給水、給湯、排水蒸氣供給及電氣瓦斯等の計畫を樹てるのに第一に考へらるべき根本的のものである。然し乍らその數量は大體であつて、再三述べたやうに適確の數量が定るのは設備さるべき諸部分が決定された時である。



1. ゴルフ・ホテル（佛國ボーバロン）第二階平面圖　フルガンヘイメール氏設計

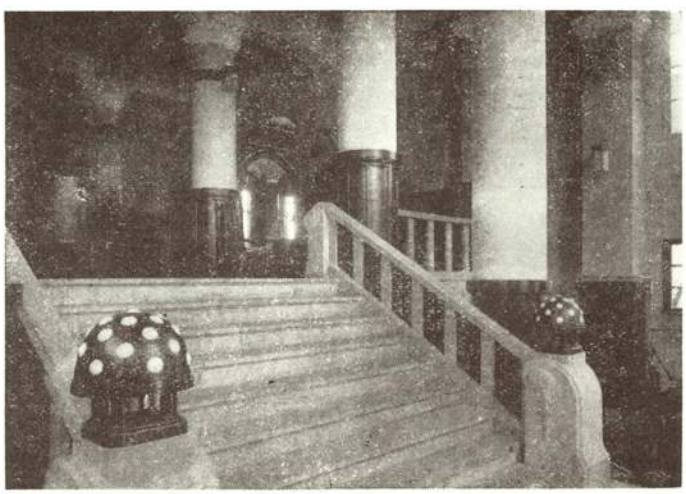


業者から建築家に望む

寶塚ホテル常務取締役
南 喜三郎

◇宗匠さんの商賣人

建築の事は勿論ホテル業者としても一番素人の私が無鐵砲に勝手な熱を吹くものと御承知を願ひます、建築家は技術家であるから飽く迄も藝術的であらねばならぬが業者の方は商賣人だから算盤の合ふやう出來る丈け實用に重きを置かねばならぬ。茲に双方のスタートに違つた方向を持つて居る。今假に百室を標準にしたシーゾンホテルを作る場合に技術家が然るべくデザインする、百室に附屬するホール、ロビー、ダイニングルーム、デシヤツプ、キチン等を適宜に案配して全體のプランを樹てゝ四圍の情景に適合するやうに外容を整へて平面圖や斷面圖を畫いて見せて貰ふ。このホテルのトータルインベストが百萬圓と假定すると先づ日本では上等の部に屬するものである客室一つ常り壹萬圓が現在のホテル業界のリミットである。商賣人の方は出來る丈けこの標準點を引き下げて採算を安全にしたいと考へる。建築家の方は自分の名聲を博することを考慮に置いて藝術的に凝る癖がある。建築家の云ひなりに任せて置くと丸で宗匠さん氣分になつて思切り藝術道樂をやらかすので追々實用から遠ざかつて驕て藝術記念館じやうなものが出來上る、遂には採算のマージナル、ポイントを遙に超過してしまひ恰も宗匠さんが茶屋を造營した如く、出來上りは洵に結構だが商用には算盤の基礎を危くしてしまつてとり返しがつかない、斯様な實例は澤山ある事ですが商賣道具が骨董品にならぬ様に努めるには、建築家が業者の意志を充分に會得して腹にキチントした基調を作つて藝術と實用の調和をうまくやつて貰ふ事が一番肝腎だと思ひます。



寶塚ホテル玄關正面及階段

◇技術家の片意地

建築家には俗にいふ技術家氣質といふ片意地がある、業者が偶々妙案を提出しても夫れは素人には判りませんと一蹴して自分が研究した新しいものを試驗的にやりたがる一種の手習草紙にするのだからタマラない、新しい試みといふテンデンシーは近來の建築界には特に流行して居る。その新しい試みは結果が好いか悪いか見極めずにやつてのける、大抵の場合厄介物を永久に殘される事が多いのである。例へば龍山石が非常に流行した時に何處も彼處も龍山石を使ふ階段も云ず手摺と云ずこの石でやる、後日になつてどうも足當りが悪いから階段にカーペットを敷く事になつたさあ金物がうまく止らぬ、角の處が一層困難だやつと骨を折つてクツ付けたが、鋲釘が浮たりして反つて足元が危險で仕樣がない最後にはハツリ取つて木材を嵌めて大修理を行はねばならぬと云ふ騒

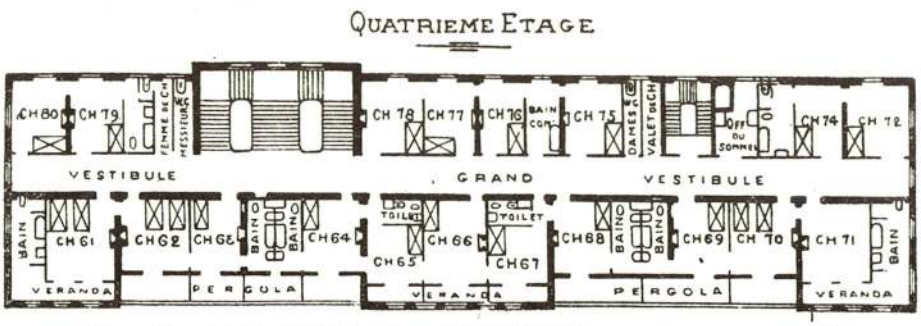
ぎだ、又鐵管や電線をコンクリートの中に打込んで仕上りのスツキリした處を見せるべく何も彼も隱蔽工事にして治めてしまつた、半歲も經たぬ內に給水や給湯に故障が出來て此處彼處のコンクリート柱や壁から汚水が滲透して來る修繕をするにも中々簡單に行かない之が年を經る程、故障頻出で業者が精々儲けた金をコンナ修繕費に喰はれてしまふ事は如何にも情けない事だと思ひます。

◇脚元の暗

眼から上の方は誰れも注意しますが脚元は外無頓着です、階段とか廊下とか廊下から室へ移る處などは商賣道具のホテル建築では最も用心せねばならぬと思ます。階段に高いのや低いのがあつたり入口の處で急に高かつたりする事は禁物です。私は米國で最近オープンしたホテルに自働扉のあるのを見たが、廊下も室も一體なレベルでドアーの三尺程手前の床に乘るとドアーが自動的に開きます(左右に引き開かる)ソコには何んの凹凸もなしに極めてスムースに歩むを進める事が出來ますドアーを通つて三尺許り過ぎると又自働的に閉ります。之は食堂とデシヤツプとの間に利用せられてボーイが物を持ち運びする際にドアーの開け閉めに手數がかゝらぬから能率の上に非常な効果を齎して居ます、日本でも鐵道の驛にある跨線橋の階段は大勢の人が無意識に渡るのだから極めて嚴密な寸法で出來て居ると云ふ事です、建築家が斯んな處に充分意を配つて貰ひたいと思ます。實例で話しますと「此處に寫眞を挿入して置きます一寸御覽になつても判りますまい」實塚ホテルの大玄關正面の階段は無雜作に昇る人は大抵中途で一寸躓きます何の加減か判らぬ色々と調べて見るのですが原因が中々發見されません、其處で尺を當てゝ檢分して見ると下が三番と四番の階段の幅が一寸弱狹いと云ふ事を見出した、之れは肉眼ではどうしても見分けがつかなかつたのです。ソコで建築家に抗議を申込みました處石屋が階段の修まりを適宜にしたからコンナ事になつたのですと云ふ事です、之さへ直せば段梯で躓く事が絕對にない譯ですコンナ檢分を見落して居る事は建築家として聊かシエームですが眼から上の方計りに氣を入れて足元を疎かにする證據だと思ひます。

◇現場の教育

大抵の建築は先請負工事ですがこの場合業者は競爭入札等で出來る丈安價に建築する事を考へる其の結果落札した工事請負人は可なり切り詰めた計算で工事を請負ふ事が通例です、斯うなると今度の工事はエライ競爭で安く落札したので單價がトテモ持ちきれないと云ふ嘆聲を下請けの端葉人夫に迄口外するやうになる、斯樣な嘆聲で充滿した現場の仕事には精神が籠つて居ないから何も彼も機械的の動作になつて、手の抜ける丈抜いて粗製濫造の建物を仕上げるに決つて居る、コンクリートの打ち込みの如きは力の關係に於て多大の影響を及ぼすものだと思ひます之の仕事に當り精神の抜けた人夫が形式丈のセメントと砂バラスを混ぜて型につぎ込んだのは恰も風を引いたセメントを使つたやうなコンクリートが出來上ると思ひます、玆に於て指揮者は現場教育を上手にやつて單價の安い處は使用人全體の精神を緊張せしめて能率の增進を計り、一本の杭打ち一塊のコンクリートに到る迄精神を籠めて誠實に仕上る事に勉めて貰ひたいと希望する次第であります



2. ゴルフ・ホテル(佛國ボーバロン)第五階平面圖　フルガンヘイメール氏設計



業者から建築家に望む

都ホテル專務取締役
岸田勉

吾々の商賣が、業所こし他面販賣品こする其建物に、全生命を打ち込んで居るこいふ事實は、何人も認むるところでありませう。從つて其建物の良否は、其命數の續く限り、吾々の商賣を良くも惡くもするといふ事象も亦容易に呑み込み得るだらうと思はれます。這般本協會が時流に鑑み本誌の編纂に志すや、吾々業者の卑見迄も包含せんと試みられたる眞意も亦茲に胚胎するものとして、深く其見識に敬服するものであります。

由來吾々業者の大部分は、其建築の殆ど全部を建築家委せこし、敢て意に留めなかつたものゝ如く然も經營に當るや、建築家の考案其儘を受け繼ぎて敢て不思議とせなかつたのであります。然れば事實に於て、今日迄のホテルの經營方針は業者によりて樹立せられたといふよりも建築家によりて附與せられたもので、今にして見れば能くも已が生命ともいふ可きものを他人に托して平然たるものが有つたと其放膽さに、驚かざるを得ぬのであります。今日客人から連發せらるゝ幾多の不平を負ふて經營に專念する當業者の慘さは然ることながら、蕩こしてホテル商賣不振の聲を耳するは決して偶然ではありませぬ。

然れども建築家は飽くまで建築家で、業者にあらざる以上、是等の責の凡ては當然業者に於て負ふべきものでありますが、建築家に於ても將來此點に考慮を致して欲しいのであります。勿論斯ふした現象は今後も繰り返さるゝに相違ないでせうし、又例令繰返されぬ迄も建築家が其建築に當りて常に業者の唯一の助言者である限り、建築家がもつともつと突き入つてホテル本業其物を研究すると共に其建築の根本要件はついては飽くまで業者を追究し、然る後設計監督に當ることを望みたいのであります。

こは驚て、ホテル建築は全然建築家によりてなさる可きものであるといふ業者の妄想を芟除し且つ業者にホテル本業の基礎ともいふ可き建築設備といふ課目に對し一層懸念せしむることゝなり、過去に於ける是等に關するホテルの不評を一掃することゝなるでありませう。

斯んな事を臆面もなく建築家に希望するは、吾々業者の是等に對する無知識を棚に上げて、建築家のみに靠れるやうで、甚だ蟲のよい話でありますが、遺憾ながら現狀は今にして尙ほ業者殊に資本家に於て、實態を脫せず、建築は建築家と呼ばるゝ人でさへあれば其凡てを委すに足るといふ、即ち其れは恰も世人が醫學博士であれば其專攻の何たるを問はず、難病を治し得るといふが如き謬想に捉はれて居るからであります。勿論建築其物は建築家によりて指導せられ、完成せらるゝでありませうけれども、住宅其物が既に居住者の嗜好や理想が眼目となるやうに、矢張ホテル其物も其經營者の方針と抱負とが土臺とならねばなりませぬ。

吾々業者から見れば、ホテル建築程、他の何れにも增して、能率的でなければならぬものはないと思ふのであります。いふ迄もない事かもしれませぬが、然も又世界的に『ホテルが其國の文化を表徵するものである』とさへ唱へらるゝも强ち無禮の言葉ではないと信ずるのであります。

斯ふした建物も商賣上吾々業者は、一般に共命數を、或時代の產物として骨董視するものは別こし十五ケ年より廿ケ年に限り、止むを得ざる時に於てのみ骨骼(スケルトン)を其儘とし內部の區劃(パーテション)全部を改造するやうにしてありますので、其間に於て經營者は其建物を全部償却する如く努力せねばなりませぬ。如何となればホテル建築は其建築史を繙く迄もなく、生活樣式の尖端を

歩むものとして科學の進歩に連れ實に變革の甚しきものであるからであります。然ればホテルは許されたる範圍の工費を以て、最も體裁のよい、堅實な、抱容力並に利用性に富んだ、尚且つ維持に經費のかゝらない、然も全體の感じが如何にも高雅其物である様なものを、近代の言葉でいふならば飽くまで合理化、經濟化尚ほ理想化せられたものでなければならんのであります。建築家に力を貸して頂きたいのは此所で、又此仕事が取も直さず、ホテル經營の第一回の成績であるばかりでなく、然も其損益は將來永く計算し切れぬ價値を以て影響するものであることは前にも述べた通りであります。然れば建築の設計に當り高面に於ける一尺の高さにも、平面に於ける半坪の廣さにも頭を痛めるのは之が爲であります。此點に於ては吾々業者と共性質を同ふする船舶業者や軌道業者の、船舶や車輛建造に於ける苦心と稍々類似せるものといひ得ませう。然れども我々業者にありては更に其建築の高さが法令によりて限定せられ、都市に於けるものは原則として其中心に即ち最も地價の高い所に、其位置を選ばねばならん不利を負はさるゝ一方、收容する旅客の心理は前二者によりて感ぜる窮屈さを慰やし、寛いたる起居を要求するものあるが爲、其心勞は層一層なるを知るのであります。

是等の諸點が近時如何に建築上に織り込まれ、如何に表現せられて居るかといふ、建築樣式と共傾向については、此際建築諸大家によりて開明せらるゝことでありませうから、之に觸れやうとは思ひませんが、吾々が本誌の題目である『ホテルとクラブ建築』なる語呂によりて、直ちに連想せらるものは、アメリカの、所謂此種目的の爲めに特に型を爲したる、ソリツド・ビルデングであります。而して其れは苟も彼の地に於て、近き過去に此方面の學生となつた人は誰しも一度必ず聞かせられ、且つ其中に働き、或は働かせらるゝものであります。平面的に論じ、其外觀の美術的ならざる點に於てこそ幾分の批難はあれど、其種業の本質を遺憾なく具體化し盡して其構造に、其區劃に、能く資本化することを忘れず、其採光に、其通風に、能く科學化したものは最負目ばかりでなく、またとなからうと思はるゝ程であります。是れ等に關する說明も專門家に讓り、只希望として、其等が如何なる程度迄、直譯的に流れず採用せられ得可きかの攻究を殘して置きます。

併し斯ふしたアメリカに於てさへ最近ホテル營業不振の由因として第一に其濫設を揭げ、第二には錯誤せる設計にあるとなし、次いで不當なる位置、粗笨なる經理、貧弱なる經營を擧げて居ります。是に由て觀るも、ホテル建築の結構なるものが、斯業に對し、如何に重大性を帶ぶるかは想像し得らるゝだらうと思はれます。茲に於て吾國に於る斯業の實態を顧る時、轉た將來の建築家に負ふ所甚だ多きを思はざるを得ませぬ。仍て以て以下吾々の見聞する範圍に於て向後考慮を煩はし度い點を述べて希望に代へたいと思ひます。

一、既成ホテルの與ふる感じの一として、建築、裝飾、設備（ノンニカールエクイプメント）といふた順に重きを致されて居ることであります。『裝飾には可なりに費用を掛けられて居る樣であるが設備が足りない』とは吾々の感じ丈ではなく又能く客人より聞かされる所であります。最も甚しいのになると『日本のホテルは冬は寒く、夏は暑くしてある』などとの打ち解けた適評を受けます。是等を綜合すると『ホテルらしく見ゆるがホテルぢやない』といふ意味になりて誠に擧たい。無限の資力を以て企業する場合は、一律平等にも出來ますが、然らざる時にはどうしても何れかに偏重するのは免れますまい。其重點をホテル本業の特質に鑑みて考慮せられたいので、其れは一面ホテルとしての主要條件を充す譯となるのみならず、他面現在のやうなホテルの有樣に於ては其ホテルの一種の特色ともなり又呼び物ともなりませう。言ふ迄もなく、ホテルが居心地の善いといふ點に於ては、有らゆる他のものより優つて居らねば、商賣が成り立たゝず、而も其程度は家庭を凌ぐものでなければなりませぬ。其れには少くとも其重點を建築、設備、裝飾といふた順

に改めたいのであります。其れが爲め近代的設備といふ設備は全部備附くる必要あり、暖房（ヒーティング）、冷風裝置（クーリング）は勿論、淨水（ヴォーターサプライング）、換氣（ヴェンチレーション）裝置はては飲用水輸送管、掃除用並に送達用空壓管（ヴァキューム）等々が數へられ、然も其等が能率的に作用するやう規整せられ又統制に用ふる樣に仕組まれて居らねばなりませぬ。暖房の規整子が單に開き中閉ぢ位の程度に止まり、而も朝夕鐵槌叩（ハンマリング）きする樣な現狀では、客人に滿足を與ふるなどは愚か、早速逃げ出さすことになるでありませう。ホテルが客人より喜ばれ、利益を得さして戴くことになれば裝飾などは直に更新し得るのであります。

二、吾々は單に此種問題に限らず其性情の致す故か、何となく物事の輕重によりて、資力なり勞力なりを能率的に用ふるといふ念が乏しいやうに思はるので、是等の建築實行に當りては殊に然るを感ずるのであります。有ゆる點に於て、ホテル建築程、半面は頗る贅澤に仕組まれますが、他の半面に於ては出來る丈節約するこいふたものは他に見られない故もありませうが、兎角其非能率の點が目につき易いのであります。然ればホテル建築は、其れが有する相反する是等の特性を巧みに調和することが第一歩をなすものであると信じてやみませぬ。即ち客人の用ふる又目に觸る部分に於ては、如何にも便利で、奇麗で、凡てに大樣な所を見せる、其反面に於ては、凡てが實用向きで、少しの無駄もない樣にする細心さで、建築が施行せられてこそ能率のあるホテルといはれるのであります。併しこれは丈夫そうに見えて丈夫でないものを建てる意味にまで推論せられては困ります。又例令客人の目に觸るゝ所でも、馬鹿叮嚀に、餘計な工費のかゝるやうな事をすれば却て『こんな無駄がある爲に料金が高いのである』などゝ客人の經濟眼から批評さるゝこともありますから、此點は能く注意しなければなりませぬ。實に建坪に比し營業能率の擧らないホテル程悲慘なものはありませぬ。其れは建築に其地所の特有する長所を組み入れなかつたこいふ缺點もありませうが、主こして此の建築能率の如何に關はるものであります。之を要するに工費に比較し、完全に近い而も將來のある建築をすることが肝要で、業者からいへば立派なホテルであつて、然も其オキュペーション・コストの勘きものを熱望するのであります。

三、近代ホテルに共例をとる迄もなく、玄關廣間（ロビー）のエレヴェーション（ノヴェーション）を高くし、其餘地を中二階に利用せるここなどは、前條の現れに過ぎないのであります。此意味に於て、吾が既成のホテルが、外國の其れに比べ、最も考慮を拂はれて居ないやうに思はるゝのは、壁厚こ其隔壁の利用とであります。吾々の知る範圍に於て、煉瓦作りならいざ然らず、然も鐵骨或は鐵筋コンクリート作りで、總面積の二割近くを壁厚に天引されて居りますが、何んといふても痛手であります。其が又他の何物かに利用せられて居るこいふなら諦めようもありますが、音響遮斷（サウンド・インスレーション）さへも完全（インスレーション）でないといふに至りては誠に情ない。側壓に對する抗力の關係あるものは別こして其れが凡てに亘られては、先づ初めから資本的に泣かざるを得ないのであります。最近アメリカに於て、コンクリート建築は込み入つた設計を有するものには不適當且高價なりとし、金屬建築が擡頭しつゝあること、特にエクゼツゾルを塗實せる其パーチツションが好評を博しつゝあるを聞き故ある哉と肯かざるを得ませぬ。然れば抗力計算の許す範圍に於て、出來得る丈け壁厚を減じ、さもなくば其間隔をプランミングやワーヤリングに利用し且つ音響遮斷（サウンド・インスレーション）を完全にして貰ひたいのであります。申す迄もなく、客室の具備す可き主要件である個室の確保所謂プライヴアシーの保持からいふても、此サウンド・プルーフは物理的第一要素で、客室には何を措いても此部分丈は完全にせられねばならぬものであります。客室の利用性を增す爲に連絡戸扉を設けたる場合に、緊迫し得る二重戸扉を配するも、其が爲

めで、窓牖がエーア・タイトにしてあるのも、一部は其目的であるのであります。又客室の具備す可き他の條件である外觀の壯麗、掃除の容易、保持の簡易なる點からいへば、客室内にチウブ類や放熱器を露はに曝されては、折角の客室も滅茶苦茶になる譯であります。天井を二重として其れ等を包含する方法も、外國には見られぬではありませんが、其れは改造の爲め、工事の簡單なる部分に施行せられたる結果か、或は高さに制限なき關係によるものにして、直ちに取つて以て吾國の其に對し、範とするとは考へ物であります。

四、外國のホテル建築を範とするといふことに就きて考へらるゝのでありますが、近來出來上つたホテルには、如何にも外形丈の模倣が、多量にあるやうに思はれ、中には苦笑を禁じ得ないものさへ、見出さるゝのであります。吾々のホテルが、吾が建築家によりて爲さるゝに到りしは極めて最近の事實で、此際直譯的の模倣も、蓋し止むを得ざることでありませう。然し例令模倣するにつけても、外國には古い型其儘のもの、古い骨骼に新裝を凝らせるもの、全く新しき樣式のもの等が、其各々有するホテルの特性と、相錯綜して種々なる形態を表はして居る事を注意せねばなりませぬ。然らざれば徒らに其顰に倣ふの結果に陷りませう。是等が細部は兎に角、其經營の死活を制する根本に災せば其れは、一種の癌として、其ホテルに永く殘さるゝ譯となります。此點に於て既成のホテルを見るに、特種のものを除きホテル建築の中心となる可き、主食堂と調理場の相對關係が、重視せられて居ない。從つて他の食品供給所は調理場と隔絶し、僅かにダンベル・ウエーターに其生命を托し居る哀れな有樣であります。これでは到底心地よき、迅速なるサーヴイスは勿論、普通の奉仕さへ客人に提供する譯には行きませぬ。此間の相對關係は又、實にホテル經營に重大性を帶ぶるものにして、寸尺を爭ふものなることは其間に於ける給仕人の一擧手一投足を律する事實を擧げる迄もないことであります。次ぎには主階に於ける客人の部分と從業者の部分とが、明瞭に區分されてゐないこと、其が爲め事務所や帳場が全く孤立し他の事務所と連絡を缺くことでありまず。これでは寸時を爭ふホテルの業務が圓滑に行く譯には行きませぬ。主階は又ホテル中に於て最も經濟化せられねばならぬ所で、ホテルの受くる恒定の利益は、大部分此所に存在する貸店舖、陳列場、見本棚によりて擧げらるゝまで云はるゝものでありながら其れがない、經營者の指示する所でないといへば其迄でありますが、併し建築家としては此着意があつて欲しいのであります。

五、一般にホテル建築は、ホテルが家庭の延長として一軒の家と見做したる過去から、道路の延長にあるディヴアン即ち路室の集團と見做せる現在に至る、時代思想の推移に着目しつゝ構成せらるれば大體に於て問題がなからうと思はるのであります。然すれば其建設地の情況によりては過去其儘の考案が基礎ともなし得ませうし、或は現在を超越せる先覺をも根基となし得ませう。又此着意は現今客室の個性尊重が嚴格となり、浴室を附屬せしむることを普通とし、階床婦を置き、其れとなく私設警士を配するに至りし傾向も、帳場が昔時の如く、玄關正面に見張りする樣に仕組まれず、門衛玄關番などの現存するは單に過去の遺物にしてホテルの裝飾に過ぎぬ理由も、理解し得らるゝだらうと思はれます。是等は單に其一例に過ぎませぬが、斯くして現代ホテルの各客室には少くとも浴室を附屬せしめ且つ衣裳鞄を容るゝに足る納戸が設けられ、其各室の戸扉には特殊のホテル・ロツクが定著せらるゝことや、廊下は階床婦の監視に便なるやう設計せられ、其末端は悉く客室に利用せらるゝ等のことが明瞭となるのであります。次に設備の點に於て一言申します。

六、近代ホテルの設備中何といふ

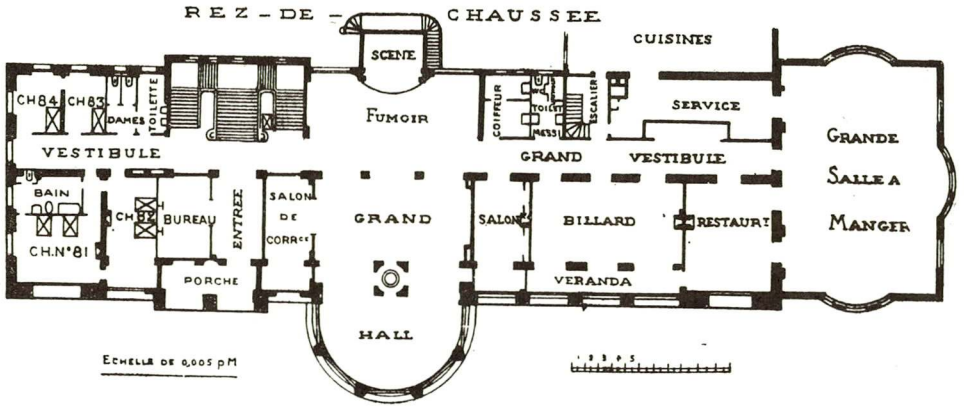
ても不充分なるは換氣裝置でありませう。今更コンクリートの透氣係數を掲げて其必要を力說する迄もなく、必然的に完成せらる可きものなるに拘らず、今日滿足なるものを見られないといふは、寧ろ奇異とする所であります。其れは單に客人を遇する意味に於て必要なるものならず、終日終夜此所に就業する勤務員の保健にも亦重大なる關係を持つものであります　既往に於るホテル從業員の死亡率が最高を示せるに想到するも、將來此點に完備を期せねばならぬ理由が明瞭だらうと思はれます。どうも建築の出來上りから見ると窓牖が唯一の換氣裝置になつて居る樣ですが、暖房冷風裝置の効力と直接關係を有する今日の建築では誠に面白くない。傳統的に懷く日本建築の障子といふた念慮からそうなるのでせうけれども似て非なるは改めて言ふ迄もありますまい。そうした結果が部屋の大きさに比して窓牖が多く且つ頗る大きいのを感ぜられます。小さ過ぎて穴倉の樣に暗いなどゝ云はるゝ批評からは免れませうが、夫が爲に要する裝飾費の並々ならぬ負擔を考へない譯にはゆきませぬ。部室の窓牖は今や世界的に、採光の目的に限られ、且つ其れ程換氣の行き届いて居ることに氣附かば、當然是等は改良せられねばならんものと思はれます。現狀の如く換氣を自然の儘に放置しあるに於ては、折角近代風に内容を整へても其價値の皆無となるを知るのであります。試みに浴室を寢室に附屬せしめしものにつきて、換氣の充分ならざる結果を考へなば、其處に何物を齎らすか、容易に想像し得ることだらうと思ひます。其が爲め將來はオゾン發生器（フィルター）の伴ふ完全なる換氣裝置が、ホテル設備の基礎要件とせられねばならんと思はれます。

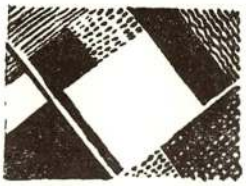
今や上下を擧げて外客誘致の具體的運動が旺んとなり、ホテル建設問題が緊急であるこいふも吾々業者は、其れが決してホテル自體の發達が誘引せるものにあらざることゝ現在に於て吾々の知れる範圍のホテルが如何に建築の不備から苦き體驗を嘗めさせられつゝあるかに想ひ及び、此時流を慶び入るゝに先ち、新しきホテルの出現に對しては建築諸家と共に再び其不幸を繰返さゞるやう注意することが、如何に必要なるかを考へねばならんと思ふのであります。然らざれば獨り資本の濫費、重復の弊に陷るのみならず、外客誘致により却て世界的に文化程度の低級さと經濟能力の幼稚さとを逆宣傳し其の嘲笑を招くに至るでありませう。

終りに臨み、本協會が吾々ホテル業者に向つて、此際表されし協力の創意と態度とに感謝し、之れに酬ゆるに甚だ貧弱なる希望を以てせることを遺憾として擱筆します。

（二月二十日稿）

3. ゴルフ・ホテル（佛國ボーバロン）第一階平面圖　ブルガンヘイメール氏設計





旅宿の思ひ出

八洋生

ソリスベリーのホテル

牧草の青々と生ひ茂つた野邊、其一劃々々を縁どるホーソーンの垣、それが何處までも果しなく起伏して續き、エルムの森が點々として在る邊に羊の群が草を喰むで居る。

斯うした英吉利の田舍にありふれた景色を車窓から眺めて居る間に、何時とはなく大粒の雨が斜に硝子窓を叩く。汽車が大搖れをして急角度に方向を轉ずると目の前に漆黒の夕立雲が見え、森を縫ひ谷を走つて行く程に雨は益々降り募つた。驀て大きな切り取りの間を抜けると展望は急に展開して遙か下の方、丘と丘との間に一固りに見ゆる市街の上にソリスベリー (Salisbury) の大伽藍の尖塔が夕立の霽れかゝつた空に高く聳えて居る、車中の人であつた兄と自分とは思はず快哉と叫むだ。



第一圖　オールドジョーヂホテルの外觀

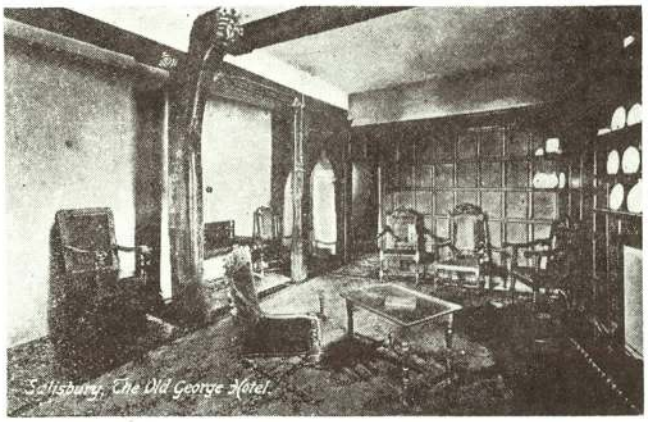
こんな第一印象を持つてソリスベリーの停車場を降りたのが千九百十四年七月の或る日の夕暮であつた。

灯點し頃の靜かな市街は夕立あがりに一入麗しく見えた、古風な町を大伽藍の方に向つて行くと左側に十世紀風のハーフチンバーの古びたホテルがある。The Old George とオールドイングリツシュで書かれた看板さへも他の町のホテルでは見る事が出來なくて嬉しい、精細な彫刻を施した破風を持つ一對の切妻が黒ずむだ骨組の間に白亞の壁を抱いてそゝり立ちフアサードをなして居る。玄關を入つても紳育やロンドンの大ホテルにある様な親しみのない壯大さはなく、受付に客を迎へる黒衣の福々しいお婆さんからが何となくアツト、ホームの感を與へる。宿帳をつけて案内された部屋が是れは又黒いオークの小屋組や棰木を繩はした黒白の對象の強い心持ちの良い廣い室で床も天井も木部は荒削りの木屑が黒ずむで粗朴な感じがあるが、それでも何處の英吉利の家にも見られる様に一種の清潔さを覺えさせる。家自體が骨董品であるので相當に有名となつて居るホテル丈あつて。家具なども家の様式にシツクリ合つた可なり贅澤なものだ。部屋には寢台が



第二圖　オールドジョーヂホテルの一つの寢室

二つ、中にも中央にある大きな方は四隅に細い彫刻を施した柱があり、四方に帳を垂れて中世紀の貴族の生活を想像させる大袈裟なものだ。旅裝を解いて階下に降りて行く道すがら他の部屋々々を覗いて見ても同じ古さと粗朴さを持ち然も經濟本位に同じ廣さ同じ形の部屋を並列した近代的のホテルの部屋と異り、其一つ一つが夫夫異つた趣をなして居るのも氣持が良く、無理に設備した電燈が何となく相應しからぬ感がする。食堂に入れば流石に此處は電燈に代ふるにテーブル毎に燭臺がついて居てほの暗い間にテーブルクロースの純白なのが目立つ。黒い服に白いエプロンをかけた女が給仕に立ちテーブルの間を縫ふて行く毎に蠟燭の焔が搖らぎ、其火影に見ゆる女の顔が如何にもロセツチの描く女の顔に似て居て其クラシツクな面立が折柄の環境に如何にも相應はしい。



第三圖　オールドジョーヂホテルの一室

食後、七月とは云へ何となく肌寒いために十一世紀頃のものだと云はれる契煙室の暖爐に火が入れられて居のに兄と共に暖をとつて居ると宿の主と云ふ最前の老婆が來て色々と話しかける、數年前に一人の支那人が來て泊り水晶の玉を呉れた、それ以來此ホテルが非常に繁昌し出した事。今迄泊つた事のない日本人が泊つたのだから今後は更に繁昌するであらう事。此ホテルの建物が一部は遠く十一世に溯り、大部分は十四世紀の初めに出來て居て舊態を替えず、ジョージアン時代の建增が後庭にあるが客が古い母屋の方を好む事、此宿は其昔オリバークロムウエルがチヤールス一世に逆いて自分の軍隊に會ひに行く途に一夜を明かし、それが今夜自分等に宛行はれ日は暮れ切らぬが追々に路行く人も少くなり四邊もひつそりとなつて來たので寢につく事にした。



第四圖　オールドジョーヂホテルの契煙室

兄は中央の大きな寢台に僕は傍の小いながら氣持の良いベツドに入り、日本には寺院以外にこんな氣分の味へる處のない事や自分の妻をモデルとして常に今夜見た給仕女に良く似た顔の女のみ描いて居たロセツチの話しなどして居る中に隣りのベツドに兄の靜な寢息が聞える様になつて來た、多分クロムウエルにでもなつた夢でも見て居たのであらう。

……

英吉利には此ソリスベリーのオールドヂョージの外に此種のホテルが數ケ所あつた。オックスフオードのマイターホテルも其一つだドルチエスターにもあつたが其名は記憶して居ない。然し中でも此オールドヂョージが一番異彩を放つて居る。此ホテルの話を其後外遊する人毎に話して是非一夜を過してサツカレーなどの小説にある様な氣分を味ふ様に勸めた

が餘りにロンドンに近く態々一夜を過しに行くのが億劫なためとソリスベリーと云ふ街が普通の旅行者には有名でない爲めか歸朝の後に尋ねると皆暇が無かつたと云ふ答へをする

二、チチエスターの宿

ロンドンの南五十哩、普通の旅行者の訪れるには餘りに有名でない小さなキャセドラル、タウンにチチェスターと云ふ街がある。歐洲大戰の初まらぬ前の或夏の一日を其街の伽藍の雄大な穹隆の下や、芝生の麗しいクロイスターに過して勞れた體を伽藍の傍にあるホテルに休める事にした。

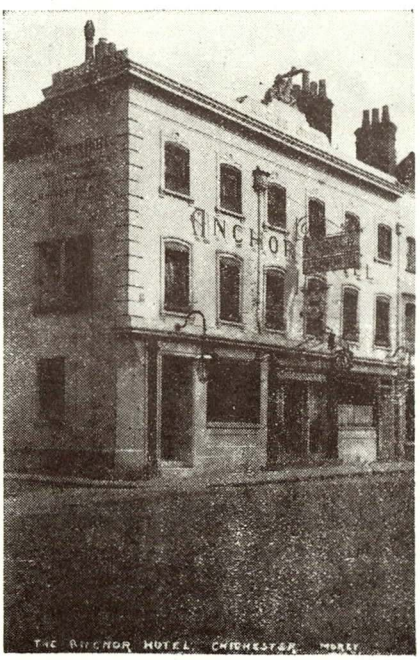
ホテルの名はアンカーホテルと云つた。譯すれば錨屋旅館とでも云ふのであらう。建物としては何の飾り氣も無く又何の由緒も無い平々凡々の一旅宿だ。皮肉屋は本願寺前の安宿を想像するかも知れないが、そんな俗氣は微塵も無く僕にとつては思ひ出多い一夜を過させて呉れた宿りであつた。



第五圖 オツクスフオード マイターホテル外觀

ホテルの室は質素ではあるが氣持の良い清楚な田舍らしい部屋だ窓からはチチエスター寺院の高い屋根やベルタワーが眞正面に見える、宿は少さいながら相當に客もあるらしく賑かだ。

夕餉の後まだ日の高いまゝに郊外の靜かな野邊に牧草の香を臭ぎ乍らそゞろ歩きして宿に歸ると、二階の廣間からこんなホテルに相應はしからぬクラシツクな音樂の合奏の響が流れて來る。見れば晝間見た七八人の客が集つて居るが長椅子に倚りかゝつて天井を凝視して居る者もあれば安樂椅子に脚を組むで一直線に立ち昇るマドロスパイプの煙の先の搖ぐのを見て居る者もあり、つゝましやかに椅子に腰懸けて聞き入つて居る婦人もある。演奏者はと見れば、ピアノに座つて居るのは服裝こそ違へ夕餉の時に食堂に立働いて居たウエイターだ。バイオリンを彈いて居るのは見知らぬ男だが、一弦の胡弓を彈いて居る男は帳場に座つて居た宿の亭主だ 曲は何であつたか今記憶しないが靜かなクラシツクのものであつた。ウエイターのピアノも勿論名手でないには相違ない。然し我上野の學校出の若い先生達よりは確かにタツチが良い後に矢張り此宿の雇人だと聞いたバイオリン彈きも同じ程度の音樂家だらう、コンダクター格の宿の亭主の持つ樂器は弦こそ一筋だが確かに我々の中學時代に流行した胡弓と寸分相違がない、それが洋樂に使用されて然も云ひ知れぬメロデイーを室中に漂せて居る。



第六圖 チチエスターのアンカーホテル

宿の亭主、ウエイター、胡弓、そしてクラシツクな音樂、折角の興をそがぬ樣に階段際に佇むで聞き入つた僕には其部屋の光景が何んとも形容し難い不思議な感じを與へた。勝れた音樂の演奏を誰れがこんな片田舍の旅籠で期待しよ

う。然し一夜、淋しい遊子の旅情を慰むるには充分であつた。佇むで聞いて居る僕に氣の付いた亭主は胡弓を彈きながら目で挨拶して居たが曲が終ると立つて迎へ入れて呉れた。

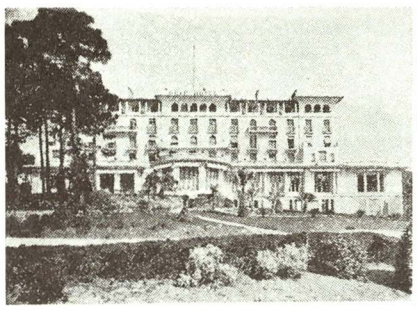
ピアノを彈くウエイターはピアノを背にし、バイオリンの男は調子を合せながら亭主と一緒に三人共獨逸訛りの英語で曲の話を始める、胡弓が洋樂に然も西洋人に斯うも器用に使はれて居るのを初めて見た僕には物珍らしく思はれる事を話して胡弓の英語の名を聞くと、ヂヤツプ、フイツドルと云ふと答へ、在來の洋樂器には求められぬ妙音が出ると賞讃して居た。

元來歐洲大戰までは英國の都市のホテルは大概獨逸人に經營されて居たものだ。此旅籠とても其例に漏れず音樂好きな獨逸人が、客の旅情を慰める爲の心遣か又は一日の勞苦を夕の音樂に忘れる自らの慰めであらう、それにしても一家を擧けての團欒は宿るものの心に快さを覺えさせるものだ。

間もなく部屋に歸つたが下の演奏は猶も續き、開け放した窓からはギヤセドラルのベルタワーが魔物の樣に黑く見え、更けて行く夏の夜風が主人の奏でるヂヤツプ、フイツドルの魅惑的な音色と共に流れて入る。其音樂をチチエスター寺院の鐘の音と共に聞きながら白いシーツの間に安らかな眠についた

夫れから二年の後歐洲大戰の眞最中の或秋の日、プライトンから歸りに態々此チチエスターに廻つて同じ宿で茶を呑むだ。當時を思ひ起し、其時の獨逸人の亭主やウエイターの消息に對する好奇心に馳られてだ。帳場には彼の人の良さそうな音樂家の亭主はなくて凡帳面そうな女が居り、食堂にはピアノ彈きのウエイターの代りに頬の赤い田舍娘が居た。獨逸が宣戰を布告すると共に、他の多くの獨逸人と同じやうに、亭主もウエイターもバイオリンの男も祖國の爲に劍をとる爲一夜の中に獨逸に引揚げてしまつたのであらう。

雜誌『建築と社會』がホテルに關する特別號を出すと云ふ。然し編輯者が考へて居る樣なホテル、それは又現代の日本の都市が希望して居るホテルであらうが、斯くの如きホテルに對しては僕は何等の興味もない、寧ろその餘りに科學化された處に一種の反感をさへ覺えるのである。そこでいやがらせと思はれるかも知れないが、最も現代都市の要求せざる、最も非アメリカニズムなホテルの思ひ出を二つ書き連ねた。マテリアリズム萬能の時代にもロマンチシズムに憧れるものゝある事を知らせたい心持だ。米國の各都市、歐洲の大都市のホテルは餘りに産業化され同じ大さ同じスタイルの部屋が番號順に兵隊の樣に並んで居る。中には伍長格小隊長格の部屋もあるが如何にも組織的に並べられて居る處が反つて興趣をそぐ。機械の樣に働き機械の樣に宿る者にとつては勿論此種の宿も適當しよう風呂がつき、湯が何時でも出て、夏はコツク一つ捻れば氷水が出て用事は總て、備へ付けの電話で辨ぜられ、洗濯設備から浴場、劇場はてはテロートグラフまで備へた最新式のホテルも便利には違ひない。勿論建築家である僕も歐米を旅行すれば此等を一通り研究する事は忘れない心持ではあつたが。こんなホテルに泊ると直きに倦きて來てスープの出しからでも噛むで居る樣な氣持に成る。だから職業を離れた旅には努めて是れを避けて土地の風土に親しみ易い旅宿を漁つて歩いたものだ。





4. ゴルフ・ホテル（佛國ボーバロン）
設計フルガンヘイメール氏
上. 正面(海に向へる側)下.街道側



ホテル瑣談

角尾篤彦

所謂コムマーシヤルホテルにしても遊覽客相手の高級ホテルにしても私達の旅を樂しませるも苦しませるも大半の責は其のサービスと設備であると云て差支へない。一日の泊り客も月餘に亙る滯在客も、亦東洋人にも歐米人にも等しく泊り心地のよい印象を與へなければならぬ、それだけ其のサービスと設備とには研究の餘地が多分に殘され國際的の色彩も濃厚に含まれる。

一體に歐米人はホテルを單なる宿屋としてのみでなく社交機關として完全に使ひこなして居るし又それ相當の行屆た設備もして居るが、まだ我邦では夫れ程上手にホテルを利用して居らぬ。殊に大阪の如きはまだ利用すべきホテルがない。泊り客計りでは莫大な近代的設備と經費とで採算のとれやう筈がない。もつと突き進んで相當の設備をして社交機關としての利用の途を開かなければ必ず經營難に陷るとは明らかなことである。

私の知つて居る範圍ではホテル設備とホテル利用の最も發達して居る國はアメリカ以外にない。殊に近代性の敏感なアメリカ人を滿足させる爲の大ホテルには泊り客のみならず、外來の各種の階級と各樣の趣味の人々の食事の爲にはメーンダイニングルームの外にルーフガーデンとかカフエーとかファウンテンルームとかティールーム、ランチルーム、グリルなどの名稱を附し各室各樣の趣味と調子を持つた設備と裝飾を施し又これ等の人々の待合せや談話の爲には思ひ切つて廣い華かなホールやロビーを持つて居り宴會場、ダンスホール、理髮、美容、浴場、汽車汽船の案內所、郵便電信局、洗濯屋は勿論雜誌、菓子、草花、煙草小間物、藥品、贈答品等の各種の賣店は三越、大丸などの各部の賣場よりも整ひ、圖書室、齒科醫、病室、チロポディスト、速記者などの設備とサービスを爲すホテルさへある。

如何にしてお客を滿足せしめ、如何にしてより多くのお客を吸集せんかと腐心して居る樣は、丁度百貨店が顧客の吸集策に苦心して居るのと同樣で設備と宣傳によつて相當の効果を齎らして居る。

古い一流のホテルの內にはまだ歐洲風の宮殿の樣な設備をした處も無いではないが、最近建設せられた多くのホテルは概して能率萬能の大ホテル主義で最大の包含力と引力を持つた最新建築科學の完全な應用を誇りとして居る。ニューヨークのホテルペンシルバニアシカゴのホテルスチブンス、ホテルビスマークの如きは之である。

◇

試みに米、英、佛、獨のホテルを覗て其の氣分を味つて見やう。

ホテルペンシルバニアの廣間に座つて暫く見し居ると汽車の着く度にポーターに手荷物を持たせた客が行列を作つてクラークの前のカウンターに進んで行くと齒切れのよいクラークの捌きで室の鍵を渡されてドシ〳〵と客室へエレベーターで送られて了ふ、其の能率的なことはお客を品物扱ひにして居るのと大差ない、若し私達が室以外のことを尋ねると『それはインホーメーションビューローで聞いて呉れ』とか『夫は私の係でないからマネーヂヤーに聞いて呉れ』とか實に手際よく斷はられる。

芝居行の待合せの人達、汽車の時間待の人、ダンスの待合せの人等が器用に、惡く言へば厚かましく此のホテルの廣間を利用する、この樣子を見ただけだとホテルに居るといふよりも劇場の散步場か停車場の待合室の延長の樣にしか思はれぬ。舞踏室の方からは氣せはしいジヤズの音が人も腰掛も一緒に踊り上らせる樣にそゝつて來る、人々はチヤーレストンの樣な輕妙な足取りで步いて居る、此の氣ぜはしいジヤズを聞き忙がしさ

うな足取りを見て居るこ『何でお前はヂッこして居るのだ何故動かぬのだ?』と詰問される様な壓迫をさへ感じる。

昇降機は大抵ローカルとエキスプレスの二種に分ちスピード時代其のものゝ様に客を運搬して居る(昇降機にこうした區別をしてあるのは歐洲では一度も出逢はなかつた)たま〳〵婦人客と同乘の時は脫帽の煩しさを修業しなければならぬ。

◇

一度十何階かの自分の室に歸ると主階の騒がしさは何處へやら靜まり返つた室内は春のやうな溫かさを保つて天井、机の上、枕元の電燈は任意に明滅され、寒暖計に取り付けられた指針を動かせば室内の溫度は自己の欲するまゝに調節され、栓を捻ればアイスウオーターでも熱湯でも普通の水でも時を選ばず私達を滿足させて呉れる眞夜中でもエナメルの浴槽になみ〳〵と溫湯を湛へられる。

洗濯やプレスなどは入口に取りつけられたサービドーワに入れて電話をかけて置くと一々ボーイに應對せずとも亦不在にしても外側から運び去られて出來上つたものは又元の様に外側から傳票と共に納められる。こうしたサービスは實に齒切よく着々と捗つて何等遲滯がない、不在中の來客の名刺や信書には來訪され到着した時刻をタイムスタンプで押して私達が歸つた時に室の鍵と一緒に渡して呉れる。

これ等は些細の事ではあるが如何にも氣持よく感じた。窓を開くと百數十尺の下から高架線、電車自動車、人の叫びが物凄く外壁を傳つて昇つて來る、響の街のニューヨークが現實に耳に響て來る。

◇

こうした氣持と待遇を受けて雪の大西洋六日間の航海の後ロンドンへ渡つて英國流のホテルに泊ると餘りに主階の氣分の異ふのに驚かされた。貴族的とでも言はうか金モールに勳章をブラ下げた女關子が丁寧な態度でタキシーの扉を開け、可愛らしい金釦の制服を着けたドーワボーイの開ける入口からホールに入ると森閑とした電燈の薄暗いホールには二三組の男女の客が靜かに氣取つて話をして居る。同じ時刻のニューヨークのホテルの廣間と較べて餘りの差に驚きもし、又何となく寛いだ氣分で身體を休めることが出來る。一隅のストーブには所謂チーヤフルフアイヤがチヨロ〳〵燃えて田舍の爐邊へ行つた時の様な氣樂さになつて欠伸さへ催す程である。ドレスを着た給仕人が行儀よく立つて用事を待つて居る、其の靜けさが何となくプライベートの邸宅へ招待されて食堂の開くのを待つて居る様な感じがする、乘客の少ない小さいエレベーターに乘るとたとへ婦人客と同乘しても脫帽の煩しさもない、一旦自分の室に入るとスチームヒーターの設備のない室は一々女中を呼んで石炭を燃やさせるか自分で焚きつけるかしなければならない。其の石炭はコールボックス一杯何程か宛の代金を室代以外にチヤーヂされる(これはコールストライキ以後の事ださうだ)。

室の電燈の數も少なく手紙を書く小机も不完全で、用事を電話で命ずるこ『ベルで夫々の係を呼んで呉れ』との返事、成程電燈のスヰツチの傍にベルの釦があつて一つ押すと給仕、二つは女中、三つはボーターなごと注意書がしてある。夜の十一時過ぎに入浴しやうと栓を捻るこぬるい湯でそれを我慢して入つてストーブの焔で身體を溫めて寢床へ入る、風を引く事覺面である、ニューヨークのホテルを知つた人にはほんとに味氣なく思はれる。

併しこうした不自由さはあつてもアメリカのホテルが一から十まで事務的であるのに對して給仕にしろ書記にしろ使用人が適當な程度の愛嬌を見せて何となしに家庭的な心安さを感じさせる。

兎に角英國人は矛盾や撞着を平氣でやつて取りすまして居る、パリアメントの議場で人道問題を論ずる英人が印度やアフリカの山の中で土人を殺しても殖民政策だと言つてすまして居る、ジヤツズは下品だチヤーレストンは餘りに下等だ、こんなものを輸入しては英國人の傳統的高尚な趣味性が惰落すると眞面目くさつて新聞で論じてる間に彼方にも此方にもヂヤツズの音を聞きチヤーレストンの足取りで浮かれて歩く若い人達を見

る様になつたのであるから、ホテルなどもアメリカ風の經營法と設備がだん〳〵と入つて來るのは爭はれぬ事實である。（ホテル・ビクトリア）

◇

ロンドンから汽車で七八時間、飛行機で四時間の旅で佛京パリーに着くと、さすがに各國人の憧憬の都だけあつて數多い異國の遊覽客で市街のさゞめきは私達に何となく落着きのない焦立たしさを感じさせるが、フロツコートを上品に着こなしたホテルの支配人と淺黄の縮緬の制服を着た血色のよい召使に慇懃に迎へられてホールに入ると僅か數時間の旅行で往來の出來るロンドンとかくも氣分が違ふものかと思はれる計りにすがすがしい垢ぬけのした室に塵一つ留めず、家具に裝飾に清新の氣をたゞよはしてニューヨークならば街の人で一杯に雜沓して居る所を森閑とした靜かな心地よさを覺えさせる。

明るい輕快、それがパリーのホテルをよく言ひ現はした言葉かと思はれる、硝子張りのエレベーターが音もなく上下して室に入るとニューヨークなどより一體に小ぢんまりと出來ては居るが壁紙、敷物、椅子張りなど色彩の調和よく電燈は室の隅から隅まで照らして小ぎれいにさつぱりして居る、物の形よりも色彩の調和とコントラストに心を留めて居るのがたまらなく嬉しかつた。保守的で薄暗いロンドンの煙くさい室と比較にならぬ快感を與へて呉れた。（ホテル・クラリツヂ）

一體に歐洲のホテル經營は近來アメリカの資本が澤山流れ込んで段々アメリカ風の方針に變りつゝあるがベルリンのカイザーホツフなども米國の資金を仰いで居るとか聞いた、それでも尙戰前の帝政時代の名殘を留めて目貫の場所に堂々たる建物をほこつて居る、赤い縮緬に金釦のボーターやエレベーターボーイの服裝はロンドンのホテルに似て居るが何となく野暮臭くパリーやニューヨークのホテルを見た眼には著しく田舍じみた感じを與へる、髮を丸刈にしたお客が比較的服裝に關はず、さりとてカラーやワイシヤツのさつぱりとしたのを着て出入して居るのを見ると、私達の氣苦勞も非常に薄らいで牛の様に鈍重で勤勉に何事か常に計劃を立てゝ實行に移らうとして居る獨逸人に敬意を表し度くなる。

大體に天井も高く裝飾や家具の感じも何處となく北國らしい多少陰氣な氣分にはなるが（防寒の爲窓を二重窓にした關係もある）それだけ多く家庭的である様に思はれる。（ホテル・カイザーホツフ）

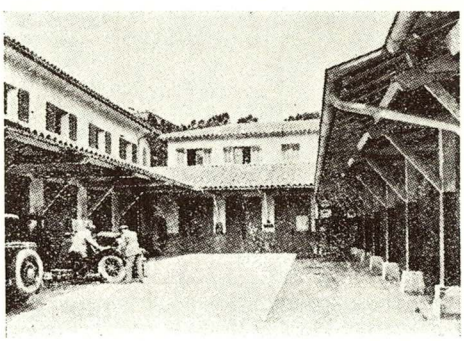
◇

其他のベルリンのホテルや獨逸各地のホテルは機會ある毎に外觀や內部の造作裝飾を近代的に改築してお客の倦怠から逃れやうと勇敢に努力して居る、十年一日の如き我がホテル業者の學ぶべきことではないだらうか、敢て苦言を呈する次第である。

こうして四ケ國四大都市の一つ宛のホテルを比較して見ると何れも同じ旅館でありながらそれ〳〵少し宛異つた國民性の閃きを感ぜずには居られない、要するにニューヨークのエフイシエンシー萬能ロンドンの氣取つた落着き、パリーの明るい輕快、ベルリンの野暮臭い心安さが私達短期の旅行者の眼にも明らかに映じて來る。

此の様に異つた性格のホテルが我が國でも夫々の地方に在つて欲しいものだ。例へば大阪にはニューヨークの様なホテルが京都には巴里の様なホテルが、相南地方にはナポリの様なのが、信洲にはスウイスの様なのが、夫々出來て欲しいものだ、何れ近い內には實現することだらうと樂しんで居る。

（昭和五年二月十六日）



5 ゴルフ・ホテル（佛國ボーバロン）中庭 フルガンヘイメール氏設計



パーク・ホテル
『ハウス・レツヘン』

經濟的勢力から見ても、文化進展の度から見ても、最近めき〳〵と向上しつゝある獨逸の一都市ボツクムでつい近頃開業したホテルに『パークホテル・ハウスレツヘン』がある。此のホテルの設立を計畫したのはボツクム・ホテル企業株式會社で、その計畫は同社自身の投資によつて此處に實現せられたのである。市當局も此のホテル設立の計畫には非常な賛意を表して、これが爲に直接な財政的援助こそしなかつたが、陰に陽にその計畫の實現に力を借した。設計の衝に當つたのはデユツセルドルフ在住の建築家エミール・フアーレンカムプ教授である。

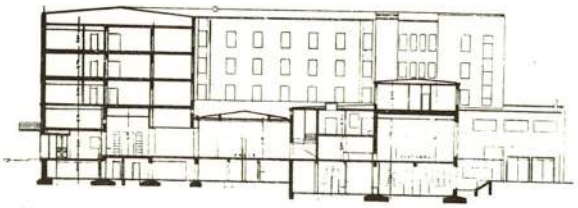
ホテルの位置は同市内の商業地域と住居地域との相接する所に近い、閑靜な、塵埃の少い場所で、昔ながらの大邸宅『ハウス＝レツヘン』に直ぐ隣つて建築せられてゐて、此の大邸宅の遊園とはテレースによつて都合よく連絡せられてゐる。その建物の内外兩部全體のどつしりとした落ち着きと和やかな高雅さとは、此の建物の建築的な構成の上に與へられた著しい特徴である。特に又、その正面の思ひ切つて大膽な單純さは構造的に表はれるぎごちない緊張感をなくするに役立つてゐる。

建物内部の各室の形態と色彩とは巧みに調和せられてゐて、純眞な清々しい統一を保つてゐる。第一階には廣い社交室がある。第二階以上にはホテルとしての客室八十三とアパートメント三を有し此處に設備せられたるベツド數は九十五、附屬浴室の數は七十一である。

第一階にある社交室と言ふのは大玄關及談話室、舞踏場で此の談話室と繋つてゐるワインレストラント、朝食室、讀書室、ビールレストーラント、客室、及倶樂部室などを包括してゐるのである。先づ應接室を見るに、その壁は淡色に塗られ床は大理石で使用の木片は一切カウカサス産の胡桃材である。この室に通ずる廊下もその壁及び床は同じくカウカサス産胡桃材であるが外に黑檀材をも併用してゐる。室内に用ひられた椅子の覆ひは鼠色から薦色に至る迄の様々の色に染められてゐる。カフエー・レストーラントに用ひられてゐる板張りの材料は象牙色磨きラツク仕上げのガブン材、讀書室のは落葉松材である。集會室及び會議室に用ひられてゐるカーテンの類は總て手織りの布で明るい調子の濃褐色である。

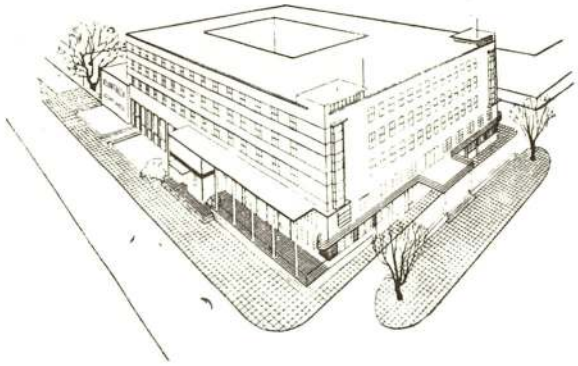
此の市では屢々、或は經濟的な或は工業的な、各種の會議を開く必要があるが、是等諸種の會議開催に際して適當な會場を提供する爲には此處に多くの會議室が用意せられてゐる。オーケストラの演奏とか公演場で行はれる演説とかの類は隣接して集會室からも聽く事が出來る。全社交室は甚だ都合よく造られてゐて、場合〳〵の必要に應じて、時には一室づゝを區切つて單獨にも使へるし、時には數室を合して一緒に使ふ事も出來るやうになつてゐる。しかも是等の社交室は、料理場やホテル用の各種の仕事場との間に廣い更衣室だとか化粧室だとかを挾んでゐるので、それらとはすつかり完全に分離せられてゐる。婦人の爲には特別な調髪室と休憩室の設けがあり、男子の爲にも廣い理髪室が用意せられてゐる。主階段傍には輕快な色に塗られた採光の工合の良い展觀場が設けられてゐるが、これは、ホテルに宿泊する旅商が自分の齎した商品を顧客に展示する爲に甚だ都合の良い設備である。

ホテルの客室には旅客が新時代のホテルに對して期待するあらゆる最新便宜な設備が何一つ缺けずに備はつてゐる。各室には建てつけの大きい戸棚がある。構内用には私設電話が、構外用には國營電話が、それ〳〵引き込んである。大部分の室には各々別個の最善を



第一圖　パーク・ホテル・ハウスレツヘン（獨逸ボツクム市）斷面圖

第二圖　同　上・透視圖



第三圖　同　上・正面外觀



盡した浴室が付いてゐる。床には天鵞絨の敷物を敷き詰めてある。隣室との境界は沖積岩仕上げの二重の壁になつてゐる。入口は内物を充した二重扉である。各室には夫々主廊下から分れた小廊下があり、浴室へも此の廊下から出入する。長期の滯留客のためには適當の位置に僅か乍らもアパートメントが準備せられてゐる。このアパートメントへの廊下はホテルの入口から別に分れてゐる。

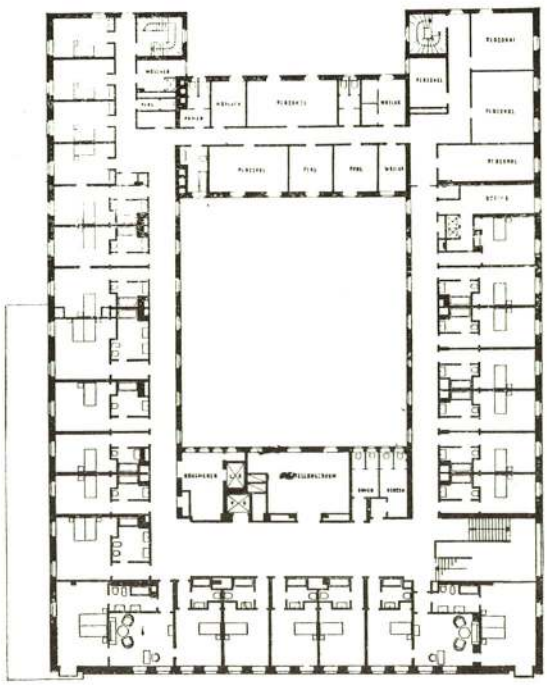
炊事場はその附屬室と共に地下室に設けられてゐる。この目的は勿論第一階を出來るだけ廣く社交室として使用する爲に外ならない客一人の爲に割當てられてゐる炊事場の面積は〇・四二平方メートル、同じく食堂の面積は〇・六四平方メートルと言ふ事になつてゐる。從つて客一人はその食事の爲に一平方メートルの場所を配當せられてその範圍の中で總てが處理せられると言ふ事になる。

食物は總て瓦斯で調理せられてゐるが、暖房用及び洗濯用には別に蒸氣の供給を受けてゐる。冷藏室は隔離裝置があり、各室には特殊の吸上式ベンチイレーターが裝置せられてゐる。この炊事場に用ひられてゐる道具類の主要なものとしては、先づ移動式の瓦斯竈を始めとして、平鍋十四、瓦斯肉燒器一、容量百五十リツトルのスープ鍋、大小の瓦斯調理臺、菓子燒竈などがある。前述した樣に暖房用洗濯用及各種の用に供する溫湯用としては蒸氣の供給を受けてゐるが、それはボツクム熱源會社から送られる低壓の蒸氣である。併し萬一不測の故障によつて蒸氣の供給が中斷された場合の用意としては別に瓦斯用補助釜をも備へてゐる。

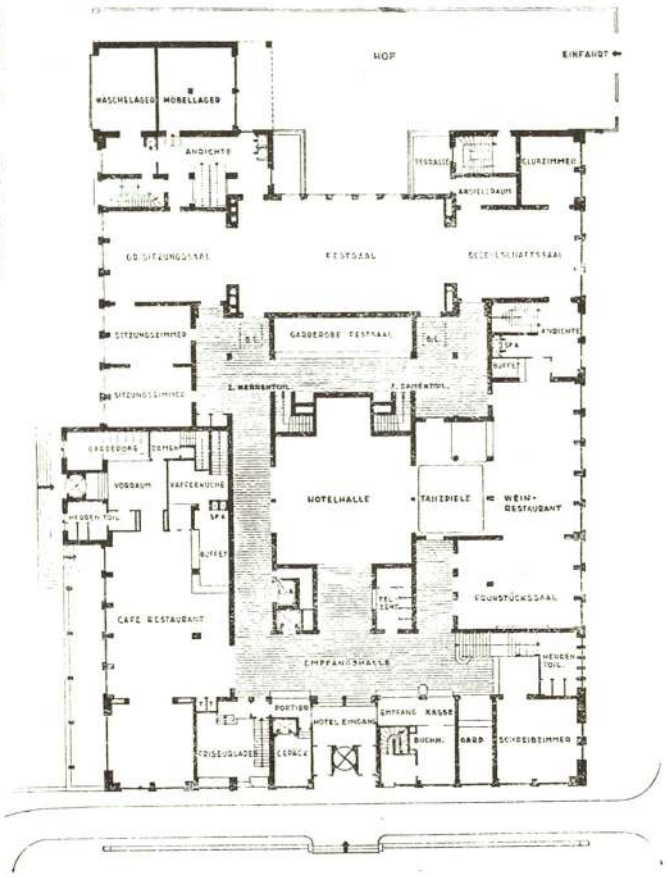
家屋内全般に亘つての通風換氣の裝置には特に見るべきものがある。此處には最近のホテル建築に於て收獲せられた此の方面のあらゆる智識が廣く利用せられてゐて夏には清純な冷却空氣が、冬には暖氣が、それ〴〵壓縮機によつて各室に送られ適當に室内を冷やし

又は暖めるのである。照明裝置、通話設備、信號裝置、點火設備、それらの總てにもあらゆる現代的型式が採用せられてゐる。屋内の清掃用には眞空裝置が据付けられてゐて、日々の掃除用としては移動式手押機を用ひてゐる。

最後に内部に施された各種の裝飾を見るならば、藝術的價値大なるものとして特筆すべきものばかりである。先づ朝食堂の壁掛、これはデュツセルドルフのマックス・クラーレンバツハ教授の手になつたものである。次でホテルの廣間の壁龍に畫かれた人を惹きつけずには措かない壁畫――同じくデュツセルドルフ在住のヴエルネル・バイネルの筆を執つた『懷しきハウス＝レツヘン』――それから、あの大きな寫眞的なそして空想的なルール地方全圖――これも亦同じくデュツセルドルフに住む女流畫家シユーベルト嬢の手によつて畫かれた明確なそして色彩の豊かな地圖、それらである。(『インネン・デコラチオン』誌に依る)



第四圖　パーク・ホテル・ハウス・レツヘン第二階平面圖



第五圖　同　第一階平面圖



小ホテル
『ホワイト・スター』

パリーの建築家クレマン・コカンポー――彼はセーヌ河に臨んだあの快適な湯治場に數多くの清洒な別莊を建てたが、最近には又其處に小やかな一軒のホテルを創つたそのホテルの名を『ホワイト・スター』と言ふ。

『ホワイト・スター』に於ては人々は他の大規模な建物では見られない和やかな落着いた氣分としつくりと心に沁み込む親しさとを感じる事が出來る。

私は此の美しい建築の爲に少し許りの記事を物しやうと思ふのである。

『ホワイト・スター』の建物は在來のものとは一風違つた設計の下に創られてゐる。だから普通には見られない樣な異つた設計が此の建物に於てコカンポー氏の手に依て有効に實現されてゐるのを見る。建物は頗る簡單である。しかも甚だ合理的に構成されてゐる。從つて、北方に位置するこれらの湯治場に建てられるホテルとしては此の上もなくよく適したものと言ふべきものである。建物は外部コンクリート塗りの煉瓦造であつて、床はホロー・タイルを使用して接目なしの嵌木で仕上げてゐる。かう言ふ風な建物は此のセーヌの河畔に建てられるものとしては實際恰好のものと言はねばならない。此の附近から英佛海峽へかけては屢々豪雨が襲來するが、此の豪雨が假令見舞つて來ようとも此の建物の外壁は完全に是に抵抗してその內部を保護する事が出來るのである。內部一階の仕事場は大きな長押を持つてゐるが、此の長押は同時に植木棚にも利用せられてゐる。二階の屋根は外壁よりも更に突出してゐる。三階の外壁は瓦張りになつてゐるが、前述したやうな風雨に際しては此の瓦張りの壁は實に頑丈な建物の保護物となる譯である。屋根は所謂『パン』型式で特別な形狀のフランダース產瓦で葺かれてゐる。



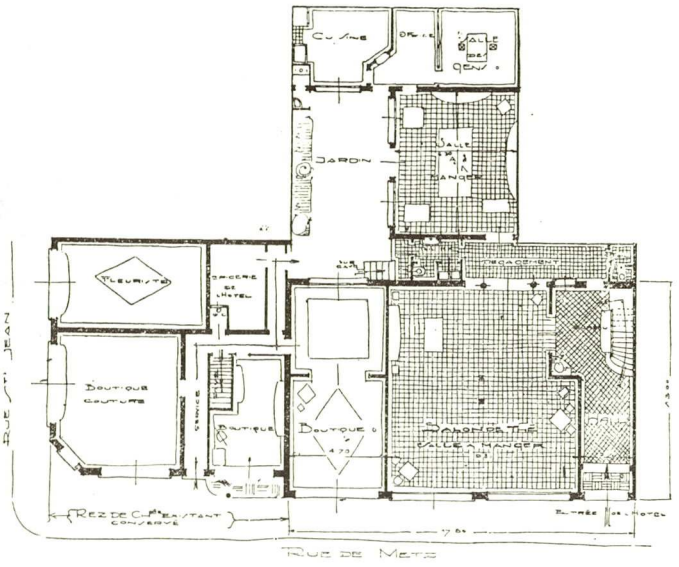
第一圖 ホテル・ホワイト・スター（里巴）正面外觀

正面の簡單さ――コンクリートの上を硅石塗り仕上げとし上部には白クリームの鎧戶が美しい照應を見せてゐる所のその簡單さは同時に又頗る合理的である。と言ふ譯は、一面に於て極めて經濟的であると共に他面に於てはこれが爲に更に一層內部の美しさを感じさせるからである。

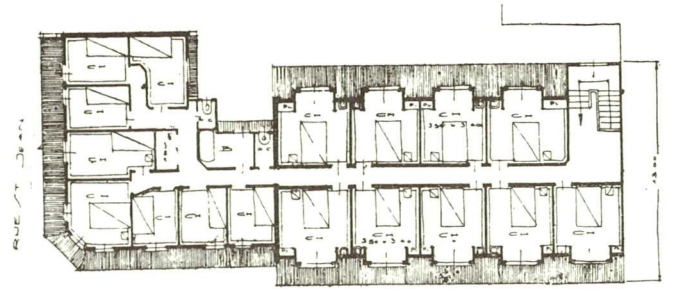
建物の位置は、セーヌ河岸地方の中でも一番人通りの多い殷賑なサン・ジュアン街とメッツ街との交叉點の角を占めてゐる。その正面を出來るだけ繁華な場所

に面せしめる爲に、又出來るだけ繁華な場所へ近づける爲に、ホテルの入口はメツツ街に面する端の方に造られてゐる。

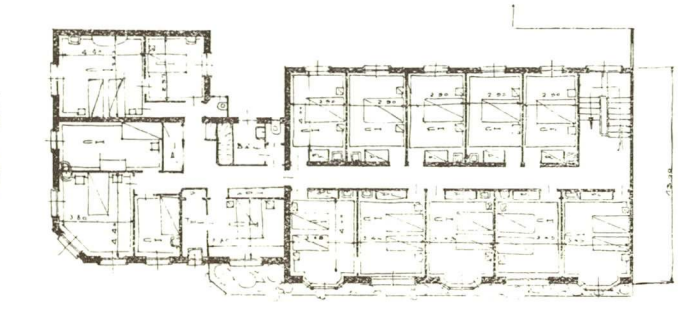
第一階の街路に面した一室はレストランになつてゐて、お茶をのみながら數時間を過す事が出來る設備にもなつてゐる。中庭に面した所にも今一つ是と同じやうな廣間がある。これら二つの部屋は何れも田園的なしつくりと落ち着いた調子を持つてゐる。私が行つた時にはまだすつかり完成してゐなかつた爲に此處に諸君にその寫眞をお目に掛ける事が出來ないのは甚だ殘念である。想像力豊かなる建築家コカンボー氏は更に一層の快適さを是に與へ樣としてゐる。



第二圖　ホテル・ホワイト・スター第一階平面圖



第三圖　同上　第四階平面圖



第四圖　同上　第二・三階平面圖

内部、殊に各室内は實際美しく裝飾せられ整頓せられて人を惹け付けずには措かない位である。これらは總てクレマン・コカンボー氏自身の手によつたものであるが氏は更に一段の光彩を添へる爲に階段踊り場の戸の裝飾の如きはこれをその道の大家ジヤツク・グリユーベ氏に依囑してゐる。グリユーベ氏は例の通りの手法で適當な材料を撰擇使用し、現代最新の技術を採用して、此處に三つのステインド・グラスを苦心案出して實現してゐるのである。

（"La Constructson Modern"）に依る。



クラブ建築の目的と設備に就て

葛野壯一郎

クラブ建築の目的に就て何か書けと言ふ註文ですから書いてみます。併し書く事が標題に添ふか如何か、其れは書いてみなければ判りません。一口に言へばクラブ建築は吾々の『客室と食堂の延長』であると言つて宜いと考へます。或は現在の日本の實狀に觀て、更らにそれに『事務室』の一語を加えるのが當るかも知れません。元よりクラブ建築の本質なり目的からすると純粹な社交機關であり、營業上の要談や秘密話は避けなければならぬ筈の處では有りますが事實は種々の用談も此處で行はれるのが普通となつて居る樣に見受けられます。

倶樂部と言ふ音譯は何年頃誰れの創意か知りませんが巧みな譯字です。此種の建築が吾が邦に起つたのは日露戰爭直後からではないでせうか。別に審しく調べた譯では有りませんから或は其以前から有つたかも判りませんが、何うも左樣らしく考へられます。其當時自分は横河先生の下に在つて三井倶樂部や交詢社の建築に關係しましたが、是等が殆んど最初のものでは無かつたかと思ひます。三井倶樂部は煉瓦造の二階建、交詢社は在來の煉瓦造住宅を模樣換して木造の二階建を增築した樣に記臆します。無論大したものでは無く倶樂部としても會員も少なく其れで充分間に合つたものでせう。交詢社は最近非常に立派なものが新築されたと聞きますが此種の建築の異常な發達が思はれます。當地の大阪倶樂部の如きも創立はやはり其當時頃では無かつたでせうか舊建築は木造の二階建で有つたやうです。

此種の建物が倶樂部と呼ばれずに會館と稱されて居るものも有ります。例へば華族會館、學士會館の如きが左樣です。或は又單に『社』とも呼ばれて居ます。交詢社及び當地の清交社等が其れです。何々倶樂部會館とか何社會館と呼ぶのが至當で、此會館の字に倶樂部建築の目的が充分表明せられて居る樣に考へられます。

◇

倶樂部建築の目的は言ふまでも無くお互が社交上の便宜を得やうとするに有ります。萬事切詰の忙しい現代では、一々人を自分の家に招いたり訪問したりする億劫を避けて、定められた一定の會館で會ひもし談も出來交情を温めて行かうといふのが目的です。其れだけ吾々の住宅の客室や食堂の負擔が輕く成る譯です。倶樂部といふと何だか比較的お金が有つて暇のある連中が集つて飲んだり食つたり雜談をしたり、又囲碁撞球カルタ等にはしやぐ處の樣にも見られ事實左樣した連中も可なり多いのですが、本來の目的は左樣では無く忙しい人間の爲めに設けられた社交機關で有る筈です。或る特種の遊戲例へばゴルフとか乘馬とかテニス等に附屬して設けられる倶樂部建築は、クラブといふよりも寧ろ休憩所仕度所と見た方が當るでせう。

倶樂部建築の發達にはお互の住宅が都市の膨脹に連れ、だん〳〵に離れて行くと言ふ事も影響の一つかと思はれます。郊外へ〳〵と居住地が延び同じ都會中に働きながらお互が益々疎遠に成り行く其緩和策として一定の場所に簡單に集り、所謂社交を全くするところに此建築の意義が認められます。又何かの機會を利用して一時に大勢が集る事も必要であり、多くのクラブ建築は其目的の爲に大集會室を持つのを普通として居ます。會館の名稱の依つて來るところも此處に在り、大勢集る事を以て寧ろ目的の主なものと考へるのが至當でせう。

一般に現在吾が邦でクラブと言つて居るものに五種位の色別が出

「建築と社會」昭和7年3月号

來ると思ひます。(一)最も一般的の會員を以て組織するもの。(二)同職同業及び同一の會社員を以て組織するもの。(三)同學同窓の關係者を以て組織するもの。(四)同一地の居住者を以て組織するもの(五)同趣味のもの丶集り等です。一般的の會員を以てする者は誰れでも相當な資格者ならば歡迎するクラブの最も本質的のものです。同職とか同窓とか云つた種類のものには種々の職業上の便宜を得ると言ふ方面が單なる社交以外に强調されます。同一地の居住者といふ分にはまとまつた郊外住宅地などのものが含まれ、是れは比較的小規模である事を免れません。同趣味の集りは說明する迄も無いでせう。

◇

倶樂部建築で其中心となる最重要な室は何と言つても談話室でせう。其大さは會員の數に依るのは勿論ですが出來るならば面積も廣く天井等も高い方が理想です。低い狹い事務室から脫れて倶樂部の談話室に落付いた時だけでも、のんびりした氣分を味ひ度いと願ふのは誰れも同じです。又此處では一切秘密の話等は無い筈ですから努めて開放的で何處までも明るく輕い氣分で色々な人にも出會ひ、愉快に談じ合ふ事が出來るやうに望まれます。

談話室に續いて圖書室のあるのが一般の配置のやうです。ゆつくり新聞も讀めない忙しい人達が倶樂部に來てほつと一息をついて僅かな時間を利用し、各地の新聞や種々の新刊雜誌のひろい讀みをしやうと言ふのですから、名は圖書室でも大した設備は不用です。新聞雜誌室でよいのです。比較的靜かな出入に便利な位置が必要でせう。吾々には此圖書室は倶樂部に在つて最も便利を感ずる一つで、色んな新聞や雜誌を一々手元に買ひ調へる煩ひがなく必要に應じて隨時に讀む事が出來ます。食事の後など靜かに心行く許り、樣々の興味ある記事を漁つて散讀するのはたしかに倶樂部建築の靜かに樂しい一面です。

◇

談話室に次いでと言ふよりは是れと相並んで最も重きをなすのは食堂でせう。何と言つても人間の樂しみは食ふ事です。殊に食事が好味いといふ事が必要中の必要です。食堂の大さも談話室と同じく大略日々の來館者の多少に依つて決る筈ですが、是亦出來るならば成可くゆつくり廣やかに、談話室との連絡の最も都合の宜い位置が望まれます。何らかと言ふと現在の吾が一般のクラブでは食堂が一番利用されて居ると言つて宜いでせう。倶樂部と言へば食事以外には餘り利用されない向が多いのです。立派な建物で色々の設備が有つても利用する人は少なく、單に一流の人々のお晝の食事場に終つて居る贅澤な例なども見受けられます。會員のみの食堂と會員外同伴者有る場合の食事場所を別にして居る例も有ります。是れは人に依つては必要かも知れません。倶樂部は倶樂部會員相互の交情を溫める場所ですから、會員外のやたらな人物を同伴される事は餘り好まれ無いのが至當です。同伴者には何れも數の制限を附して居る樣ですが、併し友人知己等との時折の會食に倶部樂食堂を利用するのは最も都合の宜い事の一つなのですから、同伴者の有るのは止を得ない事であり、其爲めに別室を設けるのは宜い方法では無からふかと思はれます。食事は何處でも洋食本位として居る爲め特にすき燒や日本料理向の別室を置く事も普通のやうに考へられます。一層食堂を和食本位としたものが出來れば或は反つて一般會員には喜ばれやしないかとも感ぜられます。

◇

會員の私用に便する爲に幾つかの小食堂及び小談話室が用意せられるのが一般です。是れは一般會員には至極重寶がられます。倶樂部建築の目的や本質からは餘り必要なものとは考へられませんが會員の便利の點からは最も希望せられるものの一つの樣です。僅少の使用料で自由に心置なく利用が出來るのですから一般に歡迎せらるるのは勿論の事です。斯う言ふ利用の便が有る爲に倶樂部に入社すると言ふ人等も有ります。是れは經營上の方面から充分考慮してよい問題でせう。

特別室として和室を設るのも多い樣です。一部の人には和食が必

要とせらるる如く一室位は疊の部屋の有るのも宜いでせう。重に謠曲とか長歌等の會合に使はれて居る様です。茶室の有るのは今日までの倶樂部建築には見受けない様ですが、日本人のクラブとしては有つて宜いものでは無いかと自分は考へて居ます。

談話室に續いて圍碁將棋室撞球室が何處の倶樂部にもきつと設けられる設備です。碁や將碁をやらない人は殆んど無い様に、撞球も大方凡ての人のやる國民的の遊戲となつた様です。圍碁將棋室は大した大きな室は入りませんが、撞球室は相當の面積を要し又其位置と採光が重要です。英台米台ボークライン等各種の台を揃へて置く事は勿論です。地下室を利用して種々の遊戲設備を設るのは最も良い思付だと考へます。一般の倶樂部には餘り左様した利用をやつたものを見受けませんが、神戸の獨逸人の倶樂部には其一例が有つたと記憶します。總じて現在では吾が倶樂部會員に中年以上の老人が多い様ですが、追々若い會員が增へると左様な要求が盛んになる事でせう。

◇

酒場も必要なものの一つで、是れは談話室及び各種の娯樂室に近い位置を必要とします。酒場の利用は是亦一般倶樂部には未だ充分の發達をしないで比較的閑却され勝ですが是れも追々とは利用され相當な設備を要求せらるる筈と思ひます。東京のアメリカン・クラブで借家住ひの他に大したものは無いが酒場だけは圖抜けて立派なのが有ります。禁酒國民のクラブで酒場に最も力を入れて居る等は面白い矛盾です。

大會堂は倶樂部建築の最も重要なものでせう。大宴會場として或は種々の催し物集會場として利用されます。大宴會場と集會場を全然別として二様に設けるならば一層理想的です。集會場には相當なステージ及び控室を附屬し、床に注意してダンスホールとしての利用をも考へて置く必要が有りませう。ダンス禁制の世の中では有りますが、こんな野暮な取締りはやがて解かれなければならぬものと考へます。倶樂部建築に對し適當な法規を欠いで居るために、兎角此大集會室の設備が問題となるのは遺憾です。是非當局の考慮を煩し度いものだと思ひます。

◇

會員の不時の訪問者の爲めに入口に近く二三應接室を設けるのは忘れてはならない大切の事です。倶樂部員の倶樂部たらしめる爲めには、不時の侵入者を此處で喰ひ止めて簡單に用談をすませる必要は度々起る問題です。

多數の地方會員を有するものでは、特に其れ等の便利の爲めに寢室を用意し宿泊の便利を計つて居ます。學士會館の如き大變重寶がられて居る様です。併し倶樂部が同時にホテルの一部を兼營するのは經營上非常に面倒である許りでなく、地方會員の特別に多いもので無ければ反つて失敗に終るでせう。東京の工業倶樂部の如き以前は多數の寢室を持つて居たものが現今では改造して全部小談話室小食堂として會員の私用に供して居る例なども有ります。

倶樂部建築の一部を仕切つて貸事務所を兼ねるのは、場所によつては經營上必要な問題でせう。兩者の間にははつきりした區分を立てて全然別物として倶樂部建築の目的を害しない様工夫するのは勿論です。

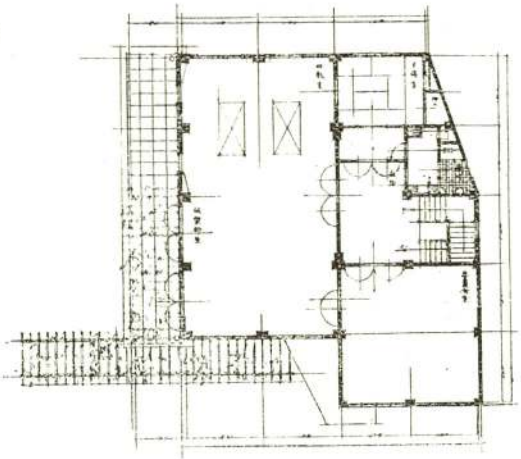
同業同職者の倶樂部では見本品や標本の陳列室を設けるのも一案です。お互に專門上の利便を得て至極都合の良い事では無いかと思はれます。圖書室に特に專門に屬する新刊書や雜誌を集めて置くのは言ふ迄もない事です。

玄關や廣間に就ては日常出入會員以外、臨時の多數來館者を豫想して其れに相當する受附なりクロークの必要が有ります。

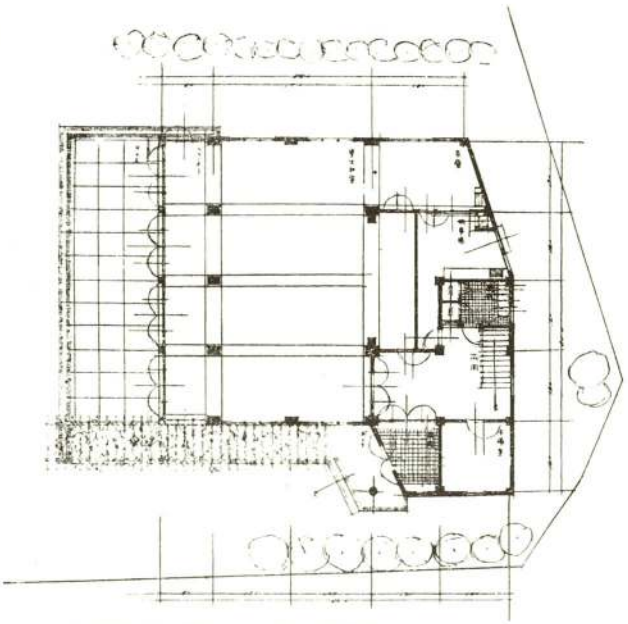
浴室理髮室も常に設けられる必要のある設備です。重に地下室が利用されます。

現在では倶樂部は何處でも女人禁制を原則として居ますが、其れでも折々の家族會の催し等に婦人の出入も相當有るのが普通ですから、化粧室其他婦人向の設備に就ても今後は相當考慮の要があらうと考へられます。(完)

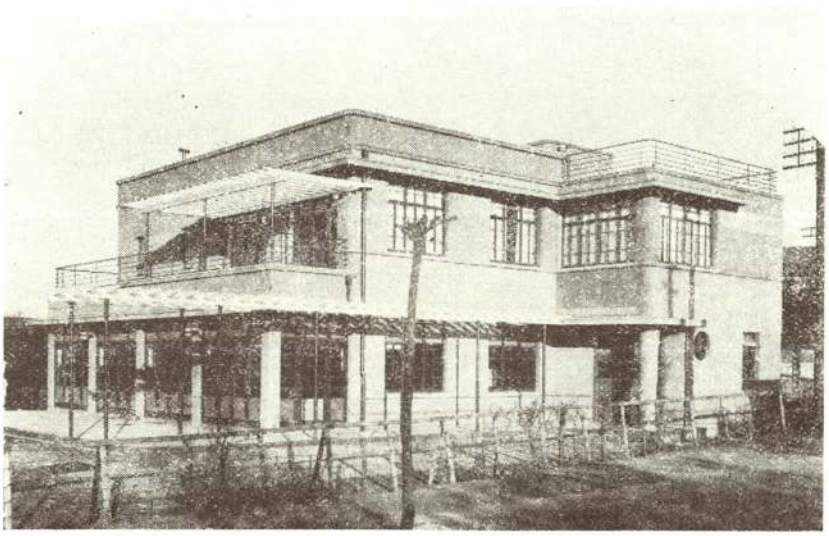
1



2



3



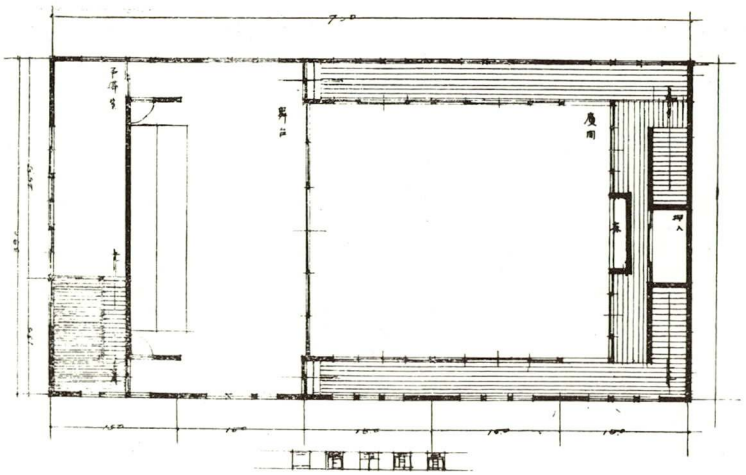
愛知醫科大學學生生徒集會所

設計施工　竹中工務店名古屋支店

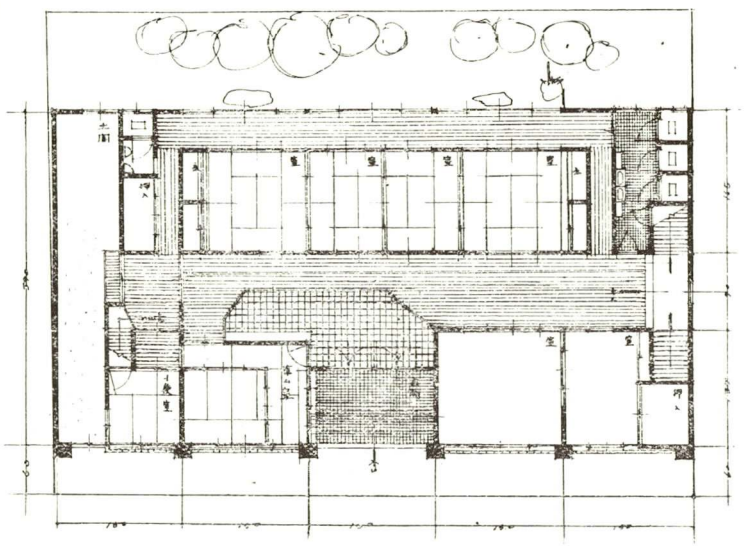
1 第二階平面圖
2 第一階平面圖
3 外　　觀

1 第二階平面圖
2 第一階平面圖
3 外　　觀

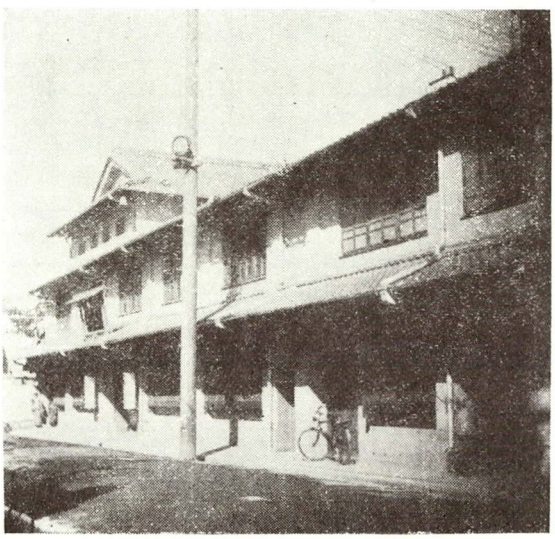
1



2



3



八垣重倶樂部

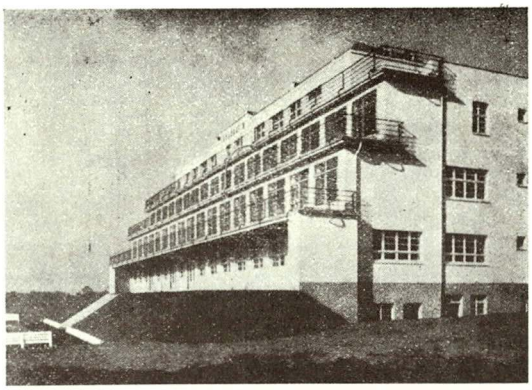
名古屋市西區外堀町

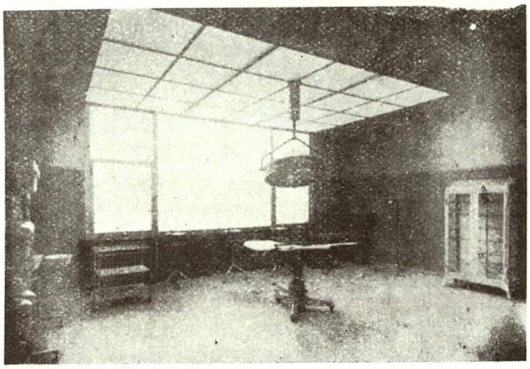
坪數　一階八七・五坪
　　二階八一・二五坪

構造　木造

設計施工　竹中工務店名古屋支店







1 外　觀（その一）
2 同　（その二）
3 手術室

ハールトハイム外科病院
設計　メツツエンドルフ教授
　　シユナイデル技師

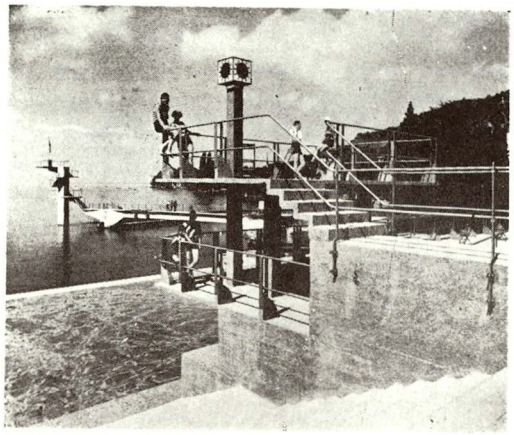
『建築と社會』昭和五年 毎月發行計畫豫告

二月號　學校建築（既刊殘本あり）
三月號　**ホテルと倶樂部建築**（既刊　同　）
四月號　建築と風致
五月號　住宅の樣式・裝飾・設備
六月號　鄉土建築
七月號　木造建築の將來
八月號　明日の建築
九月號　耐震耐火建築の普及
十月號　工場と倉庫
十一月號　銀行と事務所建築
十二月號　建築工事と其材料
一月號　昭和五年建築大觀

右主題目中御造詣深き問題に對しては續々御投稿を願ひます又毎月この外に住宅欄を設け住宅に關する記事を蒐めたいと思ひます、原稿はまへの月の十八日までに編輯部宛御送りを願ひます

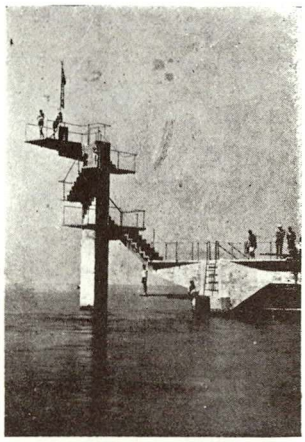
『建築と社會』編輯部

1



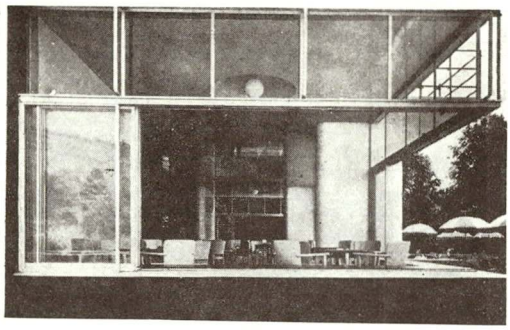
1 チューリー・プラットホーム
2 跳込臺
3 } チールーム
4 }

2

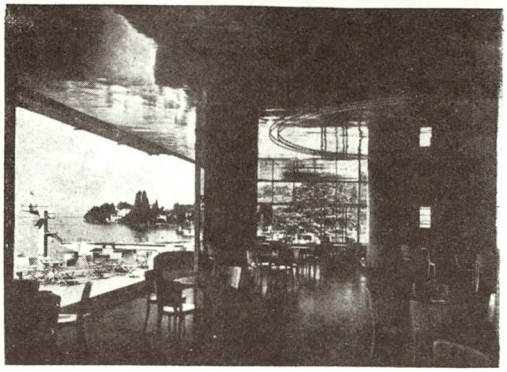


ベベイ・コルソー・プラーグ（スイス・ゼネバ湖畔）
設計　オツトー・ツオリンゲンル

3



4



切取線

登録商標



LION BRAND

資本金　五百万円
年産　百五十万樽

ヨロキヨロセメント
ヨロキヨロ級高セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の強度

耐壓力
一日　三〇〇〇
二日　四〇〇〇
七日　六〇〇〇
二八日　七〇〇〇
瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期三日で八噸ローラーに堪えて完全なりき

「早期高強度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は弊社高級セメントに依りて得らる
終局強度も大にして使用法は普通セメントに同じ

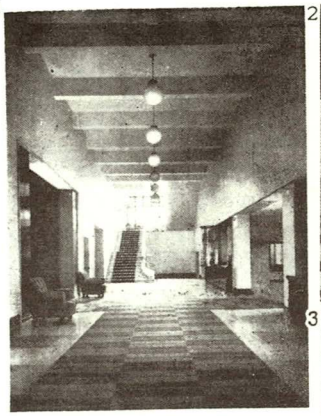
本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩市等に御使用の榮を得たり

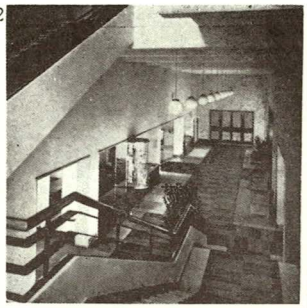
大阪窯業セメント株式會社

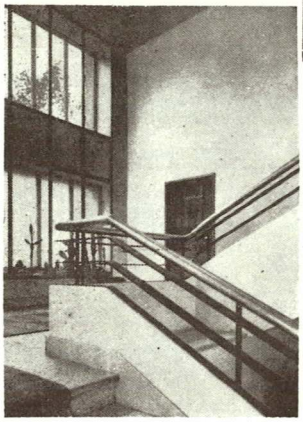
大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北自一一〇至一一三番

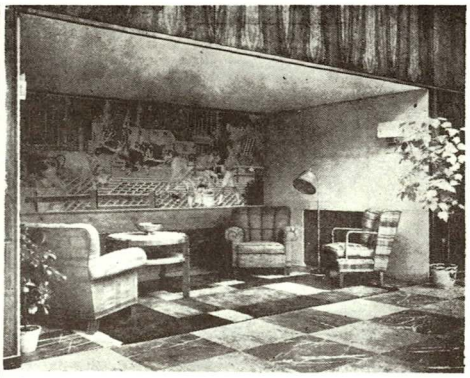
工場　大阪市港區南恩加島町　電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

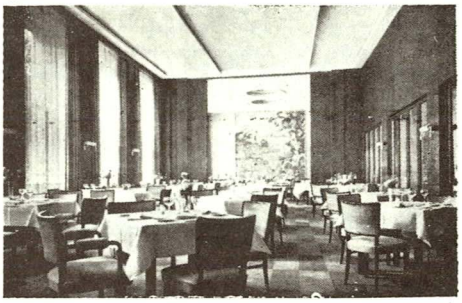
東京出張所　東京市神田區表猿樂町
京都出張所　京都市二條驛前
名古屋出張所　名古屋市中區老松町七丁目











1 玄關廣間
2 3 玄關廣間・階段
4 廣間ノニツチ
5 ワイン・レストラン

パークホテル・ハウス—
“レツヘン”—ボツキユム(1)
設計　エミール・フアーレン
カンプ（ヂユセルトルフ）

切取線

TRADE MARK
富士印

英國製　（絶對變色せぬ）
セメントの着色劑
パーフェクチン

セメント着色劑は絶對に變色せぬ事と、少量の混合にて充分着色の目的を達し其上**セメント**の效力を損せぬことが必要條件であると信じます

パーフエクチンは在來の黃土其他の粗製顏料と異り日光風雨の爲變色する虞れなく完全なる着色劑として宮內省內匠寮御設計の下に秩父宮邸、高輪御用邸に御採用を賜り最近高松宮邸にも御指命の光榮に浴し居るを始め東京大阪京都其他の大都市に於ける**コンクリート**建築の外部着色及內部の塗裝用として既に多數の建築に使用され其の品質の優良なる點は實績に依り充分認められて居ります

進型錄及見本呈

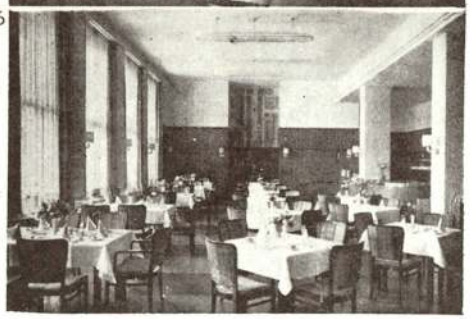
大阪市東區豊後町五十七番地
灰久着色劑部
輸入發賣元
佐原一郎
電話本町(24)一二三七番
振替口座大阪八六六八七番













1 朝食々堂
2 饗宴場
3 4 客室
5 キヤツフエーレストラン兼の間
6 キヤツフエーレストラン

パークホテル・ハウス—〝レツヘン〟—ボツキユム(2)
設計　エミール・フアーレンカンプ（ヂユセルドルフ）

切取線

庭園設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈



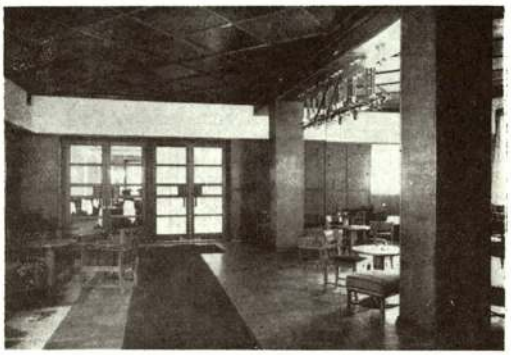
橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番

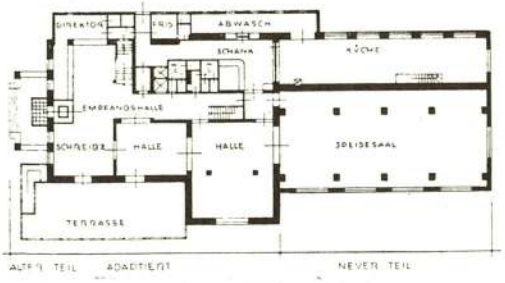
1



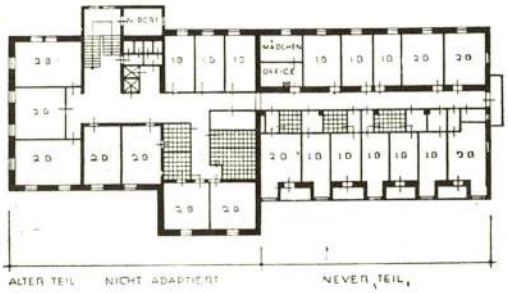
2



3



4



ホテル・"ポスト," アールベルグのサン・アントン
設計 クレーメンス・ホルツマイスター（ウイーン）

1 前　面　　2 廣　間
3 第一階平面圖　　4 第二階平面圖

切　取　線

防水層補強材料

アスタイト　フエブリツク
鳳凰印アスファルトルーフ井ング
鳳凰印アスファルトフエルト
日石アスファルト特約販賣

大阪市西區京町堀通一ノ四〇
工材社
電話土佐堀(44)五八〇九番

本間式防水工事

最新式メンブレンシステム防水工
最モ合理的最モ經濟的防水工

完全施工
優良材料

責任保證
絕對防水

仕様 ＼ 構成材料 番號	アスファルト 塗布回數	使用量 面坪	使用量 平方米	補強材料 フエルト	補強材料 アスタイト	補強材料 フエブリック	補強材料 貼付枚數計	防水工厚 分（約）	防水工厚 耗（約）	標準單價 面坪	標準單價 平方米
第一仕様	五回	六貫五〇匁封	六八瓩	一枚		一枚	二枚	三	九	7円50	2円27
第二仕様	六回	同	同		二枚		二枚	二・三	七	9円50	2円90
第三仕様	五回	同	同		一枚	一枚	二枚	二・七	八	9円50	2円90
第四仕様	六回	同	同	一枚	二枚		三枚	二・七	八	10円00	3円00
第五仕様	五回	同	同			二枚	二枚	三	九	9円50	2円90
第六仕様	八回	六貫八〇匁封	九瓩		三枚		三枚	三	九	13円00	3円90



構造より觀たる耐震耐火的建築 (下)

東京工大教授兼神戸高工教授
工學博士 田邊平學

(b) 鐵筋コンクリート造建築物の耐火性(續)

鐵筋コンクリート造建築物の耐火性に就ては前號に於て既に其の大要を述べたが、更に此の點に關して最近に獨逸に於て行はれた重要なる研究が有るから其の要點を茲に紹介して置き度いと思ふ。

火災の際に於ける溫度に就ては特別の場合を除き最近の研究に從へば略攝氏一二〇〇度に達するものとされ、各種の建築材料は之に對して其の性質に應じて種々なる程度の抵抗を示すのであるが、火災の際に於けるコンクリートの狀態に就ては從來各國に於て各種の科學的研究が試みられたるにも拘らず尙未だ充分に闡明せられざるの恨があつた。多年鐵筋コンクリート構造の進歩發達に大なる貢獻を致しつゝあつた獨逸鐵筋コンクリート委員會(Deutscher Ausschuss für Eisenbeton)は此の點に對して鑑みる所あり。攝氏一二〇〇度の高熱に曝したる後冷却せしめたる場合に於ける大小の組織の變化特に各種の骨材、硬化せる純ボルトランドセメント並に之等の材料より製したるセメントモルタルの溫度による膨脹に就きて最近に系統的研究を行ひ其の結果を昨一九二九年に同委員會報告書第六〇號として發表してゐる。

試驗片としては天然石十一種、鑛滓二種、煉瓦屑一種、硬化せる純ボルトランドセメント及び此のボルトランドセメントに上記の骨材を一對二の比に混じたるセメントモルタルが用ひられ之を電氣爐中に於て攝氏一二〇〇度に至るまで熱し、其の際特別の裝置を用ひて刻々に於ける試驗片の線膨脹を測定して其の結果を圖上に表はすと共に同一の試驗片に就て冷却後に於ける組織の變化を檢し其の主要なる觀測の結果を寫眞を用ひて示してゐるが結果の要點は次の如くである。

(一) 石英を含有する石材(硅石、砂岩、花崗岩、砂礫岩、石英を含有する煉瓦屑)は五七五度に於てα並にβの兩石英質間に反轉性の變質を來す爲に攝氏約六〇〇度に於て略二分の一乃至一%の急激なる膨脹の增加を來す。此の際に多少ともに組織は破壞せられ其の結果として物理的に强度の低下を來す。次に攝氏九〇〇度以上に達すれば更に著しき膨脹が起る。之は石英並に長石の結晶より瓦斯を發散する事と雲母より結晶水の分離する事とによるものである。石英を含有する煉瓦屑は攝氏一一〇〇度を超えれば著しく凝縮して熔融し始める爲に甚しき收縮を來す。

(二) 石灰を含有する石材は熱分解を來すべき攝氏九〇〇度までの溫度に就ては可成著しき均等なる膨脹を示し、其の量は細粒の結晶より成れる密質なる石灰岩の場合よりも粗粒の結晶より成れるものゝ方が大である。此の溫度を超ゆる時は炭酸を出す結果として石灰岩は多少收縮を來し冷却したる後に於ては熱の爲に生じたる酸化カルシウムの水化作用の爲に破壞を來す。

(三) 火成岩(玄武岩、綠岩の類)は攝氏七〇〇度乃至九〇〇度までは均等に膨脹して其の量も比較的少いが此の溫度を超ゆる時は膨脹せしめて瓦斯を出す結果として極めて急激なる伸を來す。實驗に供したる銅の鑛滓は之と類似の狀態を呈したが、鐵の鑛滓のみは攝氏一二〇〇度に至るまで均等にして而も約一%程度の比較的僅少なる膨脹を示すに過ぎなかつた。

(四) 硬化せる純セメントは攝氏約三〇〇度迄は膨脹する事少く、攝氏三〇〇度以上に於ては化學的若くは物理的に結合せる水分を發散する結果として收縮を來す。攝氏約一二〇〇度の高熱に於ては硬化の際に生じて高熱によつて分解したる硅酸石炭並に礬土石灰が部分的に遊離せる酸化カルシウムと成つて破壊するもの、如くである。故に攝氏一二〇〇度まで熱したる際に異狀を呈せざるポルトランドセメントも冷却したる後に於て數週間放置する時は膨脹の現象を來して破壊する傾向を示す。

(五) ポルトランドセメントモルタル(配合一對三)に於てはポルトランドセメントが收縮する結果として骨材が容易く充分に膨脹する事が出來る。殊に硅酸を多量に含む骨材に於ては化學的作用に基いて既に攝氏一一〇〇度を超えれば熔融の現象が認められる。

如上の實驗の結果により鐵筋コンクリート構造物の耐火性に關して次の如き結論を下し得べし。

(一) 高熱を受くべきコンクリート構造物(例へば煙突、煖房用汽罐、コークス消火用の塔の類)にして局部的に攝氏約七〇〇度の熱を生じ得べきものに在りては攝氏五七五度に於て石英の變質によつて急激なる膨脹を來す故に石英を含有する骨材の使用を避けるを良しとす。茲に石英を含有する骨材とは硅石、砂岩、花崗岩、砂礫岩又は石英を含有する煉瓦屑の類を云ふ。之等に代つて斯る場合に使用すべき骨材としては溫度による膨脹の僅少にして且つ均等なる安山岩、綠岩、密質なる石灰岩、並に良質なる鑛滓を擧げ得べく、同じく石灰岩中にても結晶の粗大なるものは膨脹が大なるを以て不可である。

(二) 攝氏七〇〇度以上の溫度に於ては特に九〇〇度と一二〇〇度との間に於て鐵鑛滓を除きたる總ての骨材は著しき容積の變化を來し瓦斯を發散する結果として其の噴出の爲に著しき膨脹を表すか又は炭酸カルシウムの分解或は攝氏一一〇〇度以上に於て起る甚だしき凝縮(煉瓦屑の場合)の爲に著しき收縮を來す。

實驗に供せられたる各種の骨材中に於て鐵鑛滓並に之を用ひて製したるポルトランドセメントモルタルのみが攝氏一二〇〇度に達するまで完全に均等にして而も比較的小なる膨脹を示し、瓦斯は殆んど全く之を出さず、組織は其の大なると小なるとを問はず殆んど高熱による變化を受けなかつた。

(三) 實驗に供せられたる各種の骨材は鐵熔鑛爐より得たる鑛滓を除き火災の際に起り得べき攝氏一一〇〇度乃至一二〇〇度の高溫に於て共の抵抗を失ひたるも、コンクリートは熱の不良導體なるが故に火災に依つて犯さるゝ部分は多くの場合に於て構造物の表面に過ぎざる事を考慮に入るべきであつて火熱の作用に接せざる背後の部分は僅かに溫度が上昇するに過ぎぬのである。從つて此の實驗に於て行はれたる如き各方面よりコンクリートが熱せらるゝ場合は極めて稀なりと云ひ得べく、從つて前記の(一)に攝氏七〇〇度以下の場合に適すとして擧げたる骨材も更に之れ以上の高熱に對して尙充分に安全なるを得べし。上記、鐵鑛滓も亦此の意味に於ては高熱に接すべきコンクリート用の骨材として必ずしも絶對的に最優秀なるものとは限らぬのである。

4 鐵骨造建築物

(a) 鐵骨造建築物の耐震性

鐵骨造建築物とは鋼材の籠狀架構を以て建物の主體となすものゝ總稱であるが、近世の建築史上に於て特筆せらるべき所謂摩天樓建築の出現をして可能ならしめた所以の第一は正しく此の鐵骨構造の發明に在りと稱して誤り無いのである。鐵骨構造は元來米國に於て發達したるもので一八八九年頃に殆んど時を同じくしてニューヨークとシカゴとに鐵骨を用ひたる建物の作られたのが最初であつて、以來今日迄に僅かに四十年の歳月

を經過したに過ぎないのであるが其の間に於ける鐵骨構造の進歩は實に異常なるものがあつて、現在に於ては世界各國の文明都市に於て競つて此の種の建築が試みられ其の數は鐵筋コンクリート造建築物と共に年々急激なる增加を示しつゝある。

鐵骨構造の進歩に伴ひ從來建築物の壁體を作るに當つて最も重要なる材料であつた所の煉瓦、石材の類は現在では單なる表面の被覆材料となり、直接外力に抵抗すべき骨組の鐵は强度計算の許し得る限りに於て最小量の材料を用ひ之を所謂鐵骨架構として任意の形狀に組立て得るに至つた。其の結果として高層建築の構造が極めて自由且つ容易となり、米國に於ては二十階、三十階程度のものは既に珍らしからずして、最近には彼の有名なるウールウオース、ビルディングを凌駕して地上六十七階、高さ二五〇米に達するクライスラー、ビルディングをさへ出現せしめてゐる。鐵骨架構構造の發明によつて劃期的なる發達を遂げたる高層建築は其の進歩の途上に於て更に一つの優秀なる新構造法の發明さるゝに出合ひ茲に益々其の構造的價値を高むるに至つた。前項に述べたる鐵筋コンクリート構造の出現が即ち之れであつて、茲に愈々從來の『鐵骨構造』に『鐵筋コンクリート構造』を結合せしめたる所謂『鐵骨鐵筋コンクリート構造』を産むに至つたのである。

我國に於ても世界大戰後の經濟的發展に伴ひ大都市に於ては高層建築の必要に迫られ最近約十年間に歐洲の大都市にも見られざる如き所謂ビルデイングが續々として建築さるゝに至つたが、高層建築輸入の當初に於ては我國建築界が未だ架構建築に關する經驗を有せざりし爲其の構造、手法の如きも專ら米國式を直輸入するの止むを得ざる狀態に在つたが大正十二年九月一日の關東大震災は其の耐震性に於て又耐火性に於て米國式高層建築物の構造的缺陷を遺憾なく曝露せしめ茲に圖らずも模倣直寫の時代を脫して我國固有の耐震耐火的高層建築を創造せしむべき秋を招致したのである。以下高層建築の骨組をなすべき鐵骨構造の耐震性を論ずるに當り先つ順序として鐵骨造建築物の强度を支配すべき鋼材の强度より述べる事とする。

鐵骨造建築物の骨組を形造る鋼材は製鐵所に於て科學的手段を用ひて製せらるゝものなるが故に其の强度は各種建築材料中最も信賴し得るものと稱し得べし。鋼材は其の應張强度の高き事は既に述べたる通りであるが其の應壓强度も應張强度に近く、應剪强度も亦小ならざるが故に適當なる形狀並に斷面積を用ふれば應壓材、應剪材としても適當なる材料たりと稱し得るのである。斯の如き材料を用ひ之を理論的に又實驗的に證明せられたる合理的なる方法に依つて接合して成れる鐵骨造建築物は從つて又各種の構造中最も信賴し得べき强度を有するものと爲し得べく之を最も如實に示すものが即ち其の耐震性である。

鐵骨造建築物の耐震性を鐵筋コンクリート造の夫れと比較するに材料並に構造の性質上鐵骨構造の方が自由振動の周期大（高さ約三〇米の建築物に就き故大森博士の觀測の結果に從へば鐵筋コンクリート造の場合には周期〇・三乃至〇・六五秒なるに對し、鐵骨造の場合には〇・四乃至一・〇秒內外なり）にして構造が柔となり易き點に於ては鐵筋コンクリート造に及ばざるも靜力學的に多元の不靜定なる剛節架構として建物が一體的に外力に抵抗する點に於ては鐵筋コンクリート造の場合と關係略相等しく、たとへ壁體に多少の龜裂等を生ずる事有りとするも骨組に損傷を被らざる限りは部分的補修工事を行ふ事によつて安んじて使用し得るのである。更に重量の輕き點及び材料の强度の信賴し得る點に於ては遙かに鐵筋コンクリート造よりも有利の狀態に在つて、鐵筋コンクリート造に於ては時として施工の不注意に基いて思はぬ被害を受くることがあるに比し、此の構造に於ては施工に就ても信賴し得る場合が多いのである。特に高層建築の場合又は公會堂、劇場等の如く中間に支柱を有せざる大廣間の有る建築物等の場合に於ては充分なる耐震力は鐵骨構造に依つてのみ期待し得べく、殊に壁體を鐵筋コンクリート造とせる場合に於ては各種の建築構造中最も耐震的に信賴し得べきものとされてゐる。

今試みに大正十二年九月一日の關東大震災に於ける鐵骨造建築物の被害狀況を見るに警視廳調に基いて第6表を得る。本調査は震火災を含むものであるが災害直後急速に行はれたるものなるが故に勿論充分なるものとは認められぬが尙以て大體の傾向を窺ふには足りるであらう。即ち合計の百分比に就て見るに鐵骨に損傷を生じたるものは僅かに總數の一・三五%に過ぎず、之に對して完全又は殆んど損傷無くして殘りたるものは六八%に及んでゐる。更に之を大龜裂を生じて使用に堪え難き程度のものと修復によつて使用し得べき夫れ以下の程度のものとに區別する時は前者の約一三・五%に對し、後者は約八六・五%なる高率を示してゐる。又之を構造種別に就て見る時は既に述べたる通り鐵骨煉瓦造に比して鐵骨鐵筋コンクリート造の成績遙かに優秀なるを見るべし。鐵骨生子板張り其他の一階二階程度の低き工場の類が特に被害少きは素より說明を要せぬ所であらう。鐵骨構造に關する經驗が比較的乏しく、且つ鐵骨造高層建築の殆んど全部が米國直寫の域を脫せざりし當時に於て尙且つ上記の好成績を示したる鐵骨造建築物は大震災の經驗に鑑みて其の設計に又施工に多大の進歩を遂げつゝある現在及び將來に於て耐震的建築として益々發展すべきは論を俟たぬ所であらう。

第 6 表

大正12年9月1日關東地震に於ける東京市内鐵骨造建物被害表（警視廳調）

構造種別＼被害の程度		疵傷の及ぶもの及び全壞など	龜裂小切壁仕舞外壁間裂龜	外當る切相ある仕舞共裂の間壁龜も	大龜裂	損じの骨に生もをる歲傷た	合計
鐵骨煉瓦造	棟數	10	7	0	9	1	27
	百分比	37.04	25.93	0	33.34	3.70	100
鐵骨鐵筋コンクリート造	棟數	10	2	0	0	0	12
	百分比	83.33	16.67	0	0	0	100
鐵骨鐵網煉瓦造生子・張工場の類其他雜の	棟數	30	3	2	0	0	35
	百分比	85.71	8.57	5.71	0	0	100
計	棟數	50	12	2	9	1	74
		64			10		
	百分比	67.57	16.22	2.70	12.16	1.35	100
		86.49			13.51		

（b）鐵骨造建築物の耐火性

鐵骨造建築物の骨組を構成する所の鐵に就ては古くより耐火性あるものゝ如くに誤つて考へられてゐたのであるが鐵は不燃材料でこそあるが耐火材料では決してなく即ち燃える事は無いが火に對しては非常に弱いのである。木材の場合に於けると同樣に鐵材も火に曝露される狀態如何によつて耐火性も異なるものであるが一般に鑄鐵は攝氏約一一〇〇度乃至二一〇〇度の範圍内に於て熔け、鐵骨材料として最も多く使用される軟鋼鍛鐵よりも稍熔融點高くして攝氏約一三〇〇度乃至一五〇〇度の範圍内に於て熔ける。

鐵は一面に於て木材の如く材料自身が燃料となつて火勢を強める恐れは無いが他の一面に於て熱の傳導度が高い爲に高熱を材の全長に亘つて傳へる事と熱せらるゝに從つて強度の著しく減少する缺點とを有してゐる。例ばKollmann氏の實驗の結果に依れば鐵材の強度は攝氏一〇〇度までは著しき變化を示さざるも三〇〇度に於ては最初の強度の九〇%、五〇〇度に於ては僅かに四〇%、七〇〇度に於ては更に減じて僅かに二〇%の強度を示すに過ぎぬ。之に依つても高熱を受くる鐵は普通に起り得る程度の應力に對しても耐え得ざるものなる事が知られるのであつて、殊に攝氏三〇〇度と五〇〇度

この間に於て急激に強度の減少する事に對しては特別に注意を拂ふ必要が有る。

強度の減少よりも更に著しき缺點とし、學ぐべきものは鐵材の膨脹係數が甚だしく大なる點であつて材が均一に熱せられたる場合には長さの方向に著しく延び、不同に熱せられたる場合には著しく彎曲を受ける。普通起り得る所の攝氏マイナス二〇度よりプラス三〇度に至る變化に相當する五〇度の溫度の上昇ある時は六メートルの材長を有する軟鋼の梁は既に約四ミリメートル伸び、溫度の上昇七〇度にも及べば伸は六一ミリメートルの大に達す。故に構造に際して溫度の上昇に伴ふ此の伸を考慮せざる場合に於ては僅かの溫度の變化によつても材には大なる應力を生じ其の結果として彎曲を來す事となるのである。鑄鐵の場合には熱を受けたる際の伸は軟鋼程には著しくないが軟鋼よりも更に低溫度にて熔け始むる事は既に述べたる通りである。

鐵骨造建築物を構成する鐵材は夫れ自身が燃燒せざるにも拘らず高熱を受けたる場合に忽ち變形を生じて強度の減退を來す事上記の如くなるが故に、安全率を四乃至五として設計せられたる鐵骨造建築物は攝氏約七〇〇度に於て既に其の破壞强度に達すべく、更に大なる荷重の作用する場合に於ては之れ以下の溫度にても破壞を招き得べし。鐵骨造の建築物にても住宅、學校、事務所の類にして燃燒性材料を多く貯藏せざるものは普通の火災に於ては攝氏七〇〇度以上となる事が稀なるを以て此の種の建築物なれば鐵材の膨脹に對して設計上充分なる考慮が拂はれてゐる限り鐵骨を露出したるまゝにても之を耐火構造と看做して差支へ無き場合が有るであらう。之に反して商店、倉庫、陳列場、書庫等の如く多量の燃燒性材料を藏する建築物は火災に際して、非常なる高熱を出すべきが故に鐵骨は其の荷重に耐え得ざる事となりて崩壞を來すべし。故に此の種の鐵骨建築物をして耐火的ならしめんが爲には柱、梁等の部材を露出せしめざる樣に熱傳導度低き不燃材料を以て被覆せねばならぬのであつて殊に鐵骨造建築物中に鑛物性油、酒精の如き引火性の物質を多量に貯藏する部屋を有する場合には其の內面を陶磁器等の不燃材料を以て蔽ひ直接鐵材に觸れざる樣に特別に注意を拂はねばならぬ。以上は普通の火災に就て述べたものであるが地震に伴ふ火災に備へんが爲には更に一段の工夫を要し、殊に被覆材料は地震に依つて損傷を受けざる程度に充分頑丈である事を必要とする。例へば近來盛んに使用せられるテラカツタの類の如きも耐火材料としては優秀なるものに相違なきも破損を生じ易き缺點を有するが故に耐火材料を用ひたるもの必ずしも常に耐火構造にあらざる事を忘れてはならぬ。尙火災の場合木造なれば燃えたまゝ或程度まで耐え得る事もあるのであるが鐵骨造の場合には木材が耐え得る場合に於て既に破壞を來すを以て或意味に於て鐵骨造の耐火性は木造にも劣るものと稱し得べく現に大正十二年九月一日の關東大震火災に於ても耐火被覆の不完全なりし鐵骨造建築物は殆んど全部燒け落ちたのであつて前揭の第2表によつて知らるゝ如く東京市燒失區域內に殘在せる建物四一〇棟中鐵骨造のものは僅かに七棟(一・七%)に過ぎなかつたのである。

III將來の耐震耐火的建築

以上各項に分ちて論じたる所を綜合し現在吾人に知られてゐる範圍の各種の建築構造に就き耐震耐火的價値より論じて其の將來を卜するに大略次の如き結論が得られやう。

木造建築物中の和風木造は將來たゞ其の重量の輕き點を助長し、屋根を輕くすると共に基礎工事を入念にし、要所に筋違を配して筋違、方杖の類を充分に使用し繼手、仕口に對して構材の强度を減ぜざる樣に充分なる補强金物を使用する場合には二階建以下の建物にして特別に大なる室を有せざるものに限り之を堅牢ならしむる事も敢て難事で無いが、然らざる場合に於ては在來のまゝの構造にては到底地震國たる我國に適したるものと爲すべからず。山間僻地に於ける住宅としてなれば兎も角も、苟くも都市の住宅としては地により科學的なる構造手段の多く見出さるゝ今日及び將來に於ては寧ろ耐震

的價値無きものゝして及ぶ限り之を避くべきものと考へる。

木造建築物中の洋風木造は其の構造上耐震性に於て和風木造よりも遙かに優秀なるものなるが故に今日及び將來に於て經費の關係上木造が餘儀なくさるゝ場合に於て住宅ゝしては勿論學校、病院等の如き公共的建築物、其他三階を要する如き建物に採用して充分安全なるものと爲し得べく、殊に設計の基礎を鐵筋コンクリート構造乃至鐵骨構造に於ける如く最新の力學に置く所の所謂木骨架構式建築は工場、市場等の如き大なる張間を必要とする建築物に用ひて充分に耐震上の安全を期し得るものと云へやう。

次に木造建築物の耐火性に就ては其の主要材料たる木材を或程度まで耐火的ならしむる事は必ずしも不可能ではないが其の效力の程度乃至其の有效期間等に就ては疑點無しと云ふべからず。殊に過般の大震火災に見たる如き高熱に遭遇しては木造建築は全然無能力となるが故に將來ともに大火の想像せらるゝ限り木造は其の和風たると洋風たるとを問はず耐火を條件ゝする建築物に對しては嚴じて採るまじき構造である。

煉瓦造及び石造建築物は地震力の作用を受けたる場合に龜裂の生ずる事を避け難く、而も一ヒ生じたる龜裂は其の建築物の致命傷ゝ看做すべきものであつて之には適當なる補强の策が無い。又假りに材料乃至構造の細部に亘つて充分なる考慮を拂ふ事により煉瓦造石造の建築物を多少にても耐震的ならしめ得たりとするも其の効果は努力の大なるに伴はざるべきを以て他に優秀なる構造の見出されたる今日に於て此の種の構造に執着するの愚は云ふ迄も無く寧ろ將來に於ける我國の建築構造の種類中より全然抹殺し去らるべき性質のものゝ信ずるのである。

石材は殊に耐火性に乏しきが故に火を受ける恐れある場合には被覆材料としても使用すべからず。又煉瓦は一般に耐火性に富むを以て平時の火災に對しては至極安全であるが一度地震の作用を受けたる後に於ては壁體其他に損傷を蒙るを以て火焰を防止し得ざるに至るべく從つて一般に耐火構造と信ぜらるゝ煉瓦造も我國に於ては眞の耐火構造と考ふべからず。故に將來之を他の構造による建築物の被覆材料として使用する場合にも此の點に關しては常に特別の注意が肝要である。

鐵筋コンクリート構造は煉瓦造石造等の所謂堆積式構造のものに比すれば著しく重量が小なるを以て先づ第一に地震による破壞力が小である。又一體的構造なるが故に複雜なる內力の分布を來してよく外力に抗し構成材料たる鐵並にコンクリートの强度の大なる點と相俟つて現在に於ても既に優秀なる耐震構造を爲すものであるが、更に將來輕量コンクリート其他の研究が進みゝ建物の重量を輕減する事に成功し、各部材の耐震的手法に關する各種の研究が完成したる曉に於ては其の信賴し得べき耐火性と相俟つて住宅としては勿論四五階程度以下の各種の高層建築に對して最も適當なる構造として推奬するを得るであらう。

鐵骨構造は今後より新らしき構造材料の發明せられざる限り現在及び將來に於て高層建築の問題を解決すべき唯一の方法であつて其の耐震性は材料並に構造の性質上現在知られたる各種の構造中に於て最も信賴し得べきものと爲すを得べく殊に鐵筋コンクリート構造と結合せしめて所謂『鐵骨鐵筋コンクリート構造』としたる場合に於て其の價値は最も大となるであらう。但し鐵骨構造には强敵としての火が有る。火に對する充分なる保護こそは將來の鐵骨造建築物に於て最も注意されねばならぬ點であらう。

尙將來に於ける耐震耐火的建築の發達を期せんが爲めは既に本文の緖論に於て述べたる如く根本に遡つて構造物に及ぼす地震動の影響に關する理論並に實驗的研究を完成すべく、更に進んでは加構全體並に加構部材に對する耐震的手法の研究を必要とし、他の一面に於ては各種材料の耐火性に關する科學的研究を緊要とするのであつて之等の各方面に殘されたる問題はまだ甚だ尠しとせぬのであるが之等に就ては他日又機を見て筆を執る事としやう。（完）

（一九三〇・一・二九）

石綿板及金屬板の防火試驗

池田宮彦

屋根葺材料には現今非常に多くの種類があつて其の防火力の如何は用途によつては多くの考慮を必要とする場合がある、然しそれ等の材料の防火力に關しては未だ明らかに示されたものも見當らず實驗も發表せられたものもない。而して實驗には使用せらるゝ場合の種々の條件を具備したもので無ければ完備した實驗として發表すべき價値もなく反つて誤解を招く處れがあるが、最初から一回にして完全な實驗を擧行するとは仲々困難なことであるから纏つた實驗の一部分として、或は一つの防火試驗の試みとして茲に次の實驗の結果を發表して見る。

若し讀者諸賢にして斯くの如き實驗の經驗を有せらるゝ方は何卒御教示を願ひ度く御手數乍ら本誌上又は小生へ御發表煩はしたい。

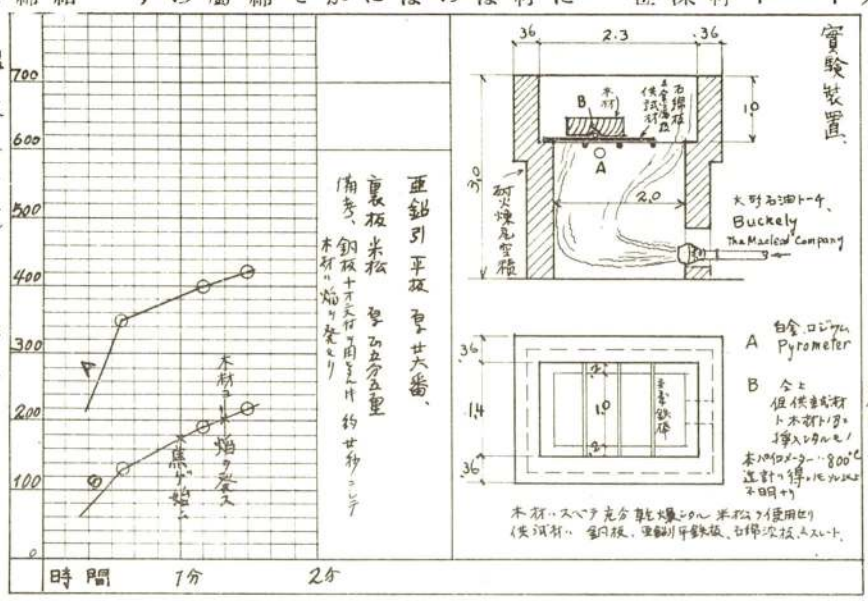
供試材料　石綿浪板、石綿板、亞鉛引平板銅板、木材（充分乾燥したる米松）

實驗目的　工場建築、上家、納屋、木造、事務所等に多く川ひられつゝある前記の屋根葺材料が木構造に直接に接觸し外部より火焰が當つた場合にそれ等の材料がどの程度の防火力を有して居るか、即ち屋根葺材料が熱せられて之れに接した裏板、母屋等が發火する迄に何程の時間を保つかを確めたいのにある。

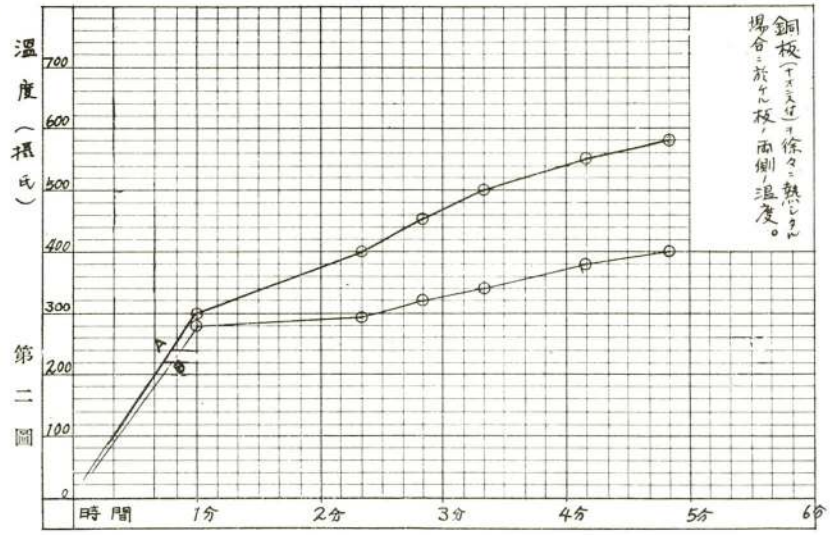
實驗の方法は第一圖に示す様に耐火煉瓦を空積にした爐を設け此の下方より大型石油トーチによつて火焰を發せしめ之れに材料を曝して置いたものである。圖中Aは屋根葺材料の附近に於ける焔の熱を計る白金ロジウムパイロメーターであつてBは屋根葺材料と之れに接する裏板又は母屋の間の熱を計る爲めに挿入したパイロメーターであつて、パイロメーターが入るだけ木材を刳つたもの深さ幅共に四分位である。

實際の火災に於ては火焰は材料の上から又は横から當るものであるが之れは下から當る様になつて居る點が違つて居る點である。然し石綿スレートと金屬板との防火力の差は凡そ推定することが出來る。

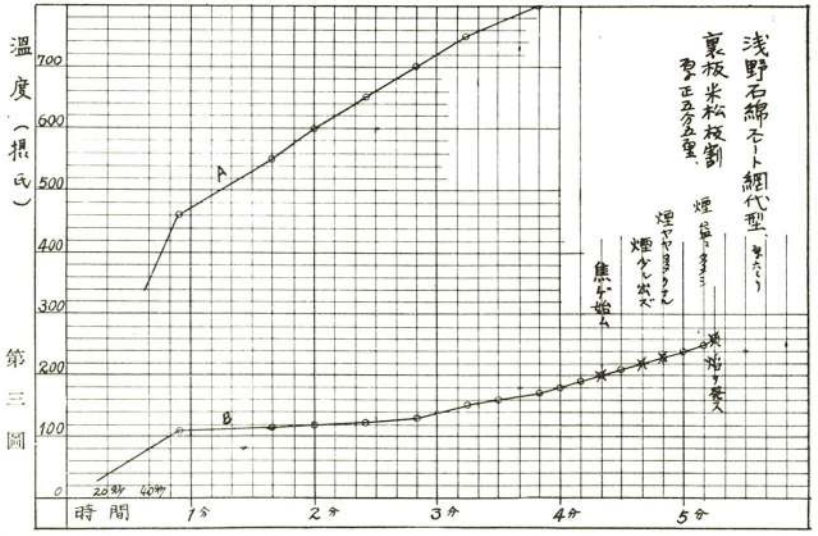
この實驗の結果によつて石綿スレート類は四百度から七八百度の火焰に數分間曝露せられて木材は火を發するが金屬薄板は近く二分間を出でずして火を發する。何れにしてもコンクリート、モルタル等に比して防



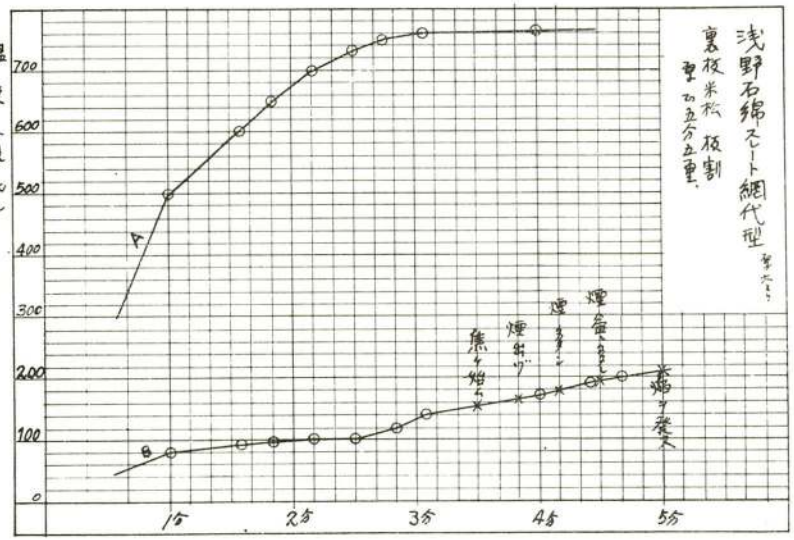
第一圖



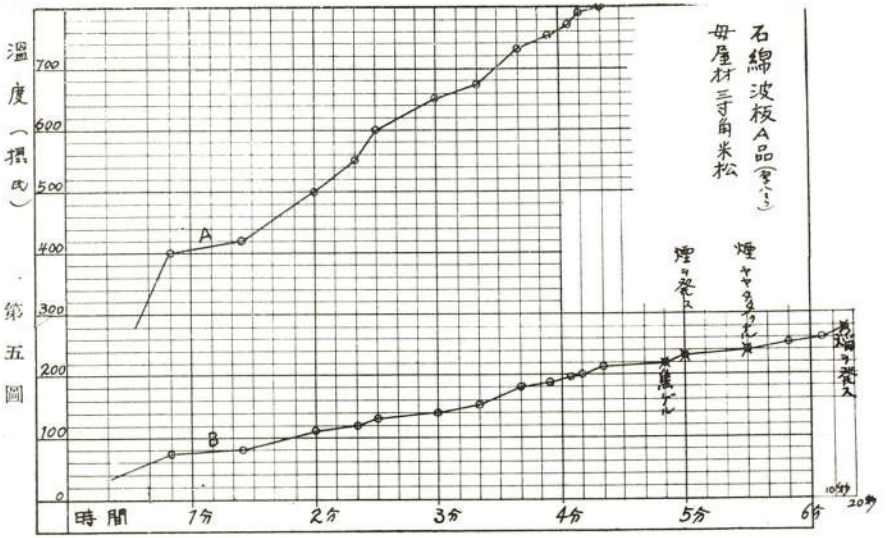
第二圖



第三圖



第四圖



第五圖

火力の薄弱なることに驚かざるを得ない。

故に石綿浪板を用ひて屋根葺を行ふ時には母屋を鐵材とすれば（壁に於ては胴縁を）相當長時間は内部に火の移ることは無からう、石綿スレートは石綿と裏板との間に熱傳導の遲い不燃質のものを挿入することが必要となつて來る。これには石綿質のフエルトの如きもの、即ち、石綿板（セメントを混ぜざる柔かき板）或はフレキストンルーフキング等を敷込めば安全であらう。

石綿浪板は熱した後直ちに水を注いでも幾分脆くはなるが破損することは無い此の點は先づ安全であらう。

此の實驗中淺野石綿スレート網代型一枚は火焔を受け數百度に達した時突然大きい音響を發して二枚に剝離した。これは製造方法に於て今後注意すべき點であらう。厚さ六ミリであるから三ミリ宛のもの二枚を合せてあり其の間に水分を含むで居つたか、又は表裏二枚の膨脹が違つた爲めかであつて剝離した以後は表裏各々歪を生じ反りが合は無いものとなつた。

以上



建築斷相

（1）

松室重光

第一 住宅問題の重要性

人間は自己本位である、教えて善く導くにあらざればなか〳〵其性善の本質を發揮するものではありません。

自己に直接利害の關係ある事柄については極めて敏感で、常にその神經を尖らして見詰めて居りますが、然らざる場合はたゞ冷然として白眼視してをります。

一寸指頭を針で突さしてにじみ出る一滴に足らぬ血でさえも、その肩をひそめ、その色を變えるのが一般人の慣でありまして、蚊や蚤に汲はれた血すら之を惜んで斷じて報復せずんば止まぬ本性を有つて居ります。

然るに、悪政治の結果として、毎日何勺宛かの血液を絞えずに搾取せられて居ても、それが間接である場合には、我不關焉で涼しい顔をして居ります。

人々は斯樣に其生活に對して事の直接である時と、その間接である場合によりまして非常なる自覺感受性の差異を示しまして、其處に何等の矛盾をも感じないのであります。

斯くて平然として悪代議士を選擧し、政治を混亂腐敗せしめ、自らも又重稅に苦しみ拔いて居りますが、それが獨り自分のみでない爲に、更に自己反省などゝ言ふことを考へ樣ともしませんし、其自覺の不足や無學な點に悔ひぬものです、淺間しき限りではありませんか。

住宅の問題は人間生活の基調となるが故に其重要性が明確に認知せられるのであります。

我等に直接に關係あることが一目瞭然であるから肝要視せらるゝので、總ての人達が之に直面して居るから緊張して之を高唱するのであります。

獨り住宅の問題に限られた譯ではありません。凡そ今日の制度文物、その悉くが我等人間の生活に皆連繫して居て、我等がそれによりて支配せられ、束縛せられ制肘を受けている事を考へ知つたならば、人々は現在の世相狀態に恐らく滿足する者は一人もないでありませう。

第二 大都市制度變更のこと

特別市制なぎゝ稱して大都市の現行制度を變更せしめやうとするのは鬼面人を威どすものと見えます。看版を塗替へて其行詰れる財政を糊塗せんとするものであり、八方に行塞がれる其事業の整理ロ

を求めんとするものであります。

看版を塗替ゆるの要あるは其表裏が背反している事實を明示している結果であつて、其行詰れる財政は爲政者の無責任と不誠意の招來したものであります。左樣なる爲政者に政治を委任して知らぬ顏して居た市民の無自覺が致す當然の歸決であります。八方に梗塞せられたのは不必要なる餘計な事業に手を染めたからであります。

大都市だなど、分不相應にやまを張つた結果としての看版料は今日迄でも隨分高價なものでありました。斯る制度を一層擴張して猶やまを張り續けてゆく看版料の低下する筈のないのは明瞭であります。都市の住民は其生活の基調に此一大重要事あることを考慮すべきであります。之は住宅以上の大問題であります。

第三　高價なる一等國の看板料

我國家が一等國たるのヤセ我慢を張る結果として十六億の歲出や六十億圓の國債に苦しみつゝあるの事實を直視いたしませう。これだけの高價なる犧牲を拂はねば遂に一等國の班に入れられぬのでありましたでせうか。

貧之人が金持の仲間入をすることは間違であります。貧乏なればそれ相應の世帶を張れば宜しいので、何も表看版だけを立派にしなければ一等國の仲間に入れられぬと云ふのではありません。國家の基礎が眞に一等國として萬代不易であるのでなければ其權威がありません。日本の歷史と傳統とその特殊なる民族性の完全なる表現發揮が出來たならば、恐らく求めずとも自然に一等國たり得ませう。

借金して金持の交際仲間であることは決して名譽ではありません。建築が依然として彼の模倣追隨であるのは決して一等國たるの面目ではありません。

新店は新店らしく、充分其特徵を發揮して徐ろに其基礎を固めてかゝるべきです。而して自然に太るべきです、不自然にして無理なる助長をなすことは孟子をまつ迄もなく其効果がありません。そんな事で宋人の馬鹿を重ぬるのは倍々馬鹿であります。

現行の自治制度は、その都市たると村落たるとに論なく、其根底に於て我日本の國情に適合していないものであります。之を顧みて改めんともせず、更に蛇足を添えて唯無暗に驀進しやうとするのは眞に暴虎憑河で、國家の基礎は益々危ふくなるのであります。

《舊臘東京市は其吏員に年末賞與金の支拂に窮し、之が減額をなさんとして市電從業員の罷業を見たり、之れ抑も何をか語る》

第四　住宅と政治

政治制度と住宅とは其間何等の關係なしとは言はれません。家と言へば忽ち戶別割や、家屋稅や、土地と言へば直ちに地租が附いてきます。此等の諸稅が我等の生活の上に非常に密接なる利害關係あることは言はずとも明白です。

此點から見る時は我等はせめて一人でも代議士を早く議會へ送つてをくべきであつたと思ひます。役人萬能の政治で、不必要なる官業の擴張で、而して役人の生活保證の爲の政治として、即ち一部智識階級の搾取專橫政治下の都市や村落形式に伴ふ現代の生活は共に決して幸福ではありません。

少なくともそれの建築に關係ある範圍內に於て我等は幾多の根本的に改善して貰はねばならぬ點があると信じます。

家賃低減も然ることながら、我等の最も深く苦しむのは今日の租稅の過重負擔です。即ち政治の改善の要求は住宅改善の基調となるべき性質のものでありますから、先づこれの改善をしてもらい度と存じます。

第五　住宅問題の取扱者

住宅問題は其重要性に鑑みて之が取扱者の選定には最も深く意を用ふるの要があります。

皆人は悉く之が實際の關係者でありまして、之に携はる權利の所有者でありますから、その各自の位置からそれ〴〵の主張や意見を立てらるゝのは毫も憚る處を要しません。從つて住宅問題は直接之に携はる技術者の其技術的方面のみの問題ではなく、廣い大きい社會問題乃ち政治經濟上の問題であります。

それは決して時事問題として轉々展開してゆく刹那の場面に映る一時的の問題ではないのであつて持續的のもの即ち永久的の性質を

もつたものであります。

それで之を取扱ふ者には相當の資格を必要と致します。全生活の體驗者で圓熟した社會智識の帶同者であることが必要であります。

一知半解の學徒などは部分的問題の材料供給者としては何等かの用を足しもいたしますが全般に亘る事の取扱者としては決して適當な資格の所有者ではありません。

此問題は最も眞摯なる處理を要することであつて、取扱者其人を得るにあらざれば反つて之を紛糾に導き、混亂に陷入れまして、決して適當に解決の出來るものではありません。

既に此問題に自稱取扱者が多く出て居りまして問題を迷宮にいれやうとして居ります。一部の婦人雜誌記者などが其例であります。或種の新聞も又似た者であります彼等は問題を全般的に取扱ふのではなく、唯自分達の生活方便に利用し、その宣傳の具に供するに過ぎぬのであります。

これに世間は大分迷はされて居ります。それは誠に愛ふべき事であります。

建築家は其關係技術方面からは勿論問題の部分的解決の鍵の所有者でありますが、決して全部の問題取扱者として解決の完全資格者とは申されません、唯世間政治に暢達した識見の具有者でありましたならば確かに他の何れの人達よりも其表屑裏面から共に解析して答案を與へ得る位置に立つのであります。

更に本問題の取扱者は正しき人達でなければなりません。職業的政治家や、同じ階級に屬する世間批評家などの手にて取扱はるゝことは、たゞ其喰物になるに止まりますから之は大の禁物であります。

で私は其技術的立場から住宅の建築家方面の當然の取扱者たる建築家が更に進みて其全部の取扱を擔任し其解決に當らん事を希望するのであります。

之は建築家に對しまして、もつと社會的に世間に進出せよと云ふ事であります。

第六　借家問題と所謂民衆政治家

借家問題は既に一種の民衆代表と稱する政黨屋の手に入つて居ります。彼等が之に手を染むることは少しも咎むべきではありませんが、其言ひ分には可なり不合理な點がある樣ですから、それによつて正しき解決は求められないと存じます。

何を彼等は叫んでをりませうか曰く從來滯納したる家賃を免除せよ。

曰く今後の家賃を幾割減とせよ曰く敷金を廢止せよ、或は敷金に利子を附せよ。

等々の文句が並べられて居ります。ですが從來家賃を滯納せしめたるは家主の所爲ではなく、それは兎も角借家人の背信行爲であります。借家人が其義務の履行を怠つた者であつて、それは決して正當の行爲結果ではありません。此不正當を其儘に容認せしめやうと强壓し、而して他面更に家賃減額の權利を主張せんとするのは橫着でありませう。

斯樣な不合理を臆面もなく堂々と主張せんとする所謂勞働階級的政黨と稱する仲間には紳士的良心は存在せぬやうに見えます。

此種の人達によりましては、借家の問題は決して適當には解決せらるゝものでないと思はれます。何となれば、其處には所謂政黨的な大向ふの人氣を博しやうとする野心があり、團結の力で他を强壓しやうとする虛威がある等、其心情に甚だしき不純と無理があり、從つて其處からは決して公明冷靜な判斷を得られぬと思ふが故であります。

住宅問題は政黨的に惡用せられぬ樣に願ひたいものです。無論之は政黨の標榜する好題目であることは獨り我邦のみではなく、英國などでは大戰後に於て、大に其重要性の言議せられまして、既に多くの改善進歩を實際的に成績を擧げて居ります。歐洲諸國も又同じ問題の解決には相當に考へ惱まされてをりますが、彼等の方では眞面目に善き方へ誘導せられてをりまして着々其功果を擧げているのであります。

唯我國に於ては斯る問題が常に其根本的に正しき理解の上に取扱はれないで、兎角は場當り的に一部の人々の好奇作爲となるのですから、それの正しき解決には前途猶遼遠で、其處に一種の危險の存するのを感じます。

之を現實の例に徵しますと、彼

の低利資金融通の住宅の如き、其結果は唯僅かに一部の官公吏智識階級に其利益を壟斷せしめたことになりまして、民衆は一向に其恩惠に浴しないのであります。

之は社會施設の表層模倣の現象でありまして、問題の根本から省察せられなんだ結果であります。

第七　建築協會と住宅の問題

我建築協會は早く本問題の重要性を認めて之を事業の一部として標榜して來たのであります。即ち建築家は眞先きに本問題を提げて社會改善の戰線に立つて、其義務と權利を適當に結果づけるべきであります。

由來建築家が其當然の職責として一種の社會事業に携はりながら正しく其位置を理解し居るや否や一向に社會當面の事象や政治と暗く、それに沒交渉であつて、毫も利害相關せざる樣な風貌を示してゐるのは頗る不可解な事であります。これは建築家の無自覺と狹量の致す處で、それが餘りに枝術的內面的立場に沒頭したる結果であつて、自ら社會人として一種の政治教育家的指導の位置にあることを忘れた爲であります。

第八　住宅問題解決の便法

これは住宅問題を最も容易なる點から解決してゆかうと云ふ案であります。從つて事柄を全般的に解決するのを第二として先づ其建築方面から片づけてゆく樣にしやうと思ふのであります。

そこで其前提として我等建築家の位置からは先づ住宅の正しき見解を一般民衆に與ふることを肝要と存じます。

建築家が建築を取扱ふて居るだけでは謂はば自畫自讃でありまして、獨り相撲を取るやうなものであります。よりて効果の發生を見ることはないと信ずるのであります。そこで建築家は其專門的職業的方面から之を取扱ふて世間に提案すると共に、一般人に對しては其指導的位置にあることに鑑み、社會民衆に建築の根本的なる正しき概念を與へて本問題解決の正確なる發程點に立たしめなければなりません。

世間一般が此問題の性質を誤解してゐる間は決してそれの適當なる解決を得られぬのであります。

今一層適切に言へば、世人は其生活の基礎觀念を正しき上に立てねばなりません。衣食住にいたずらに見榮を張ることが無意義であることを知つて、質實堅確なる生活の大事なることを充分に意識せねばなりません。

建築家より見る時は、『家とは何ぞや』と云ふだけが既に野暮の至りでありますが、世間にはまだ此家をはつきり知らない、家が大事か何が大事か、之をよく知らぬ人が絶對に多數であります。

第九　土木と建築事業の不權衡

これは官公吏の頭からして間違つてをります。今之を大都市について見ますると、爲政者等が如何に建築と土木とに考へ違ひをしてゐるかが明白であります。

大道路は出來ます、都市の綠化などと云ふ響きの良い音もいたします、並樹敷や芝生が其大道の中に設けられます。都市美の表現として夜間の照明などが燦として人の眼を惑してまゐります。橋と云ふ橋が色とりどりの形式で架替られます。夜は之が明るく輝やく、夜の濁江でも其反映は一寸奇麗に見えます。『ジヤズ』の響きも傳はつて來ます、其處で『ヴエネチア』の『キヤナル』や『ゴンドラ』を思ひ浮べ『キヤツフエー』に『カクテール』に陶醉して人生の樂みに嘆美していると云ふのが都市の一面であります。

都市の土木事業は其外面的なる部分までもなか〳〵贅を盡くして都市が恰も極樂境なるかの如く、氣の弱い田舍漢達を誘き寄せているのであります。

併しながら飜つて我等が其足元を見詰める時、其處に何がありまず。歸つて家に入ると其處には蒸しあつき夏の夜を涼しく安樂に過ごし得らるゝだけの部屋が待つて居るのでありませうか。冷たき冬の夜をゆつくりと明かし得られるだけの暖たかき部屋が待つて居て呉れませうか。

（以下四月號）

社團法人日本建築協會會報

轉勤轉居

會員

小西　一良君　南區北桃谷町六六
木野山照雄君　北區善源寺町六丁目四四
會員（地方在住）
赤松　重一君　東京府下荏原町戸越九七一
野上登米二君　兵庫縣飾磨郡飾磨町字細江八五二
豐島　義政君　東京府荏原郡目黒町大字中目黒一〇七九（大林組東京支店）
大坊　榮助君　四日市市濱一色東洋紡績會社四日市工場社宅
濱田　近七君　倉敷市外酒津倉敷絹織株式會社增築建築場
藤木工務店出張所
古林　義敦君　廣島市皆實町一五三七ノ三
成塚　端君　東京市外馬込町平張一三一九
普通贊助員
高木市太郎君　愛媛縣宇摩郡三島町三島警察署建築事務所
津田　知一君　府下中河内郡高井田村高井田一三三六
高橋今朝雄君　港區八幡屋中通三丁目一一三
大野　竹一君　東京市小石川區第六天町一七
矢野　隆三君　名古屋市東區千種町大日本麥酒株式會社內
清水　倉八君　熊本市天神町御幸通大林組熊本出張所
三木　幸吉君　熊本縣飽託郡川尻町外城
倉崎太三郎君　東事市麻布區一本松町一三
高濱　利道君　福岡市下土居町博多ビル內帝國生命福岡支店內
門　正夫君　天王寺區堀越町四一クラマン家具裝飾店內

入會者

會員

市木　治君　東成區勝山通七丁目三六（大林組）
加藤喜三郎君　西成區三日路町四八（竹中工務店）
折居滿壽介君　東淀川區國次町四二二（岡部建築事務所）
松井　英一君　港區鶴町四丁目一七二（竹中工務店）
五十嵐芳雄君　兵庫縣武庫郡御影町郡家字下リ二一八（大林組）
根本　茂郎君　堺市甲斐町西一丁七（自營）
特別贊助員
安村　誠一君　此花區大開町四丁目一〇（建等金物製作業）
角岡庄太郎君　兵庫縣武庫郡濱芦屋（日本エレヴエーター營業課長）
畠中　濤介君　西區北堀江通六丁目一二（濱口化學工業所々長）
普通贊助員
塙　信君　兵庫縣武庫郡今津北西七三一（竹中工務店）
土井熊次郎君　天王寺區筆ヶ崎町八〇（竹中工務店）
明石　貞三君　堺市住吉橋通一丁目三二（竹中工務店）
飯田　保良君　住吉區阿部野筋二丁目三七（室內裝飾洋家具自營）
長尾　圭造君　此花區吉野町一ノ五五（宏昌大理石工作所）
岸本　登君　東淀川區十三東ノ町九七（横濱建築事務所）

退會者

會員（地方會員）

小田　惠輔君
同　村上新一君
普通贊助員　鹽田武一君
同　酒井捷治君
同　遠田音吉君
同　渥美桔君

住所不明者

左記の各位は目下御住所不明であります

行先御存知の方は協會へ御教示下さる樣願ます

會員　林　正信君　田中光治君
土井　軍治君
地方會員　福島　祿壽君　松本榮吉君
普通贊助員　中村　徹夫君　田平宗美君
牧元　淳男君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社
都人　每號　其　社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其　社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
土政　每號　其　會
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業俱樂部　每號　其　部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其　會
工業評論　每號　其　社
電氣學會雜誌　每號　其　會
鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　每號　關西園藝會
工業ト社會　每號　東京工業會
工業　每號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　每號　其　協會
庭園と風景　每號　日本庭園協會

圖書室月報 每號 東京市政調査會
エンヂニヤリング 每號 其 社
工業要錄 每號 其 發行所
名古屋工業官々報 每號 其 會
大阪每號 大阪都市協會
都市問題 每號 東京市政調査會
新建築 每號 其 社
京都の實業 每號 京都商工會議所
都市創作 每號 其 會
木材彙報 每號 大阪木材協會
建築學研究 每號 其 會
大阪土木建築業組合報 每號 其 組合
木材新聞 每號 關西木材商報社
工業新聞 每號 其 社
日本建材新聞 每號 其 社
日本建築士 每號 其 會
インターナショナル建築 每號 其 會
東洋建材時報 每號 其 社
朝鮮鐵道協會會誌 每號 其 協會
超科學 每號 大阪綱島工業會
建築業協會々報 每號 其 協會
建築畫報 每號 其 社
土木建築工事畫報 每號 其 社
日本美術協會報告 每號 其 社
法律時報 每號 日本評論社
土木建築 每號 其 社
土木建築材料商報 每號 其 社
塗料 每號 日本ペイント株式會社
塗工の魁 每號 其 社
關西園藝 每號 其 社
臺灣建築會誌 每號 其 社
建築紀元 每號 構成社書房
建築 每號 中央建築會
經濟資料 每號 中亞經濟調査局
建築土木材料 每號 建築資料協會
國立公園 每號 其 社
國際建築 每號 其 社
工事畫報 每號 其 社
綱島工業會誌 每號 其 會
產業 每號 其 會
工 每號 其 會

役員

會長理事 評議員 片岡安
副會長理事 評議員 古宇田實
理事 評議員 宗兵藏
監事 評議員 池田實
常務 評議員 横濱勉
常務 評議員 岡部顯則
常務 評議員 小川陽吉
常務 評議員 木村寛一
常務 評議員 篠原太郎
常務 評議員 高橋榮治
常務 評議員 坪井誠一
常務 評議員 本間乙彥
常務 評議員 松本儀八
常務 評議員 山脇友三郎
常務 評議員 吉井長七
評議員 池田谷久吉
評議員 伊藤幸太郎
評議員 小笠原銅
評議員 岡本新次郎
評議員 籠田定憲
評議員 久保田肇雄
評議員 小西一良
評議員 酒井勇三郎
評議員 阪井米吉
評議員 下浦光衛
評議員 芝田知重
評議員 須藤隼人
評議員 武田經一
評議員 高田利一郎
評議員 德政金吾
評議員 中村義雄
評議員 永田三次郎
評議員 原科準平
評議員 日高胖
評議員 姫野武
評議員 增山新平
評議員 牧野利秋
評議員 前內文二郎
評議員 村上徹一
評議員 森本藤吉
評議員 山下豐三郎
評議員 山田初次
評議員 山中茂一
評議員 渡部圭吾
評議員 和田貞治郎

本誌定價表

册數	定價 郵稅
一册	五拾錢 貳錢
十二册	六圓 貳拾四錢

昭和五年二月廿五日印刷（每月壹回）
昭和五年三月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人 鷹取陽
大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所 大阪活版所
大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所 社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店 柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ
振替又は爲替にて前金御拂込被下度
候

煖房ト冷房

AIR CONDITIONING

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管(ニューマチックチューブ)裝置　眞空(バキュームクリーナー)掃除裝置

以上の設計、監督、工事請負竝に材料販賣

代表取締役　萩原貞

代表取締役　山崎寛二郎

大和工業株式會社

本社支店　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北一〇七八・六二九一番　(ワイダカサオ)略受電語
東京市京橋區南傳馬町三丁目五(八〇二館互相一第)番地　電話京橋三二三七番　(ワイダイケウト)略受電語

建築と社會第十三輯第三號

廣告目次

A
有山組……二九
安藤組大阪支店……二九
淺野物產株式會社……一四
淺野スレート株式會社……一〇
淺海商店……五六
阿部鐵工所……三六
C
中外電氣商會……五六
D
デウエット商會……六一
大和工業株式會社……八五
大元商會……四〇
E
榮進社……三七
衛生工業商會……三二
江崎瓦斯商會……七一
F
藤田商會……三八
藤木工務店……二八
古塚建築事務所……二三
布卯材料店……二五
H
橋本建築事務所……二三
橋本庭園工務所……一七
白陽工務店……二五
表紙三
汎建製作所……二三
原科建築事務所……二三
本間建築事務所……二三
I
今井硝子店……八二
池田建築事務所……二三
池田谷建築事務所……二三
池田組……二五
伊丹商店……四六
伊藤建築事務所……二三
井原建築事務所……二三
K
コマヤ加工部……八
クロースルーフヰング製造所……五二
江東サツシ株式會社……六三
木下謹三商店……六八
久保田組……二七
熊取谷熊次郎商店……二八
國枝工務所……二三
金剛商會大阪支店……四一
片岡、石本建築事務所……二二
桐田商會……五七
葛野建築事務所……二二
建築金物商會……表紙四
鴻池組……二九
駒井喜商店鐵工部……二九
工村社(阪口芳三郎)……一八
龜谷開作商店……二七
宏昌大理石工作所……二八
M
松原木工所……六八
宮島康夫商店……七九
松尾鐵骨橋梁株式會社……三四
松村組……二八
松本商店……七七
松井長次郎商店……三四
村上建築事務所……二二
三木商店……八二
三井物產株式會社……二
森本建築社……三〇
眞水三橋建築事務所……二二
みよし組電氣工業所……七八
万年スレート株式會社……一二
三宅茂雄商店……三三
三熊製壘所……五九
N
ナンコク商事株式會社……九
內外エレベーター株式會社……四七
內外土木建築材料合資會社……七〇
浪速設計事務所……二二
日本トラスコン鋼材株式會社……七六
日本鋼製建具株式會社……七二
日本洋瓦株式會社大阪出張所……四四
日本木材工藝株式會社……七三
日本スレート販賣株式會社大阪支店……六七
日本ペイント製造株式會社……一三
日本エレベーター製造株式會社……七
日本建築紙工株式會社大阪出張所……四五
日本工劑株式會社……六九
新田ペニヤ製作所……一九
西孫南店建築金物部……三九
西原衛生工業所大阪支店……二四
中川辰藏店……二七
中村建築事務所……二二
中村グラニソト商會……八〇
南滿鑛業株式會社……七一
野澤幸三郎商店……六四
野村建築事務所……二二
名古屋伊丹商店……四六
O
カキナ商店……五一
大阪ヒトロライト工事合資會社……一二
岩元商店建材部……四八
大平工業所……六〇
大阪窯業セメント株式會社……一五
大阪鐵筋混凝土工務所……二六
大阪橋本組……二六
大林組……二六
大倉商事株式會社……五
大倉土木株式會社大阪出張所……二五
大野製作所……一
大阪建築所……二一
小笠原建築事務所……二一
小野木横井共同建築事務所……二一
岡本工務店……二六
岡部建築事務所……二一
岡田建築材料店……五一
置盛建築事務所……二一
R
ラバロイド商會……一一
玲光社(木內眞太郎)……六五
S
S○商會……四二
須賀商會……四三
島田硝子製造所……四九
島田建築事務所……二一
島貿易株式會社建材部……三
佐原一郎……一六
佐久間建材工業所……三一
佐渡島西店建材部……六
佐伯組……三〇
三五製作所……五四
三機工業株式會社……表紙二
笹岡家具裝飾店……三二
城口研究所大阪支店……六二
宗建築事務所……二一
設樂建築事務所……二〇
清水榮二建築事務所……二一
清水組大阪支店……三〇
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……五四
T
東洋スレート株式會社……七四
東洋コンクリート合資會社……五八
東亞鐵工所……五三
田島株式會社……六六
東京機械金鋼工場……八一
田中昌司商店……七〇
田村商會……四
田村事務所……二〇
竹中工務店……二七
朝永建築事務所……二〇
株式會社テーワイ商會……八一
V
ベニス工房……五〇
W
和田建築事務所……二〇
Y
ユーニオンシーザングコンパニー……八四
ヤブタ電氣營業所……四五
米木商店……六五
山本東作商店……五九
米山製作所……七五
山本窯業商店……五〇
山中商會……五五
山中製作所……七九
安井建築事務所……二〇
矢橋大理石商店……三八
橫河工務所……二〇
橫川橋梁製作所……三五
Z
錢高組……三〇